

1月号 (No.231)

1993年1月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)

〒165 電話(03)3385-2293

郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、いる人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

今日のマスコミの読み方

取材される側の戸惑い

世田谷 牧嶋博子

私は今某官庁の記者クラブに所属している。テレビ局に入社して10年。社会部記者になって丸6年が過ぎた。今でこそ新聞テレビといわゆるマスコミの現場にも女性記者が増えたが、私が初めて社会部に配属された頃、女性本数が少なくて珍獣扱いだった。社内で珍獣なら社外ではもっと珍獣だ。

記者の取材方法には「夜回り」といって、取材対象者が帰宅する夜を狙って、自宅へ押しつける方法がある。世間の常識からいえば夜中に人の家を訪問するのは、古典的取材方法なので、この際その是非については、又の機会に論じておこう。この「夜回り」に初めて女性記者が来たときは、取材される側の戸惑い、赴任者は「部屋に通していいものか」と戸惑い、部屋に通したものの「この女性は夜中に男の部屋に上がり込んでこれに押し倒してもよいというサインなのではないか」とドギマギし、妻帯者は妻から「体この女性はどうしてこんな夜に主人に会いに来るの」と問いつめられた等々この「夜回り」をめぐるエピソードについては枚挙にいとまがない。今では笑い話です。

男社会のマスコミに女性が徐々に増え始めた。社内では「女でも記者は記者」「夜回りも泊まり勤務も男並みに」という意識で育てた。ところが世間ではまだそこまで実際に意識改革がすすんでいなかった。結果、取

材される側が一番戸惑い、ある人は「特ダネ」をべらべらしゃべり、ある人は「女の子でなく男を寄せよ」と叫んだという訳です。

ところで自民党の先生方は、皆さんとも女性記者がお好きです。男の記者には答えなくて女性記者には相好をくずすして答える人が多いと事。女性記者ももつたかたから、女性性であることをフル活用してあります。

マスコミ効果書
川崎市 森行雄

1、TBSテレビ「家族と男の子」の会出。お隣の92才のおばあさんがたずねて「私と嬉しかったよ、おめでと」うと涙ぐまれる。

2、毎日新聞「こどものパンツをあけての写真」と話。つれあいの悦子さんの話の部分(会社では女がお茶くみ……)に赤線が引かれ職場回覧をしてもらえる。

3、読売新聞「正月版の特集に大きな写真」とも載る。近所の人に「あら、リフォームしてずいぶん広々と使っているのね」とほめられる。

4、朝日新聞「神奈川版にでかか顔が出る。数日後、近くのスーパーで「おたくでしよう、やっぱり。見ましたよ」と見知らぬ人から声をかけられる。

5、NHK教育テレビ「初の三分単独番組。田舎のおふくろから電話で「りっぱだったよ」と情を移される。

6、その他効能に限りがありませんが、

送り手として

横浜 木脇みのり

マスコミの送り手となって丸四年が過ぎた。この間、会社をやめたと思つたことはあつたが、不思議と新聞記者をやめようと思つたことはない。と言つてもそれは、記者の仕事に納得しているからではなく、むしろその逆だからだ。

私が何よりも嫌なのは、往々にして記事の送り手と受け手が対等ではないことだ。受け手がよく言う「マスコミはウソばかり」というのは、具体的にどんな事例を指した、どれだけの割合の記事がウソかと裏付けた上の発言なのか。そういう疑問に答えられない無責任な発言であれば、それこそ「ウソばかり」なのだ。送り手としては、いいかげん批判をマスコミに投げつけるような受け手とは、とてもではないが対等にならない。

大阪 椿 晋一

20年が過ぎました。某全国紙の中で、メシを食つて……

15年前の「交流」紙上に「職場闘争を貫きつづ、いつの日にかますのさんのようにほくもミニコミを」と書いたところ、ますのさんから「マスコミ労働者の発行するミニコミ、期待しています」とコメントしていただいたことを今でも時々、思い出します。

今、45歳となり、首はつながらず、自閉的性格も変わらず、気恥ずかしい時を刻んでいる次第です。懸案の「ミニコミ発行」(書店経営)はまだ手つかずのままに……

それなりに、いろいろな体験を自らの選択・判断を経て、連れあいやますのさんはじめ、さまざまな人に出会って貴重なアドバイスをいただき、(家族)育ち合いの日々を送っています。

記者暮らしからはじき飛ばされそうになりながらの20年でしたが、関西でいろいろな活動を続けていく友人や知人の期待にも、十分に心えられず心苦しい限りです。

人権無視の取材
八千代市 鈴木真理

市役所の広報課に勤務する私の主な仕事は、広報紙の編集担当として自らが取材にあたることであるが、同時に、マスコミ各社からの依頼に応じて市内の人や物についての情報を提供し、取材される側になることも多い。先日、後者の立場で、非常に不愉快な体験をした。

あの時、某新聞社から頼まれたのは、某雑誌の特集記事のために、市役所で働く女性職員を紹介してほしいというものだった。「近年、民間企業では、様々な職場で女性登用の機運が高まっています。そこで、女性

活用といつた面では先輩格である公務員として働く20代の若い女性たちの仕事ぶりを、幅広く紹介する企画にしたいと考えております」との依頼文。担当の副編集長は、「今まで男性の職場だった分野で活躍する女性がい。他市からは、市バスなどの女性運転手などを紹介されている。不正のみ消しを削るなどは日常茶飯事です。でも、さまざまな心ある人が決して少なくはない。内部からその知らせをしてくれたり、市井の隅々から正義感に燃える人がビクビクするような情報やアドバイスを送ってくれたり……」という、ほんとうにうれい経験も多いんです。そんな人たちは、今でも友人として、お付き合いしてもらっています。

マスコミの中のよく自身が、記者自身が、人としてのようにならなれし、どのようにならなれし、との関係を作っていくのか、ということ。そして表の形とは関係なく、1人の人がどれほど優しいのか、情報をもたらし、優い付き合いの心がけが続いた、と思つています。

もの譬えに、「ただ高いものはない」という言葉があるが、「無料」のマスコミこそ適用すべきであろう。

昭和天皇の末期臨終前後、湾岸戦争、PKO国会などマスコミ総動員による報道管制と世論操作など、記憶に新しい。特に時の自民党海部首相による「消費税見直し」と称する消費税是認の世論操作、最近の佐川疑獄・ヤクザの政治介入事件での「政府自民党も悪いが、野党も及び腰だ」という免罪の風潮づくりは、まさにマスコミの本能的なビヘイビアともいえるべきか。

さて、PKO国会の顛末はすでに御存知の通りであるが、首都東京の社会党がPKOは認の森田健作を東京選挙区の候補とするのを許さず、内田まさとし候補でたつたが、統制委員会に屈せず陣頭指揮した参議院議員の国弘正雄さんは「日本にはマスコミはあるが、ジャーナリズムは存在しない」と強調された。まさに名言である。

ジャーナリズムの不在

逗子 石黒忠

定期購読料を支払うと毎日配達される新聞、子供の頃からの慣れで、新聞が配達されないことを不思議とも思われないわけだけれども、定期購読料とこれを上回る企業広告収入で経営は保証されているから、極端な話、購読者に反感を買う内容でもそれで新聞社が潰れたり廃刊になつたという例はない。

またラジオ、テレビも民間放送は無料で経営はスポンサーによるコマース・スポットの広告料でまかなっている。分かつたことなのだが大企業(独占資本)の企業戦略とこの企業(帝国主義段階の資本主義)をささえる体制側の論理が無料またはあまり低額な費用負担による情報受信の致命的なツケとして、日常的に人々を洗脳している。

何日か経って、某誌を本屋で見たとの連絡が、「あれはクラブにヌード写真が載る雑誌だ。そんなのに出ちゃつていいの」と心配し始めた。その時はまだ、友人も私も、「ヌード写真を見るような男性が、一人でも女性問題に気付いてくれるなら、それはそれでいいよね」と話していた。

ところが、ある。彼女が載っていた某誌を、本屋の店頭で見つけた私は、開いた口がふさがらなかつた。特集記事のタイトルは「お嫁さんにするなら公務員が一番」だったのだ。「交流」読者の皆さんには、これがどういふことか、お分かりいただけることと思う。それぞれ女性へのインタビュー記事は、まるで「お見合い写真館」本名も勤務先も載ってしまった彼女の所へは、見知らぬ男から手紙まで来る始末……。後の祭りと言つてしまえばそれまでだが、取材された女性の中には、彼女のように、こんなはずじゃないと思つている人も多くあることだろう。取材される側の人権をまるで無視した某社のやり方に、かねてから私の心の中にくすぶっていたマスコミ不信はつのばかりである。「某誌が電車の中吊り広告にも出ています。Big Days」だ

日本一周の旅

夢を見失いそうになつたぼく



新木勇人

ぼくが「個人的な保育園、及び障害を持った人の施設を見てまわる旅をするので情報を下さい」と92年の3月号に原稿をのせてから半年がたちました。

この旅は想っていたよりはるかにうまくいって、新鮮なことばかりの毎日です。何年か温めていた夢が一つづつ形になっていき、良い意味で日常となつていっています。

今日はその途中で想った一人を書きおこうと想います。

「八月某日の日記より」

今日は久しぶりに車を降り電車と高速バスを乗り継いで札幌へ人と逢う為に出た。

こんな生活からは考えられない人、また人。

東京に似ているこの街に来るのは初めてではないけれど、いつも懐かしさと居心地の悪さの入り混じった奇妙に物淋しい気持ちになる。

なぜみんなこんな忙しそうにしているのだろう。

でもかたはぼくもそうだった。ぼくがぼくらしくあるためにいつも生きたい生きたい。

自分がどういふ人間であるかを知る為、それを人に誇示する為、自分の存在証明をかけて生きたい生きたい。

ところが今居る美瑛の農村で知り合った彼ときたらどうだろう。

自分では全く気付かないのだけど、どうも7月に入ってからぼくは長旅をしている雰囲気が出てしまっているらしく、従つてそういう人達と自然に友達になることが多い。

源さんもその中の一人だ。以前は家を持たず海外13ヶ国を含めてずっと旅をしていたらしい。今は古い農家を借りて一

年のうち二ヶ月だけ働き、あとは晴れると山に登っている。たまに泥だらけで帰ってきて「畑手伝つてトマトもいできた」なんて云つてくれるけど他は何をしてるか別に知らない。

彼のその白い家には鍵が無く引いてある水も出さずばなしなので、ぼくはアルパイトの夜勤明けなどによくそこへ行き、ぱつぱと裸になつて風呂に入り、バイト先でもらつてきた残り物作つた飯を喰い酒を呑んでゴロリと寝てしまう。源さんがいる時もあればいない時もあって、話に盛り上がる時もあればほとんど会話をしない時もある。

自然体というのはいささかこういう感じを指すのだから。

昨日の夜勤中だったか。やることもなく、受け持ちのコントロールパネルのある狭い部屋でポーツとしていて彼がフラツとやつてきた。

工場の上司の人達を指してぼくが、「朝から晩までよく働くな、家に帰つてもやることないのかもしれない」というと彼が、「うん、山に登つてもねみんな頂上目指して一所懸命登つてくんだよな、苦しうに。途中で楽しいこと一杯あるのね。ゆっくり行かないと見つけられないこと、あると想うんだけだな。」

好きなこと、やりたいことしたくてやつてんのにそれじゃ苦痛になっちゃうよね、彼はそんな風に話を続けた。

ぼくのかつての生活もいさぎにいいでいた。そんな東京での暮らしを小樽行の満員電車にゆられうんざりしながら想い起こしては、

自ら望んでそうしているには

違いないがびつり埋まったスケジュール表。目覚まし時計で起きる毎日。ぼくも源さんのようにのんびり暮らそうか、そんなことを考えていた。

そしてそれは望みさえすればすぐ手に入るものだった。ぼくはもうその術を知っていたのだ。そんな時、頭一つのすぐ横で若い母親に抱かれた一才半の子どもがむすかづいて、「もすくだからね、ほら、おそとみてごらん」と必死にあやすのだけれど、じきに蒸し暑さと眠さから泣き出し始めてしまつた。

その子がいよいよ降りる駅が近付き、目が合った時ぼくが目と口だけで表情を作つて、「もすく大丈夫、着いたよ」と微笑みかけていると、後がニッコリと笑つたのだ。

あ、なんとという官能的な喜び。決して自己満足し、それを誇

ぼくが笑いかけ、彼が笑つたという、ただそれだけのことだけなんだがすく嬉しかった。その時だ、「まだ俺にはやることがある」と想つたのは、

楽しく笑つて生きて行きたい。そして世の中の誰もがそれぞれく笑つて生きていける為の力になつて行きたい。

16才の時からそう想つて生きてきたはずだ。それが夢だった。ついまわり道をしてしまつたけれど、本当はこれが出発点だったはずだ。

その手段のうちのひとつとしてぼくは施設や保育園の仕事を選んだのだ。

そして自分も楽しんで、この仕事の為の経験と知識を広げたくてこの旅に出たはずじゃなかったか。

決して自己満足し、それを誇

示する為の旅じゃなかった筈だ。弱い人間だから、「大きいオートバイにのつて、すごい旅してるね」と云われるという気になつてそれだけで満足していた気がする。

実習先で知り合った人達はただかか一周間一緒にいただけでぼくについて何を知らなかったでもないのに、それなのに表面上のことを云われただけでとんだ感傷を覚えていたものだ。

その上、異なつた夢を持って生きてきた人に影響され、自分だけのんびり暮らそうなんて、

その手段のうちのひとつとしてぼくは施設や保育園の仕事を選んだのだ。

そして自分も楽しんで、この仕事の為の経験と知識を広げたくてこの旅に出たはずじゃなかったか。

決して自己満足し、それを誇



ひとと通信

その人はハナっから自治も民主主義も興味なく、しょつちゅう言つてカタクと面白くない「こんな新聞なら新聞に未来はない」そんななら辞めたらエエのに、根が生えたみたいに住居り続けたのは時給と営業報酬(広告を取ると貰える)を合わせて30万近い月収が主婦としてはオイシイ仕事だったから。そりゃま、金のために趣味の合わない仕事をしたっていいですけどね。趣味が合わない不満を同僚にぶつけてしまひました。

私は昨年まで地元タウン紙編集部で働いてたんですが(名取さんの連載はまだ続いている)そこにやっぱり居ましたね。なにかつていうと「こんな新聞、つて文句を言つて、そのくせ辞める気はさらさらないという人のタウン紙は「自治と民主主義の理念に立つた新聞」という主旨で、ある会社社長が金を出して創刊したんです。今どき自治と民主主義とはタサイと思

感じました。状況を変えるために工夫するとか、そういうのがなくてひたすら他人のせいにしてちやう。そういうえば会議のときには自分の意見を言つたとか、あの人があんな提案するからいけないんだとか言うのもその人の得意ワザだったですね。

私もグチと文句の多い人間だから、あんまり見苦しく他人のせいにしてしまうときは、その人のことを思い浮かべて黄信号灯すことにしようと思つています。(藤沢 三尾キリコ)

「私の反面教師 思いあたるふし大。私も軍医を父に、軍人の娘を母に持つておりますので母とちがった人生を」と願つてスタートした歩みでしたが、50をすぎた今日の私は、顔と声ばかりでなく、娘を叱る言葉から経済観念その他もろもろ母そっくり。もう、朝起きて洗面所の鏡の前に立つとそこには「母がどです。そしてこの事実をこのごろ段々と肯定しはじめてさえます。」(志木市 安子)

岡本健一さん(66才) 仮名は大きな2F建ての家に一人暮らし。彼は、ホームヘルプ協会の利用者になつて7年目。最初に利用者となつた時、彼は「最初利用中という状況だった。」

大手商社の丸紅を退職後、ガス会社に第二の就職を果して一年目、階段から落ちて頭を打つた。硬膜外血腫となり術後、自宅療養となつた。

すでに彼の妻は亡くなつており、長男とは絶縁状態、別居の長女は妊娠6ヶ月で彼の世話が難しくなるとの事でヘルパー派遣のスタートとなつた。

頭を打つた後遺症で頭痛がしたりふらふらしたりするけれど、一応身のまわりの事は出来る。ただ彼は、家事は全くやらない人だった。

ヘルパーが行き出して7年間で彼がやるようになったのは、洗濯機に水をはり洗剤を入れるという事のみだった。

それも、全自動のためヘルパーが、水をつかいすぎるとの彼のクレームに対処する私の提案をし、しぶしぶ飲んだから、始めた事だった。

週3回、一日3時間。食事作り、洗濯、掃除、布団干し。

外食は嫌い、家事は嫌いと、事で、ヘルパーが休むのは困ると条件をつけられた。

一人目のヘルパーさんが2年お休みも少なく、利用者とうまが合つたらしく割とスムーズに行つてたが、彼女が引越して辞めたからはトラブル続き。

2ヶ月も続かない人が3人も出て困つてしまつた。理由を聞く。

「食事なんですけど、何がいいですかと言うと何でもいとおっしゃるので、まあ私もいろいろ

でも好き嫌いが激しくて、お肉も豚と牛肉のみ、お魚はたらだけ、お野菜は、ほとんど食べないんです。

2日に一回行って冷蔵庫をみると前に来て作つたものがそのままラップかけて入つてるんです。どうしますかと聞くと捨ててくれとおっしゃるんです。ムツとしましたけど、口に合わないのかなと思つて黙つてました。でもあまり、たび重なるので、好みの物以外は作らないようにしますとお話したんです。でも、君の作るものはますいんだと怒られてしまつた。せつなく心こめて作つても気に入らないんじゃないでしょうか。ひまなで、岡本さんも子供っぽいんじゃないか。え川崎さん。」

「そうです。それで残した時は、何食べていたんでしょうね。」

「歩いて10分ぐらいの所にラーメン屋さんがあつてそこに行つてみるみたい。最初からそこへ行くからいらぬと言つて下さればいいんですけどね。」

他のヘルパーさんは、掃除が雑だといわれたという。まあ、これはよくある苦情なんだけど、もう一人のヘルパーさんは、「彼と食事のトラブルは、いらぬなら作りませんとお話をしたら、そんなに嫌な思いはしませんか。」とぼやいていた彼は「今夏場はアイススクリームしか食べず腎臓を悪くし、糖尿病になつてしまつた。友人もなく気が難しくて、日中から雨戸を閉めてアタルトビデオをみてるという。」

「家事もできた方がいいし、楽しみもあつた方がいい。彼の孤独が何にもできないくせに胸にせまる。」

(21)



川崎弘子

老い方いろいろ

気分を害されるのは、後で訪問するのこつちも気まずいですがね。」

交渉事はもちろんコーディネーターの仕事だが、相手ときちんと話をしないのだから、じつとがまんしてしまつた。ヘルパーさんはとても多い。

何でも言えはいいというもんじゃないけど何もかもがまんするの、仕事としては長つづきしない。しまいは、相手がただ憎らしいだけになつちやうもね。それで、ケンカして終まいつてケースもけつこうある。

相手にとつて都合のいい人になつてそうなるもんじゃありません。女の人はこれ以上なつちやいけません。

対等なつき合いは、たがいにキビシイものがあるけれど、信頼関係を築くつてゆく努力しないと、ヘルパーの仕事はきつくなるみたい。

その後2、3日たつてから岡本さんの家へ行って、食事の件と雑誌の件の話をして行つた。

ひまなで、ついでに朝起きるし、夜ふかして朝起きる。雨戸は近所の人から見られて悪口言われてるみたいなののでできる事なら、一日中閉めていたいとの事。

「雑誌をみられることや、おそくまで眠つてられる事をせめてきたんじゃありませんよ。ただちよつと片付けてください。女性性が一人で訪問しますし、下着姿もまずいですよ。」

「わかりました。でも、ひまなでしようがないんですよ。月一回病院へ娘と行くだけ。あとはヘルパーさんと会うだけです。だから嫁さんを紹介してくれませんか。」とぼやいていた彼は「今夏場はアイススクリームしか食べず腎臓を悪くし、糖尿病になつてしまつた。友人もなく気が難しくて、日中から雨戸を閉めてアタルトビデオをみてるという。」

「食事なんですけど、何がいいですかと言うと何でもいとおっしゃるので、まあ私もいろいろ」

「だつて男性一人のお宅でしょ。」

「いえだつて御本人にお話ささいましたか？」

「だつて男性一人のお宅でしょ。」

センセは 教室で カルメン踊り

原田 瑠美子



生徒がやる気を出す時

えつ子は反省文の中で、こんなふうに書いた。

「いつ頃からだろうか朝ふんの中で目をさますと、私は何のために生きてるんだらうとたまたまなく淋しくなりました。いくら考えてもわからず、ただただ淋しさがかりで、その淋しさはどこからくるのかもわからずどうしたらそれがうめられるのかもわかりませんでした。」

今、このようなことになってじっくり考えてみると、それはきつと生きる目的、何かに取り組むんだという目的がなかったんだらうと思います。クラスの友達や幼稚園の先生になりたい薬劑師になりたいとか言っているのに、私は色々考えてみたのですが、これといってなりたいたいものもなく、増々おもしろくなくなり、やけになってしまったのだらうと思います。

今回のことで、自分の生きる道を考えなければいけないことに気付きました。今、すぐに目的を見出すことは出来ないけれど、毎日大切に、自分自身と私に関わってくれる人を大切にしていきたい。そうして、くうちにきつと何か私が是非やりたいことがみつかると思いたす。

視線もせず、まじめに学校へ通って来ている生徒も、多かれ少なかれ、えつ子のようなむなしさを感じているに違いない。たとえ、つまらなくても学校へ行かなくては行けないもの、勉強とはおもしろくなくともしなければいけないものと思込ませ、それに従っているだけなのだ。ある意味では、えつ子

けてしまつて、自分の体の大切さがわかつたような気がする。自分も少しでもいいから、人のためになにかできるならやりたかった。

教師が幸せを感じる時
人間は、傷付いたり、失敗した時にこそ、自分を深く見つめ成長するのかもしれない。えつ子は謹慎期間中に顔の表情に明るさがよみがえり、ほっぺもふつくとし、生き生きとしてきた。「高校卒」の資格を取るためにイヤイヤ通っていた学校だつたが、はやく授業に出れるようになって、友達と一緒に勉強したいという意欲も出てきた。謹慎がとれて、教室に戻つた時えつ子はクラスメートに挨拶をした。

「今回、本当にバカなことをしてしまつて、みんなにも迷惑をかけた。ごめんさい。これから一からスタートし直すつもりで頑張ります。」

顔を赤らめながら、こう宣言したえつ子にクラスメートから大きな拍手が起きた。私も目頭をジーンとさせながら、大きな拍手を送つた。こういう時が、教師をやつて一番幸せを感じる。えつ子が謹慎中は私も何となく緊張感が抜けず、飲む酒も今一つおいしくなかつた。えつ子が教室に復帰した日の夜の一杯は格別おいしく感じた。

えつ子は謹慎期間中の勉強の遅れを必死に取り戻し、期末試験では好成绩をおさめた。えつ子の頑張り、クラスの雰囲気にもプラスに影響していった。教師が百のお説教をするより、自分の友達の発言や行動の方が影響力大である。

2学期の終業式の日、通知表を渡しながら、「えつ子さんはとても前向きになつたと多くの先生からほめられたわよ。この調子で自分を伸ばして欲しい」と思う。えつ子は目を大きく輝かせて嬉しそうに「はい、ありがとうございます」と応えた。

「井深八重という人を、この番組で初めて知つた。彼女はライオン病にかかつていると診断され、特別の病院に隔離された。当時はライオン病は伝染病で不治の病と考えられていて、戸籍もはずされてしまつたという。そして隔離病院には誰も近寄らず、病気がうつることを恐れ看護婦も看視してはもらひない。その病院のフランス人の先生のすすめで井深八重は、再検査をした所、ライオン病でないことがわかつた。八重は社会に復帰できるんだから、喜んでいいはずなのに、いつ死ぬかもわからない患者が無心の境地で生きていて、それを見てしまつた今、それまでの社会が変わつて見えて来た。八重はその病院の看護婦となつて働くことを決意した。一度は自分がライオン病と思ひ地獄に落ちたような体験を味わつたが、その中で生きるこの本当の意味をつかんだんだと思う。一生懸命生きようとする人間のすばらしさに八重は気付いたんだと思う。私は八重のようなすごい人間にはなれないと思うけど、トルエンを吸つて自らの体を傷つ

ベッドから 世界を見れば

(15)

福岡 久屋孝夫



秋のゼミ旅行で湯布院温泉(大分)に一泊した。豪華な夕食の前と後を露天風呂のサンドイッチではさみ、はじめての街で仕入れたケーキとワインで誕生日を祝つてくれたのは、七人の教え子たち。この日は四四身になった。彼らの人生の倍だ。

家族を離れて過すのもたまにはいいか、という想いの他に誕生日にまつわる多少の感慨が

マネージャー日記

(14) 緊急入院その後



鎌田千賀子

11月20日、私ははじめて退院した。ところが退院した翌日から打合せの為家まで来られ、自宅療養中毎日電話がかかるしやっぱ京都で療養した方が良かったかと思つたくらい。それでも何とか回復のききさが見えたのは、生理がきたこと。普通は右と左の卵巣が交互に卵を出すのだが私の場合これからは毎月左の卵巣が卵を出し続ける

ことがない。自分を励ますために。そういう友人がいてくれることは幸いだ。遠く離れて住む子供にとつても。

「さびしいとは言え、ほくたちの住む福岡に出来ないかと誘つても、乗つてこない。母が先立つても、そのまま一人暮らしをする決意は堅いようだ。貧乏な大家族のなかで、幼いころから「自分のことは自分で」して、「他人のこともできる」だけ世話をして」という暮らし方をしてきた父。

友人も多く、健康管理も自分なりの方法を持ち、多趣味で、退屈することがなく、一人でも十分楽しくやつていけるという自信があるからだ。

加えて、共に暮らせば、息子との「論争」で、とういて、一人暮らしの気楽さとはほど遠い暮らしになるにちがいないと予感しているのだから(かく言うほく自身はそう思う)。

父は一九一九年生まれだからこれで七三回目の誕生日か。すっかり忘れていた。何回祝つてもうれいものなのだな。

そのニュースで、家族中でケ

ことになるわけで、その夜はパンザイして母親にも電話してしまつた。なんとなく血らしきものがパンツについているのを発見してから丸2日たつて、生理はやつてきた。その2日間を勝手に解つてみると、右の卵巣から卵を出す番だつたのがいつまでたつても出てこないで左の卵巣がしびれをきらして卵を出したのではないかと。あの血らしきものは、右の卵巣のあがきなものでないだろうか。(という実感ではない)。

「復讐して一番気になつたのは彼女とこれからうまくやつていけるかということ。関係が元に戻るかと、とても心配だつた。病院にお見舞には来てくれたものの、入院中に連続ドラマの撮影も始まり、私の代わりに現場に付いてくれる人を彼女自身が捜していたというのだ。普通そういふことは事務所の仕事なのだ。

「キツキツの誕生日をする習慣がなかった、幼いころの実家を思い出す。正月、盆以外ではお祭りというハレの時ぐらいいしか食卓が賑わうことがなかった。働けども何も暮らしても楽にならない。専業主婦(時代をさかすかはばほとんどの日本人がそうだったはず)にとつて、鯛のお頭つきなどめつたに許されなせいだった。もつともそれがちつとも珍しくなかつた少数の階層もいたはずだ。

そういう状況だつたから、誕生日を祝するゆとりはなかつたというべきか。年ごとに巡りくる家族ひとりひとりの誕生日の祝いは、豊かさとともに定着し、ゆたかな時代のまに象徴であるように思われる。今はほくたち親のための(子供による)パーティーがあり、かつ、かつて格段にせいたくなメニューに、娘たちが手作りのプレゼントさへ添えてくれる時代だ。

ハレ(非日常)とケ(日常)がはっきり分かれていた貧乏かつた時代に比べ、現在は毎日ハレの世界に住んでいるようだが、事務所側が連れてきた人と合わないと思つたらしく、あちこちに電話をかけていたら、マネージャーが代わるなんてよくあることだ。理由はあつても無くても、事務所の命令ひつて動くわけで、普通の会社員の辞令といつしよ。入院したことで他に捜し出してマネージャーが付いたとなれば、私は御礼箱かもしれない。ふとそんなことを思いながら新春番組の収録スタジオに足を運んだ。

そこにはいつもと同じ顔、同じ言葉を私に向ける彼女がいた。「当分はスケジュール調整は私がやつて、現場はひき続きあなたたちに頼むから」と言う。彼女は大きくうなづいた。

会社は私に対して思つたより寛大だつた。病気が女性特有のものだけに皆口々に無理するなと言つてくれた。今のドラマ

の撮影が終わる2月の頭まではバイトの人を雇つてくれると約束してくれたし、体調が悪い時は早退しても休んでもいい。ただ、何が辛いつて頭では焦っているのに体がついてこないこと程辛いことはない。性格だからし方がないのかもしれないが、やっぱりあれもこれもと思つてしまふ。歩くのが辛いと思つたスタジオまで20分歩き、頭が痛くて体が危険信号を出しているなどわかつていても夜間ロケの現場を離れられない。

そして私は毎日何度となく傷を見る度にグッとあつてくる。傷もその痛みも体の一部にしてしまつたらいいじゃないか。なんつて心の底では思つていないやっぱりまだダメ。なるべく見えないように見えないように暮らさないように生きていきます。傷と共に生きていきます。なんて知人への手紙には書いたくせに。

もの。ケーキは、毎日の届く範囲にあり、華麗なるグルメの日々。飢餓どころか「巨食」過食に「食べ残し」が当たり前。さらには「ダイエット」に「拒食」まで出現する。そしてグルメから「自然食」へと時代は再びめぐる。

戦争に明け暮れた時代の後遺症は、ほくの幼い時代、つまり戦後しばらく続いた。幼年時代のほんとうにつつましい暮らしは、日本の今の豊かさが、ソマリアの飢饉の悲惨さと地続きであることを思い起こさせる。

昨夜、娘たちがほくの父から学んだことがある。中国大陸へ「侵略させられ、最前線にあつて、敵の弾をかくぐりながら前へ進んだこと、地面に伏せ、這いつくばつて弾より速く」進む、常識を超えた行動が要求されたこと、訓練不足で投げ捨てられた味方の手りゅう弾が、彼が今孫娘を抱く腕に当たつたこと(一升瓶の太さだつたこと)「不発弾でよかった」、爆弾のさく裂の戦争後遺症で、耳鳴りが今でも時折襲つてくること、戦場で料理上手になつたこと、

の撮影が終わる2月の頭まではバイトの人を雇つてくれると約束してくれたし、体調が悪い時は早退しても休んでもいい。ただ、何が辛いつて頭では焦っているのに体がついてこないこと程辛いことはない。性格だからし方がないのかもしれないが、やっぱりあれもこれもと思つてしまふ。歩くのが辛いと思つたスタジオまで20分歩き、頭が痛くて体が危険信号を出しているなどわかつていても夜間ロケの現場を離れられない。

そして私は毎日何度となく傷を見る度にグッとあつてくる。傷もその痛みも体の一部にしてしまつたらいいじゃないか。なんつて心の底では思つていないやっぱりまだダメ。なるべく見えないように見えないように暮らさないように生きていきます。傷と共に生きていきます。なんて知人への手紙には書いたくせに。

戦争はイカンと語気強く言う父だが、政府関与がしぶぶ公式に認められた「従軍(慰安)婦」のことはまだ聞かれない。民間人を決して虐待はしなかつたと言つた。よい戦争とは思っていないようだが、行かせられしかたがなかつたと言つた。

はじめのゼミ旅行の話にもどらう。一泊したあと、「空想の美術館」を訪れる。すでにこの美術館による「戦争と美術館」という書に出会い、湾岸戦争をテーマに取りあげた美術館というところで心に刻まれていた。

事実、今回のテーマ「九州の土俗面」にも興味をひかれた。鬼、猿その他の「面々」に、祖先たちの自然、超自然との共生の歴史をかいま見たような気がして、二度三度巡つた。

もつとも、館主のハートに感心したのも一時。記念にと思ひ彼の著作のひとつを手にとり、ページを繰つてみる。たまたまある章には「男子厨房に入らず」の活字が印刷されているのを見つけた。それで買うのはやめにした。

もつとも、館主のハートに感心したのも一時。記念にと思ひ彼の著作のひとつを手にとり、ページを繰つてみる。たまたまある章には「男子厨房に入らず」の活字が印刷されているのを見つけた。それで買うのはやめにした。

もつとも、館主のハートに感心したのも一時。記念にと思ひ彼の著作のひとつを手にとり、ページを繰つてみる。たまたまある章には「男子厨房に入らず」の活字が印刷されているのを見つけた。それで買うのはやめにした。

もつとも、館主のハートに感心したのも一時。記念にと思ひ彼の著作のひとつを手にとり、ページを繰つてみる。たまたまある章には「男子厨房に入らず」の活字が印刷されているのを見つけた。それで買うのはやめにした。



あの橋をわたるとき

(25) 向井承子

クルマは多摩の山々を分け入るように走った。橋を幾度も渡り、崖っ淵をガードレールにたろろとまもられながらの道である。冬枯れの森を縫う道すがら、霊園と老人病院、老人施設の広告ばかりが眼についた。ひしめきあうようにくらししてきた都民たちの終焉の地ともいうのだろうか。

クルマはさらに山奥に進む。アスファルトで舗装された「街道」から外れ、今度はようやくクルマの行き違えるほど細い砂利道をうねうねと登る。

姥捨て山……。フと、そんなイメージが心に浮かび、胸も凍る思いで私は打ち消した。

母を預かってくれるかもしれないと、ようやく知人から紹介されたU病院は、クリーム色の壁に赤い屋根を乗せ、人家など一軒も見えない冬枯れた山景色に包まれて建っていた。

ケースワーカーの女性、Tさんに会う。母の事情とこちらの希望は、紹介者からすでに伝えられていた。

内容はおおむね、こんなことだった。まず、骨粗鬆症も最末期で非常に骨折しやすいこと。いわゆる「ほけ」の状態はないこと。できれば、寝たきりにしたくないが、在宅では、「寝たきり老人を起す人」が見込めず、むしろ「寝かせきり」になりそうなこと。痛みで、すでに足の筋肉は萎えてしまっているけれども、せめてクルマ椅子が使える程度にまで状態を起す習慣をつけるための「リハビリ目的」の、短期間の入院を希望していること……。そして、現在、クスリは全く飲んでいないこと……。そして、このような事情を私が口にする都度、こ

けちった典型的なケースである。建前に言え、母の症状は実は、「介護力強化」のための「入院医療管理料金定額払い」制度に本来向いているらしい。ケアに重点を置いて「寝たきり」を起さず医療」ということである。そのための理学療法にも力を入れる仕組みになっている。ケアよりも限り無くケアを必要とする。このタイプを病人というのか、障害高齢者という方がふさわしいのか。私は後者だと思ふのだが、要するに医療と福祉の区分けなど丸ごとの人間には意味がないのである。

要は、その人にふさわしい手立てをだれが提供してくれるのかということだけなのだ。実は、先月号を書いてからいろいろあった。疲れ果てた私とろい貧になる一方のおばあちゃんが発信し続けた、SOS、SOS……。のサインを聞きつけた友人たちの救いの手である。一軒は、とるものもとりあえず駆け込んだ。噂になるほど良くしてくれるところ、内容もこれまで見知っている。「老人病院」とは雲泥の差で驚いたけれども、なんといっても、いまの東京の常識である「お世話

料(的なもの)月に25万円、その他に付き添い費用が一日に小1万円の立替え払い(全額は戻らない)は応える。多摩の病院の方は、全額健康保険による「定額払い」制度。付添いはいらず、自己負担はほとんどない。あつても、老齡福祉年金と東京都の寝たきり老人福祉手当でまかなえる程度である。ただし、安かろう、悪かろうでは困る、というのが見学の目的だった。

まず、眼についたのは、ベッドサイド・リハビリからスタートする「動かそう」とする病院

「向いている」とはどういうことなのか。もともと好奇心の強い私は、思わず身を乗り出してしまった。

「ここは、いわゆる「定額制」をとる「介護力強化病院」だった。数年前から出現したこの制度をここで簡単に説明するのは難しいが、要するに老人の入院医療に一律の料金を枠をはめるもので、医療も看護も介護もその枠の中でこなさなければならぬというシステム。治療至上主義から介護看護重視主義への転換の方法として聞いていた。

もちろん、この方法に伴う問題点も聞いていた。ケアよりケアというけれども、必要な医療さえしない「粗診粗療」の登場。それから、「重症は断つて軽症の患者をいれた方が楽」というもとの傾向の増幅。

先般新聞をにぎわせた恐怖のMRS A大量発生病院のケースもまた、介護力強化病院のことだった。「定額」の使い道をすべて治療にまわして、人手を

「パーバレー」などのアメリカのブリジット・バルドーとよばれていた頃の映画もかわいいし、原発を扱った映画や「ジュリア」やベトナム戦争を扱った映画もみんな見ている。

そして、わたしが、おもしろいと思っている一番のことは、彼女は、三回結婚したが、その三人の相手は、全く違うタイプの男性であることである。

一回目は、ブリジット・バルドーやカトリーヌ・ドヌーブと一緒に暮らしたブレイク・ボワイの映画監督ロジェ・パティム氏。ジェーン・フォンダと恋に落ちた彼は、カトリーヌ・ドヌーブと別れちゃったんだもの。すごい。彼の監督のもと、「パーバレー」「獲物の分け前」などの

映画が作られている。そして、あつと思ふほどブリジット・バルドーと似ている表情がある。ロジェ・パティム好みのはずらつとした女優さんという感じである。

二度目の相手は、「シカゴ・セブン」(シカゴ・エイトだった)の帝王と結婚しなくてもいいの

職員の意味だった。動ける患者のベッドサイドにはクルマ椅子が置かれていた。なにより、職員たちの明るさが心に残った。とりあえず、ことなかかわってみようかな。そう思っただけで深々と下ながら、不覚にも若いクルマ椅子の音で目を覚まして涙がにじみそうになって慌てた。か？ いや、疲勞のせいじゃなく、なんて馬鹿な心の問答だが、それほど嬉しかった。

しかし、実情は入ってみてからである。来年も書き続けようからよろしく。

気分はラブコール

(26) 福島瑞穂



読んで、彼女が、テッド・ターナーを「利用して」「その御威光」のもとに映画を作ったとホッとしたのだ。

しかし、三人に共通点はある。その時代を象徴している人物であるということである。

七〇年代に、メディアの帝王と結婚してたら、憤飯ものだったろうけれど、うーん、時代も変わったものだ。

彼女が、「時代の男」と結婚しようと思っただけでなく、彼女のなかに時代をよみとる微妙なアンテナがあつて、それがピンピン反映するのだから、そういう点では、まさに彼女は時代の女性である。

それにつけても、功成り上げた男なんかと結婚しなくてもよかったのに。

九〇年代というのが、もしかしてそういう時代なのかしらん。彼女は、これからの晩年を貧乏らしく生きてくれないと思っただろうか。

ハリソン・フォードにしろグステイ・ホフマンにしろ五〇歳をこえている。特に、ハリソン・フォードは、今まさに現役としてラブ・シーンを演じている。

五〇歳をこえたジェーン・フォンダが生きてきけるような気がつけよう。

「パーバレー」などのアメリカのブリジット・バルドーとよばれていた頃の映画もかわいいし、原発を扱った映画や「ジュリア」やベトナム戦争を扱った映画もみんな見ている。

そして、わたしが、おもしろいと思っている一番のことは、彼女は、三回結婚したが、その三人の相手は、全く違うタイプの男性であることである。

一回目は、ブリジット・バルドーやカトリーヌ・ドヌーブと一緒に暮らしたブレイク・ボワイの映画監督ロジェ・パティム氏。ジェーン・フォンダと恋に落ちた彼は、カトリーヌ・ドヌーブと別れちゃったんだもの。すごい。彼の監督のもと、「パーバレー」「獲物の分け前」などの

「パーバレー」などのアメリカのブリジット・バルドーとよばれていた頃の映画もかわいいし、原発を扱った映画や「ジュリア」やベトナム戦争を扱った映画もみんな見ている。

そして、わたしが、おもしろいと思っている一番のことは、彼女は、三回結婚したが、その三人の相手は、全く違うタイプの男性であることである。

一回目は、ブリジット・バルドーやカトリーヌ・ドヌーブと一緒に暮らしたブレイク・ボワイの映画監督ロジェ・パティム氏。ジェーン・フォンダと恋に落ちた彼は、カトリーヌ・ドヌーブと別れちゃったんだもの。すごい。彼の監督のもと、「パーバレー」「獲物の分け前」などの

「パーバレー」などのアメリカのブリジット・バルドーとよばれていた頃の映画もかわいいし、原発を扱った映画や「ジュリア」やベトナム戦争を扱った映画もみんな見ている。

そして、わたしが、おもしろいと思っている一番のことは、彼女は、三回結婚したが、その三人の相手は、全く違うタイプの男性であることである。

一回目は、ブリジット・バルドーやカトリーヌ・ドヌーブと一緒に暮らしたブレイク・ボワイの映画監督ロジェ・パティム氏。ジェーン・フォンダと恋に落ちた彼は、カトリーヌ・ドヌーブと別れちゃったんだもの。すごい。彼の監督のもと、「パーバレー」「獲物の分け前」などの

「パーバレー」などのアメリカのブリジット・バルドーとよばれていた頃の映画もかわいいし、原発を扱った映画や「ジュリア」やベトナム戦争を扱った映画もみんな見ている。

そして、わたしが、おもしろいと思っている一番のことは、彼女は、三回結婚したが、その三人の相手は、全く違うタイプの男性であることである。

一回目は、ブリジット・バルドーやカトリーヌ・ドヌーブと一緒に暮らしたブレイク・ボワイの映画監督ロジェ・パティム氏。ジェーン・フォンダと恋に落ちた彼は、カトリーヌ・ドヌーブと別れちゃったんだもの。すごい。彼の監督のもと、「パーバレー」「獲物の分け前」などの

ぼんちん

H. WAKO 21

そーっ、今年のお正月は最悪だったわ!

大人が、どう不景気だとぼんちんが困るんだはな

まったく、お年玉の現物支給のぞきだもんね

おーい、ささ鏡開きじゃないか、いまも置いておきな

お年玉、今年のお年玉は、紙ネボで出来たから、ささ、今年も、このまま、使えな

2月号 (No. 232)

1993年2月10日 (毎月10日発行)
1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)
〒165 電話 (03) 3385-2293
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをしている人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

今日のスパイス

社会党はなぜ 人気が出ない?

ソフト、シンプル、セクシーに

都城市 尾崎雅子

年末に、「トップがいかに」と書きかけていたら、田辺さんが辞めてしまった。当然です。次は?と思ったら山花さん。健気という感じだけど、あまり変わりばえがしませんね。プレートをどうするか、かな。今のままでは、変化を好まない革新の保守的体質がチラホラします。私のまわりでは江田五月がいいという声が多かったのに。党歴五年なんてくそくらえよ。どうせ人気がないのだから、思いきってイメージ変えたらひょっとするとひょっとと……しないか、やっぱ。これからの政治家はパフォーマンスが出来なくちゃ。「まじめ」がスーツ着ているのは流行らん。もっと明るく、魅力的に変身してほしい。社会党は、what isを追求して、Howtoを学ばない体質があるよな気がします。

もう許せない

高槻市 森本浩文

今まで何度か社会党へ投票したことはあったけど、もう止めたいと思う。若狭にある高浜原発の見学に関西電力が旅費などを負担したのに、議会へは「出張費」として請求し日当など20万以上をだましとっていた。党の政策研究集会に参加したにもかかわらず「行政視察」として50万が支給されていた。

カムバックノ土井さん

保谷市 金沢恵子

突然、原稿依頼が来た。テーマは「社会党はなぜ人気が出ない?」ひえーこんな難しいテーマで原稿なんか書けないよーと思つたが、依頼主は日頃からさんさんお世話になってますのきよしさんなので、書かないわけにはいかない。

安楽死を!

武蔵村山市 富久尾浩

存在意義が見出せず、しかも解党寸前の社会党に人気が高まる要素はない。自民党が失点を重ねた時の選挙で、反自民票の受け皿的な役割

私の「不」離党宣言

富沢よし子(杉並区議)

昨年十一月、私は杉並区社会党区議団を脱会した。この通知を読んだ人々から、離党おめでとうという誤解の賛意と、次の選挙は大丈夫かとの心配のお便りももらった。私は離党は

報告のうち、観光、帰省目的、党組合関係など不正で不必要とされるものが8割以上であることが公表されました。共産党も市民派といわれる(内申書のことや天皇制など)でがんばっているで悪口はいいたくないけど男性議員も、同じことをやっているわけです。

問題は、尼崎市とともに揺れた高槻市議会が、「行政視察検討委員会」が形ばかりの意見書を提出し、以前と同じ「出張・行政視察」がくり返されようとしていること。その意味で社会党のとり続けている態度は許せないと思うのです。

ひと昔前、社会党への投票は世論のようなのと言われてきたけれど、今、世論は中身はとなく政治改革をどれだけ大声で叫んでいようかであり、ブームは日本新党であり、シリウスです。彼らのスカウトが全国を走り回り、国会をめざす無党派市民議員や、ゆるる社会党議員を自信をもってひっぱりつけていくのです。

私は、いろいろな請願をもつてよく国会(議員会館)に行くが、女性議員が増えたあととあのフインキの変わりようは、今でもはつきり覚えていて。それまでの理屈ではない肌を感じる「男社会」の空気がまるで違つたのだ。それに、相対的に見ると請願の紹介議員のお願いの応対の仕方が女性議員の方が感度が高いように思う(勿論、男性議員でもない人はいる)。

やはり、今思うと土井さんは偉大だった。土井さんが辞めたあとの「影の内閣」を見て、女性が一人もいないのには、一気に社会党から目が離れちゃったもの。

もし、できるなら、土井さん、カム・バックノ!

この党ほど世論に鈍感な党を知らない。彼らにとつての「世論」とは、労組幹部の声なのか、市民感覚の持ち主は数える程の少数である。

当用漢字すら読めないような者を公認して議員に出してくるのだから、勉強不足もいところ、「勉強しろ」と言うこと自体が無理なことである。

政権党は常に世論に配慮し、敏感に対応しよう、アメとムチを巧みに使わなければならない。社会党には、その一かけらもない。最近、一人の都議が離党した。その理由は「党内に民主主義がない」ということだった。

「今ごろ何を言ってるの……」という感じで、その報道を見た。この党の多くの人は、民主主義の精神を忘れた人々たちであるが、私は思っている。

今から二十三年前の七〇年安保闘争は、「党は大衆運動を裏切り、党内民主主義を放棄した」と、通りに批判して脱党。以来今日まで革新無所属で市議を続けている私は、それでも、各級選挙で社会党に協力してきた。

まさに、不毛の中の選択であったが、これにもそろそろ終止符をうつ日がやってきた。政治改革は社会党を解体することにやって加速度的にいくようにも思えるからである。

歴史的役割を終え病床にある社会党に「安楽死」を!

私がいらない。区議団から離れ一人の会派として再スタートしたのである。すると今度は、三井マリ子さんの離党ニュースの嵐の中で、「なぜ、まだあなたは離党しないのか?」と尋ねられている。私がなぜ社会党を離れないのか。この誌面をかりてお伝えしたい。

私が区議団の会派から出たのは三つの理由からである。一つは昨年三月と十一月の予算および決算の特別委員会、区の九年度予算と九年度決算に賛成しなかった「小児成人病」検診の強引な学校現場への導入や男女平等施策の質の低下などから、私には賛成しかねる重要な採決があった。賛成の理由を尋ねると返された答えは、「派閥が決めたんだ。従えないヤツはさっさと出ろ」というものだった。

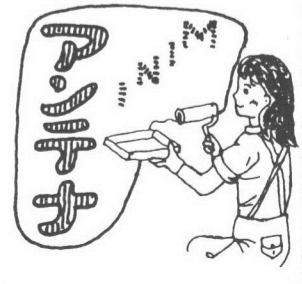
二つ目は高円寺駅北で東京都が計画している強権的手法の第二種再開発を、都議会の社会党は賛成したのだから反対は許さぬと言われたからである。地元多数の人々がねばり強く十年間余、絶対反対を訴え続けてきたことである。私は当該の建設委員として断固として反対しなければならぬことだと確信していた。

三つ目は私の要望や意見がどことく踏みにじられ、平等の配分とすべき発言時間すら、奪われる状況だったからである。例えば九百数十人の区で働くパート職を三年で解雇すること。在日韓国人や婚外子の差別の是正などについての発言や要望を妨害され、「そんなことを言うなら過激派へ行け」とののしられ、私にとって、重大な区議としての活動への障害を与えられ続けていたからである。

こうした体験は私だけの特殊なものではないことを地方議員の集まりの交流の中で認識した。地方議会での社会党の保守化の加速。党内を支配しきついている派閥というモンスターの存在。党歴の長さを基準に秩序づけられる発言の軽重。上層の決定と

「久喜きょうくを考えると」が発行している「こやらい」というミニコミに載っていた話。このミニコミは主に「登校拒否・不登校」をテーマにしているのだが、その中に「あなたの命、あなたに返します」という言葉が出てくる。これは、寿福祉センターの村田由夫著「良きようとするのはやめたほうがいい」の中で、アル中の夫をなんとか直そうとしている妻が、実は彼女の生き方こそが夫の足を引っ張っていたことに気付いて、夫に言った言葉として紹介されているものだが、登校拒否の子と親の関係にも当てはまる、という趣旨だ。

これは分りやすい。ただし、政治に対しては「私たちの税金私たちに返してよ」と言わなければならぬが…… (M)



気分はラフゴルフ (27)

福島瑞穂



真が、よく「衝撃の素顔」として、写真週刊誌にでたりする。マリリン・モンローは、早く死んだので老醜をさらさなくてすんだが、あのプリジッド・パルドーも五十何歳……女は長生きしない方がいいといった記事には、人が生きていくとどうと何を何と想っているのかと本当に腹が立つ。

知り合いの男友だちに、「女性の若さと美しさ」について質問をしてみた。「そんなことどうでもいいよ。オードリー・ヘップバーンなんて若いときの方がうーんときれいだったかもう出てくるのか言わねえ。彼は、永遠の命を獲たたえ、彼は、永遠の命を獲たたりするけれど、今、すごくいい顔していると思うよ。ユネスコの活動をしたり、ガンにかかっているようだけど、ふるさとの山を見たいて引越しているよね。そんなところはいいと思う。品のある顔をしているよ。」

「そんなことを聞くとホッとすか体の線がくずれたと言われ、それを恐れて秘薬を飲むが、腹の出したサエないアル中の中年役のブルース・ウィリスは、秘薬を飲まずむしろ、家族を作った永遠に生きるなんてなんのこっちゃ。女性たちが追いつめられ、なぜ追いつめられているのかなんて問題にされないもの。しかも「若さと美しさ」に執着した女性たちは、みじめな末路をたどり、男が好々爺になって幸せに人生を終るなんて、冗談がきついで。」

マリリン・モンローの、晩年の写真は、少し疲れた顔をしている。マリリン・モンローは、これらの写真が使われることのないようネガにヘアピンか何かでバッテンのマークを付けている。そのひきつった×マークが彼女の気持ちを良くあらわしていると思つた。

「女は若く美しく」が彼女を殺したと言っているのではない。筑紫哲也さんは、ナイスガイだと思つて、彼を見ていてうらやましく思うのは、彼が白髪でキャスターをやったり、しかもそれが魅力になっていて、ベストドレッサー賞を受賞していることである。

女性だったら、彼の年齢で白髪でキャスターをやれるだろうか。これからそうならたらない。女友だちに、「年を取らうくない。とつぶやくと、年を取った方がずいっといいわよ。」と四十二・三歳の彼女はきつぱり言う。

「永遠に美しく」という映画を見に行った。メリル・ストリープとゴールデン・ホーンというライバル同士が年をとらない秘薬を飲み、永遠の命を手に入れた。死ななくなってしまう。そのライバルの間にはいるのが、ブルース・ウィリスなのである。見ながら途中はゲラゲラ笑ってしまった。

わたしはこの間写真をとってもらったら、眉間にしわが刻まれているのが写ってゾッとなつてしまった。

白髪や肌の衰えは、非常に気になる。どうしてこたない、よりよく年をとればいいし、感じがいればそれでいいのよと思いつつ、数年前の写真を見て、「若い」と思うとそう思うこと自体にショックを受ける。

この間、五〇代の知り合いの女性に会つたら、「目尻のしわ取り手術を受けようかな」と言つてた。

平均寿命が伸びて、女性が生き生きできる期間が何十年にもなり、また、「豊か」になつたことが、逆に女性たちに小さな悩みを与えている。

美容院で、女性週刊誌を開く

でもこの映画は、ギャグとドリ・ヘップバーンの最近の写真を見てみた。

二人の女性は秘薬を飲むが、ブルース・ウィリスは飲まない。そして、二人の女性から逃げるが、映画のラストは、ブルース・ウィリスのお葬式で終わる。牧師と思われる人物が、彼の徳をたたえ、「彼は、永遠の命を獲たたえ、彼は、永遠の命を獲たたりするけれど、今、すごくいい顔していると思うよ。ユネスコの活動をしたり、ガンにかかっているようだけど、ふるさとの山を見たいて引越しているよね。そんなところはいいと思う。品のある顔をしているよ。」

「そんなことを聞くとホッとすか体の線がくずれたと言われ、それを恐れて秘薬を飲むが、腹の出したサエないアル中の中年役のブルース・ウィリスは、秘薬を飲まずむしろ、家族を作った永遠に生きるなんてなんのこっちゃ。女性たちが追いつめられ、なぜ追いつめられているのかなんて問題にされないもの。しかも「若さと美しさ」に執着した女性たちは、みじめな末路をたどり、男が好々爺になって幸せに人生を終るなんて、冗談がきついで。」

ぼんちん



全部ひらいた。おれの本命は2だ。おまえは？

ねえーおれはいつまで？

おれは2つ！おれの本命は2だ。

おれは2つ！おれの本命は2だ。

おれは2つ！おれの本命は2だ。

「女は若く美しく」が彼女を殺したと言っているのではない。筑紫哲也さんは、ナイスガイだと思つて、彼を見ていてうらやましく思うのは、彼が白髪でキャスターをやったり、しかもそれが魅力になっていて、ベストドレッサー賞を受賞していることである。

女性だったら、彼の年齢で白髪でキャスターをやれるだろうか。これからそうならたらない。女友だちに、「年を取らうくない。とつぶやくと、年を取った方がずいっといいわよ。」と四十二・三歳の彼女はきつぱり言う。

「そんなことを聞くとホッとすか体の線がくずれたと言われ、それを恐れて秘薬を飲むが、腹の出したサエないアル中の中年役のブルース・ウィリスは、秘薬を飲まずむしろ、家族を作った永遠に生きるなんてなんのこっちゃ。女性たちが追いつめられ、なぜ追いつめられているのかなんて問題にされないもの。しかも「若さと美しさ」に執着した女性たちは、みじめな末路をたどり、男が好々爺になって幸せに人生を終るなんて、冗談がきついで。」

マリリン・モンローの、晩年の写真は、少し疲れた顔をしている。マリリン・モンローは、これらの写真が使われることのないようネガにヘアピンか何かでバッテンのマークを付けている。そのひきつった×マークが彼女の気持ちを良くあらわしていると思つた。

「女は若く美しく」が彼女を殺したと言っているのではない。筑紫哲也さんは、ナイスガイだと思つて、彼を見ていてうらやましく思うのは、彼が白髪でキャスターをやったり、しかもそれが魅力になっていて、ベストドレッサー賞を受賞していることである。

女性だったら、彼の年齢で白髪でキャスターをやれるだろうか。これからそうならたらない。女友だちに、「年を取らうくない。とつぶやくと、年を取った方がずいっといいわよ。」と四十二・三歳の彼女はきつぱり言う。

「そんなことを聞くとホッとすか体の線がくずれたと言われ、それを恐れて秘薬を飲むが、腹の出したサエないアル中の中年役のブルース・ウィリスは、秘薬を飲まずむしろ、家族を作った永遠に生きるなんてなんのこっちゃ。女性たちが追いつめられ、なぜ追いつめられているのかなんて問題にされないもの。しかも「若さと美しさ」に執着した女性たちは、みじめな末路をたどり、男が好々爺になって幸せに人生を終るなんて、冗談がきついで。」

マリリン・モンローの、晩年の写真は、少し疲れた顔をしている。マリリン・モンローは、これらの写真が使われることのないようネガにヘアピンか何かでバッテンのマークを付けている。そのひきつった×マークが彼女の気持ちを良くあらわしていると思つた。

「女は若く美しく」が彼女を殺したと言っているのではない。筑紫哲也さんは、ナイスガイだと思つて、彼を見ていてうらやましく思うのは、彼が白髪でキャスターをやったり、しかもそれが魅力になっていて、ベストドレッサー賞を受賞していることである。

津田の学生は近くの橋の学生との交流が多いそうで、その一人が「二橋の学生は母親のくつき魔が多い。あれは何なんだ」という声もあつた。冬彦さんの研究も女性学が対象とすべきテーマではある。

レポートをもとに、学生の成績をつける時は、「ウーン、これは権力の行使だなあ」と、さすがにほくもためらったけれど、一律評価にはしなかった。かなりひどい論文もあつたから……。

たしかに、権力の行使はコワイが、甘い蜜の味でもあることを実感した。大学のセンセイは見栄えもいいし、3日やったらやめられないシヨバイと言われる意味も分かった。

全部で14コマ、合計21時間の女性学をこなしただけで、ほとんどのメニューも少しは豊富になつたかな？でも、もうこんなふうにロンクの仕事は来ないだろうなと思つていたら、4月から6月まで、M市の市民会館で8回連続の仕事が来た。津田の時は、心ならずも、こちらが一方的にしゃべる不得意なスタイルになつてしまつたが、今度のは、最初の企画から、担当職員と相談しながら進めることができるので、「自分探しのイメージシアター」のタイトルをつけ、参加者がしゃべる時間を沢山取れる講座にしようと思つている。

ところで、去年まではたびたび「育時連世話人」の肩書きを使つてきたが、そちらは引退したので、これからはフリージャーナリストという、実に怪しげな肩書きにしようと思つている。

参加費 500円
保育あり、予約制
主催 横濱市女性協会 ☎045/862/5022

日時 2月27日(土)2時半
4時半
場所 横濱女性フォーラム
定員 380人(申込み先着順)

日時 2月20日(土)1時~5時
場所 鎌倉市中央公民館(主催)

日時 2月13日(土)2時~6時
場所 総評会館2F ☎03/3253/1771
パネラー 堤愛子/長谷川良夫/福本英子/丸本百合子/三矢英子
参加費 500円
主催 同実行委員会 ☎03/386/0362

「おどろきの女性学」始末記

12月の最後の講義は、1時間半かけて、受講者全員の自己紹介をしてもらった。老人介護の毎日を送る主婦が、この講座に来るのを楽しみにしているのだ。その日に限って、お年寄りが相相したりするのだ、という人の話を聞いて、こちらがノーテンキなことやべつていっているのが申し訳ないような気持ちにさせられたりもした。

メキシコ湾のハタは両性具有で、2尾が出会おうと、女役男役を互いに1回づつ、合わせて2回セックスする、実に公平なやり方ではないか、という話もしたが、それがいたく気に入った人もいない。

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

「おどろきの女性学」始末記

老い方いろいろ

(22)



川崎弘子

いろいろな高齢者の方の生活を
書かせてもらってきたけど、今
日は私の祖母の事を詳しく書い
てみたい。

私の父方の祖母は、3年半程
前に亡くなった。

脳梗塞の後遺症で痴呆もあり
発病して2年間、最初は一般病
院に3ヶ月。そして1年7ヶ月
は、老人病院で過ごした。家に帰
りたいと繰り返していたという。

彼女は、亡くなったときは85
才。大分県の日田市五馬という
山の中で生まれた。学校には行
かず実家の農家の手伝いや弟や
妹の子守りをしていた。

18才のときに、祖父の父にそ
の働きぶりをみこまれて結婚。
祖父と祖母は、いとこ同志で顔
なじみだったという。

彼女は、祖父の父が大酒飲み
である事と結婚する事が嫌で夜
熊本県内で髪結いをしていたお
ばさんをたよって家を出したと
いう。電灯もない山道を棒切れ
をもって女の子が一人半日も歩
いていったんだから、さぞ心細
かったことだろうと思う。でも
祖母は、「全然こわくなんかな
かった。それより、あの人がい
つしよになるのが嫌でしょうが
なかったから。」と生前淡々と語
っていた。

家出は結局、3日間で終わった。
おばさんから連絡を受けた祖母
の父がむかえに来たのだ。もし
てその一ヶ月後、祝言があげら
れた。

家出の前には、近所の友達と
大阪の紡績工場の女工になろう
かと話合っていて大阪へ連れて
いくという口入れ屋のおじさん



と打合わせまですんでいたけど
直前になって友達がおなかをこ
わして、予定どおりに事は、運
ばなかったという。

「じいちゃんの事、好きだっ
た？」と私が聞いたことがある。
もう10年も前の事、たくましく
て丸太かつきをしていた祖母に
ちよつと聞いてみた。なあと思
ったから。

「好きとか、嫌いとか考えた
事なんかなかった。嫁に行つた
ときから、畑と家の事や、つ
つ3ヶ月もたたらうちに、じいさ
んは、対馬へ出兵に行つたし、
その頃には、一番上がおなかに
入つたしな。8人生んでチフス
で3人死んだ。ゲタ工場もして
た。忙しくて、そんでもじいさ
んは、消防団ばかり通つて酒飲
んじや暴れて、畑も何もせんか
つた。

「うちが何か言うと、お前は、
おやじが気に入って嫁にした女
だ。おれには関係ない」といつ
やあ、暴れたから、うちはもう
何も言わんようになった。べち
やべちやおあいそ言うのは、嫌
だったし、何も話さなかった。」
祖母は、無口な人で子供とも
ほとんど口を聞かず、祖父は、
やたら口やかましい人であった
つた。

ナスはほとんどみんな借金に当
てられたという。

祖母は、町中の大きな家から
町はずれの小さな平屋に移り、
借家をその後の材木の切り出し
という仕事を、コソコソと
お金をためて買いつた。

川崎にきて夫と2人、食堂を
営んでいた祖母の末娘の所へ手
伝いに上京。その時田舎の家は
下から二番目の娘夫婦に住まわ
せた。祖母はいつかその家に戻
るつもりでいたらしい。

だが、その家を100万円で売つ
てほしいという話が出て、うや
むやになつていった。40万円程は
5年間に払われたがその後のお
金は、とどこおつていった。

そして5年前に田舎にもどつ
たとき、残りの60万円を払うと
いう事で、祖母の家は私のおほ
の物になった。

祖母のその時の狼狽ぶりは今
も印象深く忘れられない。
私に100万円みんなやるといつ
て、お金を握らせてブルブル震
えていた。

帰京する飛行機の中でも、ま
すます口数が少なくなつて痛々
しかった。辛抱していれば報わ

れるといつていたのに、娘から
思いもかけない行動に出られて
しまった。契約といつても祖母
の理解は及ばないものだったし
私だって納得はいかなかった。

その後、祖母は3ヶ月たつて
発病。入院となった。

川崎のおばは、夫を亡くし食
堂を経営。住居は2Fに2間。
高校生と中学生の子供がいて、
祖母を自宅でみるのは、ほとん
ど無理だった。

田舎の私の父母の家へひきこ
つたという話も出たが、私の
母も病弱で共倒れになる可能性
が高くてだめだった。

皮肉な事に祖母が入院した病
院は、訪問看護を取り入れた先
駆的と評判の所だった。

私が、お見舞いに行くといつ
しよに布団に入ろうという。淋
しいとよく言っていた。

父の親類と私の父母の軋轢も
あって、私は何もしなかった。
福祉の仕事をしていながら、
何の役にも立てなかつた。

この事は、ずっと忘れちゃいけ
ないと思つていて。

マネージャー日記

(15) あなたにあいたくて



鎌田千賀子

私は今新しいパターンの恋愛
にはまっています。相手は36才。
現在撮影中のドラマの演出家で
年末に仕事のこと自宅に電話
したところ、なぜだか6時間も
話を聞いてしまい、それが初まり
だった。

恋愛のパターンなんて、ちょ
っと変な話かもしれないが、私
の場合その大部分が一目惚れな
のだ。一瞬にして好きになつた

相手は、幸い向こうもそう思っ
てくれて、一週間後には両思い
になつていてというところがほ
んどだった。要するに始まりか
らお互いが男女を意識したとい
うことだ。

それがどつこい今回は、気の
合ふお友達という感情から向こ
うが入つていて、私を女と
して認識させるので、私を女と
して踏まなければならぬ。そ
れで初めての経験だから、な
かなか大変なのだ。

もうひとつ初めてのことがあ
る。それは人を好きになる時、
今までは見た目から入つていた
のだが、今回は違うということ。
三高とまでは言わないが、身
で若くてわりと見た目にきれい
な、そういう人ばかりを好きに
なるのが当たり前、それが自分
だと思つてた。

が、そうではない人を好きに
なつた。彼は決して若くもな
く、

十二月に子供たちの学校の個
人(父母)面談があり、久々に
学校へ行きました。

娘が中学に入学してからのは
じめて、息子が小学三年に進級
してからもはじめて学校へ行つ
たのですが。

担任に会うのは、四月に家庭
訪問があり、それぞれ新しい担
任に会い、わが家は父子家庭と
なりましてと話したので、はじ
めてではありません。

家庭訪問の時娘の担任には、
娘は父子家庭であることを友だ
ちにも話していないし、知られ
たくないと思つていてと告げた
のですが、担任は「母子家庭も
父子家庭もめずらしくないです
よ」と名簿を差して「こども、
こども」と言いだしたので、私
はあわててしまいました。

とにかくマジメな娘なので、
そのところ気がついていたので
ききたいと言つてから八月月
入学した当初こそ、先輩に目

をつけたら、不良がい
て悪いなど言つていたのに、
部活帰りはジュースを飲みなが
ら友達と日暮れでもおしゃべ
りしているし、おくれそうだと
チャリ通(自転車通学)ももちろ
ん禁止)したり、コンビニで人
のカサを持つてきたり、授業中
の態度が悪いと注意されると廊
下に出てしまつたり、部活の朝
練(早朝練習)に遅れる位に寝
坊したら三時間目から登校した
り、まったく肩の力の抜けた気
楽な学生生活をエンジョイして
いるようです。

それらの日常のようすや、友
だちとのつき合いについて、も
う私がウンザリする程に家でし
やべるので、その都度「それで
は犯罪だ、警察の世話になるか
らやめよ」とか「一人をみん
なで問い詰めるんじや、イジメ

ている。その大切なものとは、
信頼・友情・情熱・真実・自信
約束・絆。これらひとつにつき
一ヶずつアイテムがあり(それ
は万年筆だったり鍵や指輪だつ
たりするのだが)本来死ぬ運命
にある彼を、過去に逆のほうで
そのアイテムを取り戻すことに
よつて救おうとする話である。
人間にとって大切なものがこ
の7つだけだとは思わないが、
考えてみるとすでにいくつか失
つていのではないかと。ただ
そう思いながらも、この前の入
院で体の一部を切り取つたこと
によつて、そのうちの何かを取
り戻したような、今はそんな気
持だ。

あなたにあいたくて

ドラマのタイトルと自分の気
持が同時進行しながら、この原
稿を任事中に彼の背中を見つめ
ながら書いているなんて、やつ
ぱり私は幸せ者かもしれない。

文部省も自ら認めたように、
子供が学校に行きたがらない原
因は行かない子供だけであら
ず、学校にもあるわけだから。子
供たちの勉強のなかみを聞いて
いても、なんでこんなにいっぱ
い勉強しなくちゃいけないんだ
ろうと思うし、私が子供のころ
とちがって、みんな良く勉強が
できるんですね。そのことだけ
でもたいへんだと思つてしま
います。まあ無理をせずに、楽し
く生きていってほしいものだと
考え、教師にもそう言つてい
るところです。

以前は、交替制勤務で平日の
昼に家にいることが多かったこ
ともあり、父母会だ、行事だ、
授業参観だ、と良く学校へ行つ
たものです。また、男親も学校へ
行くべきだとの気負いもあつた
わけですが、だいたい男は私一
人という居こちの悪さも加わ
り、一方通行で本音の出ない会
話にもうんざりしてました。

父子家庭になり、最初は学
校へ行くのもおそろそかにしな
いと思つたものの、母親が行つ
てやっていたの意向もあつて足が
遠のいたわけですが、今ではむ
しろ行く気持もなくなり、最底
担任とのコミュニケーションさ
え持てればと思つています。

子供にとって学校があまり楽
しくないように、大人にとつて
も楽しいものではないのだから
無理して行くこともないし、子
供と話し合う時間もたくさんあ
つて、教師よりも子供に聞いた
ほうがわかることも多い。

また、子供に対することも私
一人で決めていけるので、とて
も気が楽です。夫婦が子供に対
して取る態度は、どうしてもく
い違いがあるし、おたがいに責
任を押しつけ合つたりすること
となり、子供の問題よりはむしろ
大人の問題に心なやますこと
が少なくない気がします。



どつこい父子家庭 (4)

石井文夫

個人面談では、担任はともか
く出席の多いのが気になるよう
で、話題はそこに集中。
朝の早い仕事をしている私は
電話で起こしてようすを聞くこ
としかできないので、熱があつ
たら無理して学校に行かなくて
いいと言つていけるのですが、
姉は部活の朝練が毎日あるの
でさつさと登校してしまふし。
高い熱が出て、一人でグッタ
リ寝込んでいけるのならたいへ
んですが、一人でまあまあやつ
ていけるので、それほど心配はし
ていません。

ともかく、学校の休みが多い
と、学校もともかく登校させよ
うとするし、まわりの大人も、
「登校拒否」とか「不登校」で
はと心配をする。

私も、子供が学校に行つてく
れば、給食もあり安心なので
すが、日常生活がそれなりに送
れれば、行つても行かなくても
気にならないのですが。

父子家庭になって、ともかく
子供のことはいろいろ心配でし
たが、子供は子供でたくましく
生きてくれているようです。

あの橋をわたるとき

(26) 向井承子



おととい、雪が降った。まるで花びらのような雪がひらひらと路上に舞い降りていた。

その翌日、午後一時、約束の時間に大型の白い寝台車がきた。ボディには「訪問診療車」と書かれたクルマから看護婦さんがかけ降りてくる。

「おはあちゃん、からだをどんな風に抱かれましたか？」

「ときどきと血圧をはかり脈をみて、母が一番好みの姿勢に抱えられて、ストレッチャーに横になり、電動のリフトのようなもので、滑りこむようにクルマに入りました。」

隣には看護婦さんがびつたり寄り添い、発進である。

中央高速道から国道へ。乱診乱療、患者虐待の事実を訴えたばかりに「不当解雇」された職員さんから話を聞いていた「高名」な老人病院の近くを通り過ぎるうちに、クルマは、うねうねと小川に添い、林を抜け、山

道は抜けていく。

「秋はきれいなんですよ。毎日通う私でもみとれてしまいうらい」と看護婦さんが母に語りかける。見れば、秋の色をしのばせるように、赤茶けた落ち葉がびっしりと積もっている。でも、杉並区の住人には、はるばる山奥にきちやつたなあ、という思いが胸をつく。と、「多摩の軽井沢っていうんですよ」と運転手さんがおどけた。働く人たちのなげなしの明るさが嬉しい。こんなことはに励まされる私たちである。

病院に入る。老人病院や障害者施設を取材する時、まず気になるのが、病院の臭いである。香りなんてものではない。汚物の臭気と、その汚れを殺菌剤で帳尻をあわせようとしているかのような、異様な空気は住むものの悲惨さを教えてくれる。たとえば、昔、豚小屋というのは臭いものだと思っていたのだが、実は豚ほど清潔好きで織

きているみたいですから、皆必要な事だったんでしょね。大切なのは「気がつく」こと。反面教師とは、相手の内に在る自分の姿と、自重してます。

「どっこい父子家庭」で、労働運動なんかやってたら、父子家庭やったらね、というのもよくわかります。労働運動を市民運動と置き換えても言えると思うけど。ウチのつれあい氏は、私がいなくなったら、NGOやチャームの活動は全くできなくなる、というのとは分かってるだろうけど、今の彼が石井さん

のようになれるかは？

そのうち、どんな方が読者になつていくのか、何行かの自己紹介による「読者交流会」をや

も苦しいはずだ。

「おや？」と思ったのは、そんな面倒臭い要求をあらかじめ伝えておいた私たちへの、看護婦さんやお医者さんの対応だった。私と話をする前に、まず、母と話をした。九十才の本人の希望を受けて、その上で家族と打ち合わせる手順である。

「原則として、トイレはポータブルでできるように。本人がナースコールを押せば、必ずとんでくるようにします。ただし、大の方ですが、下剤を使つた時など、まにあわないといけませんので、その時だけ子防のおむつをあてさせていたでいいでしょうか。もちろんだ、その時でも、ポータブルでできるようにします。」



ひとと通信

「今月のスペシャル/私の反面教師」は、沖繩の沖元富貴子さんの文章が印象に残りました。私の実の親も、養父母も、親としては失格。愛し方のわからない人達でした。でも、人間ってどこかで自分のしたことのリスクは負わねばならないようにで

「たたらおもしろいか、とも思いますが、(抜粋)仙台 久美子」

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

センスは教室で

カルメン踊り 原田瑠美子



雅子さん、かわいそう

一月六日の夜、スキー場から帰って、行きつけの寿司屋で一杯やっていたら、テレビ番組が突然変更となり、皇太子婚約内定のニュースが飛び込んだ。相手はやつぱり小和田雅子さんだった。数年前、しつこく付きまとう報道人に対して毅然とした態度をとった雅子さんに対し、私は好印象を抱いていた。「雅子さんが決心するからには、相

当のプレッシャーがあつたんだろうな」と感じ、単純には喜ばない心境だった。

そして、一月八日の始業式、教師の間では新年の挨拶と合わせて、皇太子婚約の話題が交わされた。(生徒の間では、貴花田と宮沢りえの婚約発表の時の方が大騒ぎだった。その日は朝から夕方まで、貴・りえの話題で教室が熱気を帯びていた)

新年会の席上、後援会長はこんな挨拶をした。

「おめでとう、皇太子ご婚約というおめでたいニュースで新学期がスタートしました。雅子さんのお住まいは目黒区、そして母校は世田谷の田園調布雙葉学園

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

「この場合は、痛み止めで胃出血を起こしたことがあ

3月号 (No.233)

1993年3月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)
〒165 電話(03)3385-2293
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。
◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかさないです。

自分語り

枚方市 糸原栄子(37才)

脳性マヒの息子(40才男性)は時々講演を頼まれて小学校に出かける。私は彼の車を押して教室の隅で話を聞いているのだが、のっけから「うわ、ぐちゃぐちゃの声や」、「何言ってるか分からへん」とハチの巣をついた様な騒ぎになる事もある。一切口を出さないうと注文された担任の先生は、ちょっと困ったなという顔であわてている。かなりきつい言語障害があるのだが5分もすると子供達は聞きとれる様になるからすごい。大人はこうはいかない。子供の質問せめて彼が服を脱いだり着たり車イスから降りて乗る所を実演したり、はては男の子にだけしびんでおしっこをして見せるサービスマンも、一番伝えないのは「ぼくは元気。病気じゃないよ」という事らしい。感想にも「体が悪いと思ったのに元気元気と言ったけどほんとかない」とある。先生のねらいは欲張りな禁物。ああ、もう紙面がない。あれもこれも書こうなんて私欲が深いね。

大分市 鶴木敬憲

一九三四年末の生れで、もう十五年来の読者です。紙面全部を読むし、この間の旧号をすべて保存しているし、愛読者たるゆえんです。電力会社に就職し、勤務地はあれど一貫して火力発電所の中核御室が職場だが愛着があります。特に夜の勤務がよい。手持ち時間が多く、今までの私の読書時間は、もっぱらこの時代からです。少数左派の労組に身をおき上長たちから「組合のモサ」と言われていたが、管理職になって

川崎市 福岡祐子

こんには、福岡祐子です。25才の公務員です。私は調子者かつ、のめりこむタイプで、おんなの問題から組合にはまりまわりの一方で、スキーとチャンゴ(朝鮮の太鼓)に夢中になっています。去年、とある演劇ワークショップに参加したとき、最初の自己紹介の「自分にとって一番楽しいことはなにかな」が、年代でまったく異なっていておもしろかった。30代は食べること、40代はごろごろしていること、私代は同様の早と、やっぱり恋愛は早いと意気投合しました。

広島市 小堀恵子(53才)

五十代を目前にした五年前、京都から夫の郷里の広島へ車イスの実母と一緒に家族大移動。十年來の夢だったことも本の専門店をオープン。店の名は魔法のマークの「ほうき星」。魔法のマークの「ほうき星」。魔法のマークの「ほうき星」。

大田区 大橋由香子

一九五九年生まれ。仕事は編集。週刊「日本読書新聞」や月刊「新地平」(そで)で執筆者としての活動。結果は技術も人間性も頭にならうと頑張った。結果は技術も人間性も頭にならうと頑張った。結果は技術も人間性も頭にならうと頑張った。

川崎市 鈴木伸子

現在、川崎で精神科医をやっています。31才同居人あり。6年前結婚したときには悩みました。結婚が法律婚を選び、職業上のせいなのか、いつも複数の自分がいるみたいでカメレオンの「体制への異議申し立て」と

福岡市 古市康子(30才)

東京脱出をして、福岡に引越してきては10ヶ月。ここに来る前は、東京にある外資系の広告代理店で営業というカッコイイ(とまわりから言われていた)仕事をしていた。アメリカの大学でビジネスを勉強して以来、組織の上で上へのほりたいたいと思ってやってきたけど、会社で昇進したあたりから、「アレ、これが私の欲しいものだったか?」と感じ始めた。仕事もヒールで、毎日帰るのも遅く、自分の生活はゼロだった。そんな頃、アメリカからボーイフレンドが、私たちの長い長距離恋愛(私は東京、彼はカルフォルニア)になんらかの答えを出すため来日。日本で仕事をしつけ、しばらく住む予定だった。当然、彼が仕事探しの連続で、時間がない、彼も私に不満が募るばかり。いろんなことが重なって、「こんな生活じゃ無理だ」と、仕事を辞めてしまっ。彼が仕事を見つけた福岡に、一緒に来ることにした。福岡に、一緒に来ることにした。福岡に、一緒に来ることにした。

北九州市 入船尚雄

「交流」がくるたび、はたして僕は「いろいろな生活領域から体制に異議申し立てをして人々」なのか、と考え込む。正直言うとびびりた。僕は一九六一年生まれで、新聞社の広告部門で働き、一人暮らしをしてる。日々の仕事は客観的に高度資本主義を支え、大量消費社会の回転をさらに早めているという見方ができる。主観的には与えられた枠内で(ごくたまには枠に抵抗しながら)意味や意義をかき立て、納得しようとする。そんな僕の一番の「体制」は僕の中にある。自由気儘なはずなのに内なる体制が最も僕を不自由にしてる。「交流」は、肯定できる生き方を把み、生活者として自信を持つ、一世代上のいわゆる「左翼系」の人の相互検証の場、という印象を持つ。読みながら僕はさらに不安になる。しかし、自信はないのになぜこういうことをやるようになったのか?とよく聞かれる。そこではいつも、「自分の両親

杉並区 平山哲雄(20才)

「男の子育てを考える会」の若手会員として日々劇修行!?に励んでいるが「学生で子供もないのになぜこういうことをやるようになったのか?」とよく聞かれる。そこではいつも、「自分の両親

気分はラブコール (28)

福島瑞穂



娘は全く言うことをきかないという所も今の教育熱心な親と、宙吹けど踊らない、子どもの風刺のようでおもしろい。いろいろな意味で時代をうんと先取りしている。サファイアがあんまり悩んだりしないところが良い。ところで、宮崎駿さんは、手塚治虫さんが死亡した時に、唯一手塚さんをほめそやさなかつた人である。手塚さんは死ぬずっと前から既に死んでいた。みたいなことを言っていたので驚いた。

最近、「リボンの騎士」全巻を見た。これは、レーザードイスで十数枚組になつていて、全部で五話あるものである。色がきれいだし、音楽は富田勲アニメの声優の音が甘つたらしいことを除けば、全く古くない、ステキなアニメである。私は、少女マンガではなく少年マンガで育つた。手塚治虫のマンガはどれも好きだった。手塚治虫さんは、自伝的なマンガなどで、若い頃、姉御肌の強い女の人とき合っていたので、マンガにそういう人が出てきてしまつたことを語っていた。また、「リボンの騎士」がその典型だと思つたが、関西出身の彼には、宝塚歌劇の影響がある。

彼のマンガの女性たちは、色気がないと他のマンガ家たちから言われているが、胸がパンと出てウエストがぎゅとしまつて、まことに結構だと思つた。「リボンの騎士」のサファイアにしたつて、素顔は、いたずら好きのおつちよこちよいで、楽しい明るい子で、「色気」なんてないものね。もちろん勇敢に戦つたりするけれど、生地はフツの子だ。手塚治虫のマンガの女性とかもつと女性たちから評価を受けていいと思うが。サファイアは、チンクという天使のいたずらによって、生まれる前に女の心と男の心の二つを飲み込んでしまつた。チンクは男の心を取り戻しに下界へ行くよう命じられる。ところが、サファイアは、シルバランドの王女に生まれ、その国では、男しか王位継承権がないため日本みたい、男の子として育てられていたのである。剣が上手で、男の子の子であることを隠さないとけないという設定。何とかそれを暴露しようとするジェラルミン大公やナイロンとの頭を使つた対決など毎回おもしろい。サファイアは、チンクに、「わたしは女の子だが、この国の中で戦うには、男の心も必要だ」ときつぱり言う。そこで、チンクは、すぐ男の心を取り出すことをやめるのである。「両性具有的な人間」というのは、今、最もトレンドイーンな

だと思つたが、サファイアは、生まれながらに、二つの心があつて、強くてやさしいのだから、本当に、今の人間というか、植木等さんの「無責任男」ではないけれど、現代に復活してもいいと思う。こんなに強くてカッコイイ女の子を描いていたのだもの。アニメの最後の方で、別の国の王子のフランツ王子と恋に落ち、また、男の心が天に召され、すっかり女の子らしくなり、結婚式をあげるのだけはつまらないけれどね。まあ、これは、手塚治虫さんが読者と妥協をはかつたのかしら。あのままりりいまま、結婚したらおもしろかつたのになあ。フランツと剣で勝負をして、負かつたりしたら、これまたおもしろかつたのになあ。ただ、ナウシカについての次のような声もあるので紹介しておこう。♀ ナウシカの体形が不自然なんだよね。色っぽいよ。胸がでていて、ウエストがくびれていてね。あれは、男の子のアニメ

娘は全く言うことをきかないという所も今の教育熱心な親と、宙吹けど踊らない、子どもの風刺のようでおもしろい。いろいろな意味で時代をうんと先取りしている。サファイアがあんまり悩んだりしないところが良い。ところで、宮崎駿さんは、手塚治虫さんが死亡した時に、唯一手塚さんをほめそやさなかつた人である。手塚さんは死ぬずっと前から既に死んでいた。みたいなことを言っていたので驚いた。しかし、今回、手塚さんのアニメを見ていて、むしろ宮崎さんの手塚さんからの影響を感じた。この二人ある意味で似ているよ。宮崎さんの、近親憎悪じゃないかしら。ところで、宮崎さんのアニメのヒロインの変遷というのもおもしろい。はじめは、「長靴をはいた猫」のローラ姫だつたり、「ルパン三世カリオカストロの城」のクラリスで、じつと待っていて助けられるお姫さまだものね。「風の谷のナウシカ」は、風の谷を救う救世主だが、一昔前だつたら、これは男の子がやった役だつたらう。ただ、ナウシカについての次のような声もあるので紹介しておこう。♀ ナウシカの体形が不自然なんだよね。色っぽいよ。胸がでていて、ウエストがくびれていてね。あれは、男の子のアニメ



アンを獲得するためなんだよ。♀ でもあれこそスカートヒラスパッツをはいているけれど。ヒラヒラしない。♀ 「紅の豚」のヒロインは、結局お尻の線とかがはつきり見えたり、上着が空をぶとぶとにヒラツとなつたりするだろう。♀ 「天空の城ラピュタ」もはじ救世主というの嫌だなあ。わたくしは、フツの女の子という意味で「魔法の宅急便」性が主人公になるといいね。をおすわ。

老い方いろいろ

(23) 川崎弘子

岸田和代(72才) 仮名は、大阪の生まれ。町工場で15才から55才まで働いて、その後は病院付き添い婦さんをして暮らしてきた。夫は、和代さんが40才の時に亡くなり男の子と女の子2人を育てた。横浜に来たのは、付き添い先の病院で倒れ、脳梗塞との診断を受け6ヶ月のリハビリの後、長女を頼つたことだつた。長女は夫と二人で旅行代理店を営み、3DKのマンションに高校生と娘と3人暮らし。私が和代さんの長女と始めて会つた時、開口一番に言われたのが「うちが狭いんですよ。母をひきとりたくても無理なんです」ということだつた。

磯子区の古い町の木造アパートの二階にやつと空き部屋を見つけて、和代さんの退院にまに合わせたという。本当は、階段のない一階が毎日の暮らしや、安全のためには、ベストなんだけれど、老人にアパートはなかなか貸してもらえないし、貸してもらえても家賃がすごく高い。私には、人の世話は好きだから、ちつとも苦にならなかつた。オムツ交換なんかも看護婦さんに教えてもらつてね。うまくなつたところだつたのに、自分が病気になるまで残念だつた。ねえ。本当は、ヘルパーさんに来てもらうんじゃないかと、ヘルパーさんに行きたかつたんだ。

「引越して来たばかりで大丈夫ですか? 私達もお手伝いしますよ。」と私が声をかけると、「一日じつとしててもねえ、仕事しているわけじゃないしね。仕事してる時は、朝5時に起きてお弁当作つて夜10時まで働いていたものね。そりゃあ、病院での付き添いの仕事は、きつかつたけど、私の世話は好きだから、ちつとも苦にならなかつた。オムツ交換なんかも看護婦さんに教えてもらつてね。うまくなつたところだつたのに、自分が病気になるまで残念だつた。ねえ。本当は、ヘルパーさんに来てもらうんじゃないかと、ヘルパーさんに行きたかつたんだ。

共働きは意外と専業主婦の状況に疎い。平日、昼間の公園は子連れママの解放区かと思いきや、どっこいそこは孤独地獄なのだ。といった話も出てくる。彼女たちの「男の育児」に対するアンビバレンツな感情も吐露されている。「女が惚れる男のジャンル」と、育児のパートナーとして求める男のジャンルは矛盾」というのだ。例の、育時連で話題になった「育児する男はセクシーじゃない」という話とも、これは重なる。面白い本だが、男と育児の関係の描写がやや平板なのが難点かも。(M)

BOOK 紹介

橋由子著「子どもに手を上げたくるとき」学陽書房刊/千四百円

偶然だが、本紙の「今月のスペシャル」でも、昨年似たようなテーマを企画した。あの時は特に、自分の暴力に自己嫌悪している父親の話が印象的だつた。一方、この本の著者は専業主婦だ。自分の衣類を整理しながら、手を止めずに私たちに笑いかけている。病気になるまで、彼女は長い事働いて身につけてきたの女性分なものがよく動く。「お医者さんが、リハビリもあまりがらばらないで下さいって言われるんです。私が注意しても聞かないんです。ヘルパーさんからも言つて下さいな。」と、緊張がほくほくと長女がヘルパーさんに声をかける。何故彼女が緊張していたかという、私がヘルパーさんと訪問する時に同席してほしいと言つた、仕事が忙しくて無理だ本人とだけ会つてくれればという。本人とだけ会つてくれればという。料理を作るのは難しいのだけれど、ご飯の作り、みそ汁はついても、人間関係も生活もいくつになつても環境が変わつても、前向きに楽しく生きていけるんだなあとつくづく和代さんと会つて実感できた。幸せて、どんな事にも感じる能力がないと味わえないのかもしれない。彼女は、あんまり淋しくないという。毎日けつこ趣味や家事で日は過ぎるという。暖かくなつたらもう少し遠くまで歩いて桜をみるんですよ。ヘルパーさんといつしよに弁当もつて電話口で楽しそうな声を聞いて嬉しかった。春は、いつもワクワクするね。

自分の衣類を整理しながら、手を止めずに私たちに笑いかけている。病気になるまで、彼女は長い事働いて身につけてきたの女性分なものがよく動く。「お医者さんが、リハビリもあまりがらばらないで下さいって言われるんです。私が注意しても聞かないんです。ヘルパーさんからも言つて下さいな。」と、緊張がほくほくと長女がヘルパーさんに声をかける。何故彼女が緊張していたかという、私がヘルパーさんと訪問する時に同席してほしいと言つた、仕事が忙しくて無理だ本人とだけ会つてくれればという。本人とだけ会つてくれればという。料理を作るのは難しいのだけれど、ご飯の作り、みそ汁はついても、人間関係も生活もいくつになつても環境が変わつても、前向きに楽しく生きていけるんだなあとつくづく和代さんと会つて実感できた。幸せて、どんな事にも感じる能力がないと味わえないのかもしれない。彼女は、あんまり淋しくないという。毎日けつこ趣味や家事で日は過ぎるという。暖かくなつたらもう少し遠くまで歩いて桜をみるんですよ。ヘルパーさんといつしよに弁当もつて電話口で楽しそうな声を聞いて嬉しかった。春は、いつもワクワクするね。

センセは 教室で カルタを踊り



原田 瑠美子

「偏差値」より
「心の豊かさ」を

お金より、大事なものは

「昨年、中学三年で二件の盗難がありました。こういう問題が起きないよう、先生方のご指導をしっかりとお願いしたい。」

職員朝会で教頭からこんな話を聞いた日は、気分が重くなる。私のクラス（高校二年）でも、半年ほど前に何件かの盗難事件が続いた。どのクラスでも、貴重品を預けたり、体育の授業などで教室をあける時は鍵をかけるなどの対策を立てているが、そのすき間をいかくくって、盗難事件が起るのだ。

自分のクラスで盗難事件が起きた時、犯人は外部だと考えるのが多い。何か買いたい物がある、友人から金を盗む生徒がいる、と、友人から金を盗む生徒がいるのだ。

「盗まれないように、各自がきちんと管理しない」という指導では、盗まれた生徒の方が不注意だったということになってしまいます。友人から平然と金を盗む生徒がいるということ、それはその生徒個人の問題であると同時に、クラスの仲間の問題でもある。

私のクラスでは、H・Rで話しかけた。まず、サイフを盗まれたミカちゃんに怒りをぶつけた。「あの日は、学校の帰りに買物をしようと思って、いつもよりたくさんお金を入れた。今でもサイフを机の上に置いておいても、誰かが見てくれたし、まさかうちのクラスに盗む人なんていないと思って、安心してました。もちろん、私の不注意も

あるけれど、裏切られたという思いがして、とても苦しい。それに、あのサイフは父が海外旅行のおみやげで買って来てくれた思い出のもの。お金は戻って来なくてもいいけど、サイフだけは返して。」

H・R討議の後、サイフが戻って来ることを期待したが、戻って来なかった。だが、その後私のクラスでは盗難事件は起きていない。

「経済大国だが心が貧しい。」

「二三年前、私立中学ブームにあやかり、本校でも中学の志願者が急増。三年前から、中学のクラス数を増やした。現在の中

学三年生はその初年に当り、それまでより「偏差値」の高い生徒が入学して来た。授業が進めやすくなったという教師の声が多く、各教科の平均点も高くなっている。

だが、以前のようなんびりとした温い雰囲気が失われてきている感じがしてならない。前述したような盗難事件の他に、今までなかったような事象が起きている。例えば、クツが隠されたり、ロッカー内の荷物がばらまかれたり、L教室の機器や消火器がいたずらされたり……生徒の心がどこかすさんでいることを思わせる行動である。

「仮にうちのクラスに犯人がいたとしても、名乗り出るはずがないよ。だって犯人だとわかれば学校に処分されるでしょ。」

「名乗り出る勇気がなかったらわからないようにして、サイフを戻すことだって出来ると思う。」

マネージャー日記

(16)百軒まわって仕事1



鎌田千賀子

前回書いたドラマの撮影も終わり、演出家の彼にも会えなくなつて、さぞ寂しく暇になるだろうと思いきや、そうもいかないようになってしまった。

一月末日、突然上司からあと2人めんどみてくれ、と言われアツという間に私は3人のタレントの担当になった。

芸人関係とはいえ会社組織なわけで、上からの一言で担当が増えたり減ったりするのは当たり前。回りにそういう人がちょ

ブツから 世界をみれば



福岡 久屋考夫

小二の娘が一期期スカート姿にこだわった。「ほっちゃん」と呼ばれ、アイデンティティの危機に見舞われるからだという。

「おれなんかPTAでは珍敷扱いだよ。『白昼こん所会議室にパンダがいる。どうしてえ、てなもんだ。それにくらべりやおまえは人間だからいいよ。やたらに男だ、女だ、と区別しな

するかしなないか選ぶだけで良かったのが今度はそのいいかない。仕事も電話だけで決めていられたので人脈をつなごうなんて思

「100軒回って一つ仕事とってこればいい、そういう気持ちで局や制作会社に足を運ぶこと。歩いて歩いて歩きまくれ。」

上司からこう言われたものやみくもに知り合いいないところへ行つたつてしょうがないんじゃない、と思いきや、そうもいかない。コネで仕事はそこそこもらって

い方がいいね」と慰めにならな

「おれなんかPTAでは珍敷扱いだよ。『白昼こん所会議室にパンダがいる。どうしてえ、てなもんだ。それにくらべりやおまえは人間だからいいよ。やたらに男だ、女だ、と区別しな

「おれなんかPTAでは珍敷扱いだよ。『白昼こん所会議室にパンダがいる。どうしてえ、てなもんだ。それにくらべりやおまえは人間だからいいよ。やたらに男だ、女だ、と区別しな

「おれなんかPTAでは珍敷扱いだよ。『白昼こん所会議室にパンダがいる。どうしてえ、てなもんだ。それにくらべりやおまえは人間だからいいよ。やたらに男だ、女だ、と区別しな

「おれなんかPTAでは珍敷扱いだよ。『白昼こん所会議室にパンダがいる。どうしてえ、てなもんだ。それにくらべりやおまえは人間だからいいよ。やたらに男だ、女だ、と区別しな

「おれなんかPTAでは珍敷扱いだよ。『白昼こん所会議室にパンダがいる。どうしてえ、てなもんだ。それにくらべりやおまえは人間だからいいよ。やたらに男だ、女だ、と区別しな

あの橋をわたるとき

(27) 向井承子



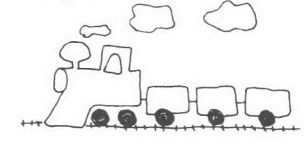
「あなたって、おばあちゃんにならなかつたら、きつと心にぽっかり穴が開くわよ」

つい最近、友人に言われたことである。ともかくにも、これこれ三十年も親の介護をしていて、大ききでなく、喜びも悲しみも介護を通して感じるような人格になつてのを見抜いての感想である。

二十四時間の介護人生なんてできることじゃないわ、政府はなに考えているのよ、と怒りまくる私も、やっぱり人間のくらしって老若男女がミックスしないと変なねえ、などと感入るなど、すべての感性が、長年の老人との共同生活から生まれたのは間違いない。

まあ、老人とくらし得た最高の収穫は、老人の思いは老人にしか判らないのだ、と悟ったことだろうか。たとえば昔、春期の盛りには親を殺したいほど憎んで、生の感情を激しくぶ

ひとと通信



反面教師の反対語は何だろうか？ たぶん、正面教師とでもいうのだろうか。なぜなら、教師はほとんど、自分は正しい人間で、生徒に対して正しいことしかせず、間違つたことなどいったり、したりするはずがない、とかたく信じこんでいるからで

害を持つ友たちが偉大に見えてくるのもこのころである。よく生きていられるなあ、がんばるってつらいだろうなあ。障害者の気持ちに判るなんていつちやいけないなあ、としみじみ思うのである。

これが反面教師の語源となつたのではないだろうか。やはりここでも生徒に対して「良くしようとするのはやめたほうがよい」があたりはまり、教師の合言葉「学力を伸ばしてやろう」とか「立派な人間にしてやろう」などの妄想は即刻断絶した方がいいかもしれない。

高年齢者福祉の仕事に替って一年半になります。「若い方いろいろ」がとても参考になります。今、福祉で働いている人たちは過重労働なんだと実感しています。残業してやっとな追いつける仕事量だからです。これも地方の首長にとって、高齢者への福祉が一番の票取りに結びつくからでしょう。(所沢 純子)

「はらけ前まで、電車の中を見回すと、女3人に一人の割合くらいでルイウィトンを抱えていることがあった。パブルがはじけた今、世論調査では「ブランドはグサイ」と言われるまで、この二つのブランドは、似ている面もあり、違う面もある。中身に自信がないので、という面もある。丸山友岐子さんのように、経歴詐称して見

ま、それはさておいて、のび切ったゴムみたいに疲れてい

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

ザギング・オブ・カエル

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

「ひまにしておりますとおてんとう様に申しわけありませんからね。できることは致しませんと。ところで、このたびサツキ会というお掃除の会をつくったのですが、あなた様もいかがですか？」

伝言板

編集後記

男の子育てを考える例会

シンボ「食卓からアジアを観る」

4月号 (No.234)

1993年4月10日 (毎月10日発行)
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)
〒165 電話(03)3385-2293
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、いる人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

今日のスピーチ

自分を語る

小金井 影土優(29)

たとえば、明治のヨグルトの空ビン、ご存知ですか。運動のアイウエオはサ業からということがあまり、なかでもビラや通信の折り目づけ作業に欠かせないのが、この明治のヨグルト。形状・指のフィット感・紙をいためぬめなら丸底、ひいては机上右手50前方15cmにたたく姿勢の愛らしさといふことが、過剰な使用度にも過激な文面にも耐えうるガラス細工の傑作なのです。これは、元号「明治」の社名の下、苦汁の日々送る労働者のささやかなして大なる愛と抗いの精神、全国の同志へのエールと受けとれんでなんとしましょう。

清瀬市 馬男木可彦

一九八九年二月に、すみれ堂書店を閉店しました。妻の病気の半々の入院で、自分自身も疲労の極に達してしまいました。思いきってすべての仕事をやめました。生活を一新したことで、妻の病気が二年ほどで完治し、日常生活にはまったく支障がない状態になりました。「毎日が日曜日」も期間が長くなるで退屈するもので、昨年の夏は内田選挙や広島、長崎の市民集会に参加していました。旧店舗を取り壊して、マンシヨン建設を進めていました。一階がようやく完成しました。一階が店舗部分で、四店舗入りです。そのうちの一店舗で、また新たにすみれ堂書店を営業します。四月六日に開店予定です。場所は、西武池袋線秋津駅の近くです。読者の方で、近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

甲府市 大木真理子

生を受けて34年の約半分の間、差別に慣れ三里塚に心を寄せた。様々な運動にかかわってきた。もりがたが、内気で口べたな性格を変えられず、おまけに2児の妊娠出産にうつつをぬかした。活動歴のわりには中心人物になれず、枯木も山の匂い、で「お茶を濁している」。

東村山市 出口真紀子(26歳)

4歳から大学を卒業するまで始とアメリカで育ったわゆる帰国子女。環境は人を作る。と言いますが、アメリカに行ってなければ自分自身はひよとして自信のない人間に育つてたんじゃないかとふと思うことがある。「個性」が美德とされるアメリカでは、「日本人」であることが「個性」であり、私は常に自分を肯定して生きてきた。自分は誰なのか、自分の魅力は何なのかを常に意識し、肯定的に捉えることについて、さきほどお話ししました。

「交流」の読者になってまだ二年とは浅いが、育時連のますのさんの名前は、「市民の学校」というグルーブの活動を通じて以前から聞いていました。見合い結婚をして宮城県から神奈川へと移って来た私は、不本意ながら性別役割分業で15年近く暮らしてきた、典型的な専業主婦です。これといって資格は無し。次々と四人の子もが生まれては、働かず裕福な生活が現状ではありますが。少産傾向の現代にあつて4人の手持ちというのはめずらしいのでしうね。余程子どもが好きなのだろうとか、女の子が欲しかったのだからとか想像されるけれどももう子どもなんていらぬといふいつ、4人もできてしまっただけのこと。

札幌市 餅田裕子(45才)

十五年程前からずつと休業。加療中の会社員。難治性の職業病で労災保険の雇主からの補償が飯の種。

この間開夜の世界を白杖を振り廻して歩くくつきつよな男と世帯を持つて子に設けた。ハオとオオになる男児。ハナッから女児を望んだのにこればかりはもう行くか今更ながら男児の育ちは面白くないとわめて困りのヒンシュクを買う。

仙台市 日塔光博(39才)

東京を脱出し、仙台に移って三年。一年中()ウグイスの目を覚まし、山形の田舎育ちの私でさき初めの「ヒトンボ」とか、青白い巨大な蛾のオオミズアオなどのご対面に、子供たちもキヤッキヤッと大騒ぎ。魚はとにかくうまい、山菜も裏山で採れる。身も心も人間を取り戻せた気分です。

いわき市 大河原昌夫

0号からの読者で最初は誰にももらった記憶はありません。二十年前のミニコミが徐々に消えてゆく中で、「交流」と「女の返逆」をすつと読み続け、大きな部数を誇らない媒体の大切さを教わったと思います。ここでしか聞けない意見、感慨がこれからも発表されることを期待しています。

若い頃に生き急いだせいか、ゆつくり休みを取らないと身体が保ちません。おそらく、全共同世代の宿命なのでしょう。

栗野市 山田好子(42才)

「交流」の読者になってまだ二年とは浅いが、育時連のますのさんの名前は、「市民の学校」というグルーブの活動を通じて以前から聞いていました。見合い結婚をして宮城県から神奈川へと移って来た私は、不本意ながら性別役割分業で15年近く暮らしてきた、典型的な専業主婦です。これといって資格は無し。次々と四人の子もが生まれては、働かず裕福な生活が現状ではありますが。少産傾向の現代にあつて4人の手持ちというのはめずらしいのでしうね。余程子どもが好きなのだろうとか、女の子が欲しかったのだからとか想像されるけれどももう子どもなんていらぬといふいつ、4人もできてしまっただけのこと。

荒川区 渡辺一衛(67)

「交流」は最初からの読者です。私も定時制高校の教師をすつとしていたのです。佐々木賢さんの文章など面白く読ませてもらっていました。女房が看護婦で訪問看護をすつとやっていた

なりとも夫婦で縦の関係は作らない。そんなこんなで私としては物想う年頃からひかひかり続けている。「性差別」にまつわる異議申立てに乏しいエネルギーを費やして行きたいのに、何やかやと神経を逆なでしてくるお役所との対峙に明け暮れる感なきにしも、の今日この頃です。

講演会「就学時健康診断について」

(講師 山田真さん)
日時 4月10日(土)2時半~5時
会場 中野区民会議室2F
主催 中野区民会議室(公)
夜間 山本33381/5735
昼間 相川33389/0710
◎第2回育時連全国会
日時 5月22日(土)2時~23日(日)正午
場所 名古屋学生センター
費用 1万円(泊/食)、交通費は各自負担
問合せ 042424/66/46
12(育時連)



気分はラブコール (29)

福島 瑞穂



「ダイアナ妃の真実」という本は奇妙な本だった。この本を読んだら、私は、ダイアナ妃はマスコミのブライバシー被害の犠牲者だと思っていたが、この本を読んで少し考えが変わった。この本には、ダイアナ妃の子どもの時、一〇代の頃の写真、家族の写真などブライバシー被害が一杯載っていた。友だちがうつして、それを記者に渡したといったものではない。祖母との写真、一人でバレーの練習をしている生き生きとした写真など本人しか持っていないような写真も多い。

この本は、彼女の多大な協力なしには生まれなかったものである。

彼女は、彼女のためにこの本を作らせたのか。あるいは、なぜこの本を作ることに許可を与えたのか。一体彼女は本当のところ何を望んでいるのか。そういう気持ちでニュースを追っていた。愛情のある生活、チャールズを取り戻したいのか、それとも滅茶苦茶にしてやりたい衝動か、復讐か、それとも本人にもどうしたいのかよくわからないのか（電話での愛の会話を録音したと言われるテープが出てきたときはそう思った）、それとも周到な計画があるのか……。

今はある程度結論が出たようだ。

彼女は、何年前か、愛情のない生活に嫌気がさして、別居をしようとした。別居をしたらエリザベス女王の怒りに触れ、うまく別居できなかったと言われている。だからなぜ自分は別居しようと思っただけで、あきらめず、情を自分を集め、あきらめず、頭がよい。

何人かにダイアナ妃のことをどう思うか聞いてみた。

♀彼女が韓国に国のお客さんとして招かれたときに、ふてくされていたのは良くないと思つたわ。私的なレベルでは嫌なこと一杯あるかもしれない。でもそれを他人の前で招かれた前で見せて、本当につまらなそうな顔をしているのでもない。

♀彼女の気持ちは良くわかるわ。でもあんな所へ結婚しに行ったんだから、「自業自得」って面もあるんじゃないか。公的生活があまりに大きすぎるし、ごく普通に結婚生活を送るって無理よ。結婚する前にそれぐらいのことわからなかったのかしら。

♀彼女は結婚するときも若かったし、そんなことわからなかったんじゃない。

わたしは、彼女が、誰かに何かを食わせるんじゃないかと結婚前にやっていた「乳母」でも「保母」でも何でも自分自身でやればと思うよ。

♂ボクは、チャールズがかわいそうだと思うよ。ずいぶん下でなにかのいい子づらいにしっか思っていないから、しっかり反撃してきたんだから。チャールズの甘さと誤算なんじゃないの。

私は思うけれど、公的な場でのダイアナ妃のふてくされたり、つまらなそうな態度というのは「不仲説」を印象づけ、世論をバックに別居を勝ち取る手段ともいえるし、そもそもあまりに正直な人なために、仲の良い態度がとれなかったのかもしれない。

チャールズは結婚前は、「チャールズ・エンジェル」とアメリカのテレビ番組をもじった女性たちがいたり、そもそも

「十年後21世紀編」は、「なるほど」と思わせる部分と、「？」という部分が多かったおかしな本だ。日本の女でイタラム系の男とペアになる人が増える、という予測は、現実にもある程度進行しているから納得できるが、日本の男とロシアの女とのペアが増える、というのは首を傾げる。

大企業は活力が衰え、中小企業が元気になる、と言っている。実際の製造工程は中小企業に下請けさせているわけだから、中小企業に実力がつくのは当然だろうし、長年におたって採用してきた高い偏差値の学歴者は、先月号にも書いたように、既に用意されている解答を発見するのは得意でも、冒険心とか遊び心に欠ける傾向があり、どうしても保守化するの回避がたい。

する基地になる、というのは、まあ、予測というよりは、願望と見た方がいいかも……

話は変わるが、毎日新聞に「広がり人脈、日本新党」という記事が載っていた、それによると、「日本新政策研究センター」がシンクタンクになっているという。どんな人物が名を連ねているかという点、香山健一、渡部昇一、和党が躍進して10議席を獲得し

はどの程度のものなのだろうか？

今、日本新党の人気は急上昇中だ。という。「AERA」のレポートを読むと、かつて「新自由クラブ」を支持した層が、そっくり日本新党の支持層になっているようだ。

そういえば、ドイツのフランクフルト市議会では、極右の共産党が躍進して10議席を獲得し

がダントツなのにならぬ、日本は「運」だ。日本の若者って、海外よりもクルルに世の中見ているんじゃないだろうか？

他の「努力」「才能」といった常識的な回答はどの国も同じように高いのだが、上記の3要素はハッキリ違う数字が出てくる。ところが面白い。「運」は日本51%に対しUSA6.5%、「学歴」はUSA54%に対し日本12%、「身分・家柄」はフランス33%、USA12%、日本33%。あらためて、ヨーロッパというのは階級制が定着している社会なんだ、と気づかされる。(小数点以下の数字は一部省略してあります。出所は、大蔵省発行の「統計計もやま話の本」から「産経」が引用したものをさらにスクラップしたもので、なぜか東芝広報課が、毎月このスクラップ情報誌を送って来て、ぼくは結構重宝している)

竹村健一など、ぼくなんか見ただけでオエーッと吐き気をもよおすような人達。70年闘争弾圧の名を馳せた佐々淳行の名も見える。男ばかり16人並んでいて、女は一人もいない。このご時世に相当マッチョなシンクタンクのように、三井マリ子さんは日本新党と社民連の推薦を要請している。報道されているが、推薦におけるギブとテイクの関係は身分、家柄、USAは学歴

私たちが子供の頃、いっしょに遊んだ記憶はほとんどない。孫も、ほとんど遊ばない。そしてなつかないと思えている。困ったものだ。別におじいさん役割をしてほしいわけじゃないけど、孫と2人でスネラれてもねえ。お互い、相性もあるしね。

彼は、まだ61才なのだ。体は肥満気味ののだが、とっても丈夫だから老後は長いと思われる。家事は、ひととおり出来るのだが、自分の役割だと自立とかそんなのは、全然思っていないみたい。

洗濯は好きだから毎日するんだけど、やり方やとりこむ時間、しよっちゅう母ともめてい

若い頃からめんどりの多い夫婦だったけど、これはどっちかが死ぬまで続くそう。

父をみてると、ぐんと老けた。趣味があつても、家事ができて、もそれだけじゃどうもダメみたい。人とのつながりはすごく大切

古い方いろいろ

(24) 川崎弘子

実は今、私は妊娠10ヶ月目。つまり出産体制に入っていて、九州の実家に上の子を連れて帰省中なのです。

4月号の交流が出る頃には、2人目の子供が誕生しているかもしれません。

九州という暖かいイメージがあるかもしれませんが、私の田舎は、盆地で冬も雪が降るし、冬は寒いので、3月も雪が降る。

美智子皇后は、若い時、いびられていたと、侍従などの話によると庭の木のかけで泣いていたなどという話をウワサ話として聞くことがある。ダイアナの方が明るくて、実力行使をしていいな。マドンナとダイアナの破壊衝動に乾杯である。

2回も降りました。故郷を離れて14年。すっかりよその人になって寒さが身にしみます。

前月号が、祖母の話だったので、今回は久しぶりについて、父の話です。

父の父の父は、以前に交流に書いた事もあるのですが、市役所に40年勤務し、その間25年近く組合運動にあけくれ、58歳で退職。3年間の社会福祉協会の勤務を終え、現在は年金生活。母と弟と3人暮らし。

川釣りと、土地をかりての家庭菜園と趣味の生活をエンジョイしているように思えたのですが、田舎へ来てみると、それがそうでもないみたい。

季節がまだ春とはいえず寒い。別のTVを見に行く。

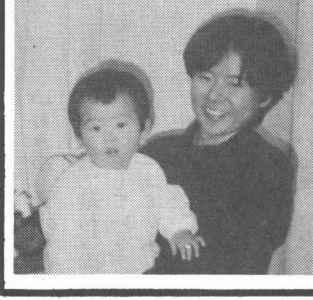
私たちが子供の頃、いっしょに遊んだ記憶はほとんどない。孫も、ほとんど遊ばない。そしてなつかないと思えている。困ったものだ。別におじいさん役割をしてほしいわけじゃないけど、孫と2人でスネラれてもねえ。お互い、相性もあるしね。

彼は、まだ61才なのだ。体は肥満気味ののだが、とっても丈夫だから老後は長いと思われる。家事は、ひととおり出来るのだが、自分の役割だと自立とかそんなのは、全然思っていないみたい。

洗濯は好きだから毎日するんだけど、やり方やとりこむ時間、しよっちゅう母ともめてい

若い頃からめんどりの多い夫婦だったけど、これはどっちかが死ぬまで続くそう。

父をみてると、ぐんと老けた。趣味があつても、家事ができて、もそれだけじゃどうもダメみたい。人とのつながりはすごく大切



母を病院にあずけておよそ2か月。改めて、身も心もび切ったゴムみたいだった、と思う。このごろである。ほっと休むまもない日々は、人の心からやさしさを吸い取ってしまう。

だれもない部屋で、ゆったりとコーヒーを口に含む昼下りの幸せ。でも、神様はせめてそのそんな時間をも奪いとってしまふのか。親戚から電話がとびこんできた。

「知ってる？ おばあさんが入院している病院で、患者同士の殺人事件があったってテレビでやってたよ」

「ええっ！」

慌てて夕刊を開くと、老人病院で殺人、との見出し。ベッドをさしませるのうらさいついて、隣の患者を果物ナイフで刺し殺したと書かれている。

「看護婦さん、かわいそう」

老母を案ずるよりも先に口についてしまったことばに、身内のものは明らかに不快感を示した。かわいそうなのは、そんな病院に入れられたおばあさんじやないか。そう言われれば家族としては、その方が当為で、私には家族への情なるものが欠落しているのかな、と一瞬考えこんでしまった。

なにしろ、長い旅路だったのである。ようやく、あたたかく受けとめてくれて、看護婦さんや介護職さんの懸命な姿を目の当たりにしたばかりの施設で、そんな事件が起きるとは……。

訪問看護、訪問診療、訪問リハビリ、デイケアセンター……。

地域に開かれた医療にするための建物もようやく完成、と手紙をもらったのは前日だった。

しかも、老人といつてもいろいろあるのだが、そこには国の老人病院の最高基準をさらに上まわるほどの人手が配置されていたのである。それでも事故を防げなかった。ということは、いまの病院システム下ではいつでもどこでも事故は起きて当然ということの証明のようなものではないか。

確かに、一室に、八人もがため込まれているのでは、アメニティにはほど遠い。でも、患者

あの橋をわたるとき

(28)最終回 向井承子



自己負担分(保険外の)が月に10万円ほどというのは、いまの東京の常識では極安なのである。付添い婦もない。いわゆるお世話料というものもない。そして極力、患者の自由を保障しようとする姿勢に見えた。「安全」だけを徹底しようとすれば薬で眠らせて縛りつけておくのが一番いい。

縛り、点滴漬けというのが老人病院の代名詞になってしまっていたが、そんな光景はない。だが、現実はずきばしい。だからこそ、事故は起きたのである。母も小さなハサミを許されて

いる。紙やヒモを切ったり、結んだりするのその人の趣味のうちと認めてくれた。ただでも狭い室内なのに、母のまわりにはポータブルトイレにクルマの椅子が並べられ、母は自立への「お稽古」(彼女はハビリティということがばからいだ)に懸命である。

しかし、大声を出し続けるおばあさんがひとりいて、母は、そのために眠れないと不満を持っている。もしも、母が理性を失うタイプだとしたら、起き上がると体力があったら、小さな紙きりハサミが凶器と化さないと変化を示した時期にあたっていったのである。どうして? と不思議になるほど、おとしりやが生きにくくなった。頭にきた私は資料をあさりまくった。そのあげくに判ったことである。

いま、世界中の先進国で、医療費の高騰が悩みの種となっているらしい。金のかかる高度医療技術の登場も大きく影響しているのだが、この国では、とり早く数字として処理しやすいうことで慢性疾患の増加と老人人口の急増というふたつの条件が財政的なターゲットになってしまったのである。どちらも回復の見通しがなく長々の医療を必要とする。燃費の悪い廃車寸前のクルマに修理費をかけたも無駄、という趣旨である。

老人医療費抑制政策は、なんと診療報酬点数の操作や行政達という、「見えない制度」で進められてきたのだから、それも国民とのコンセンサスなんてないままに、医師会だけを相手

の結果なのだから私たちが突然退院をすすめるれられたり往診を断られたりしてびくつきするものも当然である。

「制度」なんかきらい、という人たちが少なくない。でも、好ききらいの問題ではなく、私たちの現実には制度にがんじがらめなのである。制度というお化けが「見えない鎖」となっている。これを縛りあげて。立法府も通過しないで国民の評価を浴びる機会もないままの「見えない制度」である。

いま、母が入っている介護力強化病院もそのひとつである。症状には関係なしに老人ひとりあたりの医療費が支給される仕組みである。看護も介護も投薬も検査も、なにかも一括料金に「マルメ」と呼ばれる。俗に「マルメ」と呼ばれる。人間を対象のこんな失礼な言いは、行政や医療関係者以外には知らない。この乱診抑制、点滴漬けといった乱診乱療が報じられていた当分の出高来高払いの弊害は、ここで一挙に反対の極に達してしまった。

なにより、老人ということばは、制度上、人権を抑えるため

ペチャッコになってしまふ。焼く時間も、六分位となつて一日に一四〇ヶも注ぐのですから、たいしたものですね。

一方のベストリーのオープンというのは、クロワッサンなどのバターを折り込んだパンを焼く仕事で、天板という鉄の板にクロワッサンなら二ヶをのせ、ホイロという高温高湿の部屋でイースト菌を発酵させたパンを二〇〇度のオープンで焼くわけです。オープンが四角のオーブンで、一段に天板が四

ペチャッコになってしまふ。焼く時間も、六分位となつて一日に一四〇ヶも注ぐのですから、たいしたものですね。

一方のベストリーのオープンというのは、クロワッサンなどのバターを折り込んだパンを焼く仕事で、天板という鉄の板にクロワッサンなら二ヶをのせ、ホイロという高温高湿の部屋でイースト菌を発酵させたパンを二〇〇度のオープンで焼くわけです。オープンが四角のオーブンで、一段に天板が四

ぼんぼん

H. WAKO 24



パン屋にならうと転職して早くも二年。新聞の折り込み広告を見て、パン工場に勤めているわけですが、現在やっている仕事は蒸しパンの製造とベストリーのオープンを一日交代でやっています。蒸しパンのほうはパンといつてもイースト菌の入らないものがほとんどなので、やや異質なパンです。粉をミキサーで混ぜて、粉つきという急須の親分みたいなもので紙のカップに注ぎ、蒸し器に入れ蒸

強化病院もそのひとつである。症状には関係なしに老人ひとりあたりの医療費が支給される仕組みである。看護も介護も投薬も検査も、なにかも一括料金に「マルメ」と呼ばれる。俗に「マルメ」と呼ばれる。人間を対象のこんな失礼な言いは、行政や医療関係者以外には知らない。この乱診抑制、点滴漬けといった乱診乱療が報じられていた当分の出高来高払いの弊害は、ここで一挙に反対の極に達してしまった。

なにより、老人ということばは、制度上、人権を抑えるため

どっぴい父子家庭 (5)

石井文夫

さて、困っている時に、保育所時代の仲間にあつて、いったい何を書こうかと相談すると、パン屋のことを書けというので今回はそれでいきます。

まあ、どちらの仕事も共通することは、ともかく暑い。真冬でも汗だくになり、夏など四〇度位になるので、パンツまで汗でグッショリになります。

パンというのは、イースト菌という生き物が入っている。その都度、発酵も焼く方もちがうので、パンの具合を見ながら焼かねばならない。

発酵が足りないと、ちっちゃくてボリュームがないパンになるし、発酵しすぎるとタラリと

売上げがパーになるようなこともさんざんやってきたわけですが、大量に作る工場なれば「シマッタ！」ですんでしまふのが助かります。(ナイショで捨てよう)

このように、ドタバタとやっているわけですが、まあ毎日パンをつくっている、自分で作ったパンがオキシソウに見えるようになってくるのが怖い。パンを焼く良い香りなどと言われるものの、オープンを開けると、カッと熱気と涙の出るような油気にウンサリしたりして。

しかし、三年目にしてますますパン作りの奥の深さを感じています。早く自分で、納得のいくパンを作りたいものだ。

話しかかかって、子供たちの暮した共同保育所も一〇年を経た、色々様変わりすること。共同保育を始めた時には、男も女も参加してということも男親も(つれ合いに責められながらも)日常的に入入りしていたが今では男の姿がサッパリと話を聞いた。「もつと男親の参加をさせて」と保母がハッパをかける。「家庭のプライベートにたち入らないで」と反論する女親もいるという。男も育児とたたえられた私は、おかげで立派に父子家庭をすることができているわけですが、育児もできない男のほうがかたとしてより支配しやすくしているのか、とまいった関係のない所で考えこんでしまふ私でありました。

せーせは 教室で カルメン踊り

原田瑠美子



(27)

良い授業って何だろう

対象的なS先生とY先生

私の担任クラスの数学の授業は二人の教師が受け持っている。S先生とY先生。この二人の教師は全く正反対と言っている。ど、持ち味が異なっている。

まず、S先生。彼は二十代後半で若くてエネルギッシュ。スポーツ万能、話し方も明快で授業はわかりやすい。

一方、Y先生。六十歳を越えたベテランだが、生彩に欠け、声が小さく、ボソボソとした話しぶり。授業はわかりにくい。当然のことながら、S先生の方が生徒から圧倒的に人気が高く、父母や同僚からの受も良い。

時間割が発表になった時、生徒たちは、「えー、なんでS先生が全部受け持ってくれないの。Y先生じゃ、力がつかないよ」と不満の声を上げた。

S先生は、私のクラスが理数系コースということもあって、気合の入った授業を展開し、生徒をぐんぐん引っぱってくれた。

ところがY先生の授業は、いつも学級日誌に「うるさい」と書かれる状態。私がそのことを生徒たちに注意すると「だって、Y先生は何を言っているかわからないから、聞いてたつて、聞かなくていいよ」というのであった。

実は私も東横学園の出身。高校時代にY先生の数学の授業を受けた体験がある。その時、私も今の生徒たちと同じ気持ちだった。そして担任に数学の教師を変えてほしいと嘆願した。だが私たちが生徒の願いは叶えられなかった。そこで、私たちはある授業のやり方を考えついた。それは生徒が順番に先生役

事情を聞いてみた。すると、Y先生がしょぼくれているので、励まそうとこんな質問をしたという。

「先生はいつも元気がない感じだけれど、どうしてなの？一番楽しい時はどんな時？」

Y先生は「生徒たちのこうした質問を嫌がらずに、自分の生いたちや家族についてボソリ、ボソリと話をしてくれたという。自分が長男だったために、大事に育てられすぎたので消極的な性格になってしまったということや、毎朝、犬の散歩をするのが一番の楽しみだということなど、私たちが聞いていたことのない話を話してくれたようだ。

「愛犬の話をした時、とっても嬉しそうだった。あんなニコニコしたY先生を見たのは初めて」

「Y先生は、昔風の『冬彦さん』だったんだ」「Y先生ってかわいらしいなって思った」

Y先生の人間性に触れ、生徒それぞれが感想をつぶやいた。こうしてやりとりをすると、生徒と教師の気持ちは通じ合っていくものだ。その後、学級日誌に「うるさい」と書かれることが少なくなった。むしろ、S先生よりもY先生の授業の方が良いという声さえ出してきた。その理由は、S先生はぐいぐい引っぱってくるけれど、自分がわからぬ所はどこか確認する余裕が持たない。Y先生だと、安心してわからぬ所を質問でき、納得しながら自分のペースで勉強することができるからだという。

ある日の学級日誌に「Y先生の犬の話がおもしろかった」と書かれていた。なぜ数学の授業で犬の話が出てくるのだろうかという話が出てくるのだろうかという話に不思議に思い、生徒たちに

「ホッ」とできる授業 私のこの助言が少なからず影響したのか、生徒とY先生との関わりに変化が見られるようになった。

「もつと大きな声で話して」「わからないからもう一度、説明して」

授業の進め方に対してこんな要望を出したり、Y先生の人柄を知ろうと、色々な質問をするようになった。



ようなもの。どれだけ生徒の眼を輝かせることができるかという思いで授業を進めてきたつもり。そういう授業ばかりだったら、生徒たちは疲れてしまいうる。Y先生のようにならないうる。Y先生のようにならないうる。Y先生のようにならないうる。

マネージャー日記

(17) ゴシップ



鎌田千賀子

3月から新しく担当になった23才の女の子への初めての電話は写真週刊紙からのものだった。「〇〇さんの家の駐車場から車で二人が出てくる写真をとりました。発売は一週間後です。」名前と用件だけを言うとその電話は切れた。私はその時点でタレントを3人も担当していたので、この上又増えるなんて絶対困る、という思いが強く、前日に彼女と食事した時「私が本当に担当になるかどうかはわからないから」と曖昧に答えていたのだ。

うちの会社はあまりゴシップとは縁の無いところで、去年私が担当している女の子がやたらとぐらぐらしては全く無関係。その時は会社全体が写真週刊紙やワイドショーと戦う体制をとったにもかかわらず、タレントが違っても対心もこんなに違ってくるのかという感じ。それはタレントの格

好意的な内容にしてもらう様話し合えるのだが、それもしなくていいと言った。何分にもマネージャーが変わったところなので、わからないことが多いので、なんて言い分けるも通用しないし、タレント本人はもちろん心配で少しもいように書いてもらいたいわけで行き場の無い怒りを私にぶつけるので、本当に困ってしまった。

電話があつてから4日後、私は単独で先方に連絡し、内容について確認を取りたいのだがと切り出した。向こうは驚いた様子で、何にも連絡が無いので珍らしい事務所だと噂してたんです。よ、と言われおそろおそろ相手方(男の子)の事務所はどいうなんですよと聞く。こちらは写

負けないための競争も 三尾キリコ

ますのさんの「ザ・キング・オブ・カエル」を読んで思ったのだけだ。 「学歴ブランド」の威力が衰えないのは、学歴産業が行政とがっちりタッグを組んで、人カエル」の不安につけこんでいるからなんだろう。その不安で「私のクラスはニコリと嬉しそうにほほえんだ。」

業人間論の中で「エリート向け「勝つための競争」とノン・エリート向け「負けないための競争」、サテライトティック・ハーモニーとマゾヒスティック・ライヴアルリの共存」ということを書いてある。(これはある人の文からの孫引き) エリートは所詮少数なんので、エリートの競争だけなら庶民にはカンケーないと思えるが、下層民にならないように、負けないようにという競争は一般庶民

も大いに不安を掻き立てられるわけだ。そういや、ブランド商品は不景気になったら流行らなくなつたけど、エステやダイエツト産業はまだまだ元気がまんね。あれは「美しくなりたい」というより「醜くならないように」という不安に支えられているんだと思うよ。日本社会は身分や富の差がやたら大きくはななく、王様と下層民がけつこう接近する(ように見える)ので、大貧民ゲームは隆盛で、胴元が潤い続けるということなのかね。それにしても、例の業者テストの話の中で耳にしたのは、中

ボランティア考

ボランティアという、最初に思い浮かぶのは、介護とか救済といった活動の無償奉仕。USAでは、たとえば民主党の応援とされているボランティアが昔やっていた政治運動も一種のボランティアだったのかなあ? 誰かのために役立つ、ということ

「自分を語る」は、次号からシリーズとして2人くらいずつ続けます。投稿も歓迎。タテ14字×30行で、しめ切りは毎月20日ですが、4月18日です。M

編集後記

◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをしている人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いせん。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送料をまかないます。



5月号 (No. 235)

1993年 5月10日 (毎月10日発行)

1年間予約料 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田 4-17-14 (増野潔気付) 〒165 電話 (03) 3385-2293 郵便振替 東京 4-51709

魅力度チェック

(問い) 20才の時のあなたの内面的魅力を100としたら、今のあなたに何点あげられると思いますか?

川崎市 太田睦(30代)

山梨 仁ノ平尚子(30代) 点数つけられない!! 困った!! 実に、実に、むずかしい問題で、悩んでいます。

「内面的魅力」とは何だろうか？ だが「魅力」といえば「魅力」なのだろうか？ 私自身が「魅力」と思っても、他人から見れば「そこがきらい」ということもあるし、その逆もある。

三月に、お百姓仲間が東京で絵の個展をしたので、出かけたのですが、そのときそこで出会った50代の女性から、帰宅後すぐにファンレターをいただきました。

「……絵を見ながら話をしていたら、仁ノ平さんのイキキとした声とキラキラした目にすいこまれる思いでした。この人の作った野菜が食べたい!! (注・私もお百姓です) 仁ノ平さん本当にステキでした」

六坂安美(41才)

20才を100としたら、もちろん今も100です。20代の頃は、自立して素敵に輝いてる女は皆30以上の人はかりなもので、私も早く30以上になりました。そして自分の人生に自信を持つてきたかに伸びやかに生きていたと思

私の方が好きで、いい点をつけたいなあと思います。あててあげたいなあと思います。

三十代半ばですが百五十位でしようか。でも、これは今の私に魅力があるという話じゃないのです。二十歳の頃の私が酷すぎる。あれに較べれば高くなっています。ひどい奴でしたね。何がひどいって、まずどーしよーもないグータラ。「寝たきり学生」を自称して怠らぐらいでしたから、要するに怠惰。怠け者。その癖口数が多い。たいしたことしない癖に屁理屈ばかりこねていて、おまけに喋り始めたら人の話なんか聞いていない。自分に自信が無い。だから喋りまくって自分のペースだけで会話を進めようとする。人が何を考えているのかなんか構ってない。嫌われまですよ、こういうタイプ。今、目の前に居たら蹴飛ばしてやりたいですね。迷惑なもの。

一般にはセーシンだとか青年時代って思い入れがあるみたいですね。人生の特別な時期だつて言ってる。でも、無分別や傲慢、恥知らずの時期でもあるんじゃないか。私はそうでした。そして最悪なことに、それを補って余りあるものもありませんでした。

『人生というものは、年を経るに従って、次第に色あせ、無意味になっていくものだ。20歳を100とすれば、これ40年半分もない。70を過ぎればほとんど生きた屍にも等しい。あの純粹で透明な空気を、身をもって生きたいと願った、テロリストの心が懐かしい。すべてを失っても青春に戻りたい、という感情は肉体の衰えとともに増すばかりだ。何故なら若さには、生そのものの輝きがあり、老人どもの話は、すべて弁解と練り言だ。若さと美しさは同一線上にあり、その無知ゆえに逆襲され、裏切られても一つの事実は残る。人生が生きていくための燃料は、死に向って用意された自己肯定のドラマであるなら、その欲望を確信させるものは若さだけである。故に老人は親観に耐えない。その知恵は世間知であり、追憶である。実際、私は老人をあかずまじまじと見られたことがある。『ない』。すべては開閉のすきみの原のようであり、桜の美しき香も若者の専有物である。老いた猫は、誰も飼わない。ただ飼い主のみが、猫の一生を見守っている。』……

宝塚市 山崎智子

20才の頃、職場に、社会に、そして生き方を異にする人々に対して、ひたすら牙をむく。それでも一生懸命生きていた。ただ、残念なことに男を知らなかった。45才の今、牙はまだ鋭く、日々刺激的に、そして、人々に優しくなり、何よりたくさん男たちを知った。

伊那市 久保田隆(46才)

30才で伊那谷に戻ってきた。もう十五年が過ぎてしまった。夜、寝床で本を読む時には、眼鏡をかけてみたり、外してみた。それに、車で歩くせがしみつたせい、運動がからさしたまになつた。たまにジョギングでも、田んぼ道に出て、二百メートルと続かず息が上。それに甘えて私は二〇点を

東村山市 佐藤敏昭(70代)

編集長氏は恩恵的な発問を我々に与えてくれた。内面的魅力とおっしゃってくださるから、ハゲ、シワ、チヂミ等の外面的客観性は度外視したいと思います。ぼく自身は二〇

(編集者より) 今回の設問は

ぼくのオリジナルでなく、同じ内容のアンケート調査を見て面白いな、と思ったのでマネタの平均値が一〇四くらいで、わずかに一〇〇を上回る数字だつたと思います。ぼく自身は二〇

ぼくとわたし

H. WAKO 25



老い方 いろいろ

(25) 川崎弘子



九州に帰省中の私は、3月の忘れ雪のせいか背中が針でさされるように痛くなり、母の行きつけの針灸の治療を受けに行った。全盲の彼女のアルバイトで、以前から面識があったのだが、ゆっくり話をしたのは始めてだった。

前田米子さん(69才) 仮名は、大分県小さな町の生まれで、20才の時視力を失った。花嫁修業中で高熱が続きその結果、原因はよくわからなかったという。

それから、針灸の学校へ通い開業をしたという。「母がね、とてもかわいそうだと思っただけで、針灸の学校へ通い開業をしたという。」

「肉親とのつきあいがとつても難しく、やっぱり同じ障害がないと不自由さがわからないんですよ。障害者といつても、

どういった内容かという、森光子の役のお母さんが、女手一つで美容室をきりもりし、息子を大学にやり一人前にして一戸建をたてる援助をしたところ、自分が老境に入る。指のしびれを覚えて美容室をたたみ、上京して同居しようと決心したところ(試験的に何日か滞在した)、シルバーマンションを勧められ、落胆する。そして一度も会ったことのない異母妹に会いに行き心暖まる交流が始まる。といったストーリーだったらしい。

「私はね、結婚せずに一人で暮らしてきて、夜一人ぼっちだと淋しいんですよ。この淋しさは何ともいいたくありません。特に年とってから強く思いますよ。」

「目がみえなくなった時よりも、これからの事を考える方が、辛いですね。目がみえなくなった時は、何といつても若さがあつた。なにくそ、こんな事でくじけてなるものかと勉強にも励んで、生きるのがむしやうでして、夢中で過ぎていったんです。で、気がついたらこの年になつていたというわけです。」

森光子の役が人の事のように思えてくる。段々に体が衰えてくる。がんばりが、きかなくなつていく。お母さんがよく見えてくるよな気がする。つまり、親がダメな方が、(こんな親をアテにしていたら心配だから)案外シツカリものの子が育つとか...

英訳すれば パラドクス・モデル?

ますのきよこ

「M市民会館で「自分探しのイメージツアー」という連続講座を始めたが、白人女性一人参加して、日本語にまだ不慣れらしい。で、「反面教師」を説明するのに、「パラドクス・モデル」と訳してみたが、はたしてうまく通じたかどうか...

「ぼくの言いたかったことは、人が自分のアイデンティティを模索する場合、他人をオーストリア・モデル(あるいは人になりにたい)にする場合と、パラドクス・モデル(あるいは人にならな

りたくない)にする場合があるが、情報化社会では、スターが麻薬で逮捕されたり、総理大臣が金権まみれだったりターテナ裏面がよく知られているので、オーストリア・モデルは少なくなつてしまった。むしろ、身近な親や教師をパラドクス・モデルに、「あんな人にはなりたくない」という形で自己のアイデンティティを作っていくことの方が多いのではないかと、この方が多いのではないかと、この方が育異や教育の矛盾や、お

もしろ味がよく見えてくるよな気がする。つまり、親がダメな方が、(こんな親をアテにしていたら心配だから)案外シツカリものの子が育つとか...

脱線ついでに蛇足をひとつ。赤松、江田、横路と革新ギョーカイにも、世政治家は多いが、彼等にとって父親は、パラドクス・モデルだったのかどうか、機会があつたら聞いてみたいものだ。

なつてくるのは、身にこたえまなから私は、ヒクミン剤など健康については注意して用心してますよ。」

彼女の目が見えなくなった時よりも、老いを迎えるこれからの方が辛いという言葉に胸がつかれる思いがした。

私が介護の仕事をしてたという話から彼女はヘルパーをしてる友人について話をしてくれたい。

「どうもいい人ですね。気がつかれない人なんです。私はまだ、こやうやお客さんが覚えてきてくれるから今のところ福祉のお世話にならずにすみすすけれど、彼女とはあみ物教室で知り合った仲間なんです。」

私は忙しくなつてすぐ辞めたんで、近づくに越してきてから、掃除しにきてくれたり、買い物や煮物を持ってきてくれたりするんです。その心づかいは、同じ事をするのでちよつと違うんです。小さな気がかりがあつてやっぱり心でかかぬ(ヘルパーさんの仲間の中ですら、気がついたらこの年になつていたというわけです。)

お母さんがよく見えてくるよな気がする。つまり、親がダメな方が、(こんな親をアテにしていたら心配だから)案外シツカリものの子が育つとか...

イギリスには教会所はなく、クラブが各地にあるだけだといふ。日本棋院の国際部から送ってもらつた名簿を頼りに、オックスフォードのウェズズさんと人々に、予め英作文をしておいて、電話してみたら、「どうぞ」といわれた。ただ、教会はの考え方が根本的に違うのか、

イギリスには教会所はなく、クラブが各地にあるだけだといふ。日本棋院の国際部から送ってもらつた名簿を頼りに、オックスフォードのウェズズさんと人々に、予め英作文をしておいて、電話してみたら、「どうぞ」といわれた。ただ、教会はの考え方が根本的に違うのか、

シリーズ 自分を語る (3)

千葉 福武公子

弁護士になつてようやく十年になります。「学生の頃は物理をやつていて大学院までいったのよ」といふと、大抵の人は「物好きね」と笑います。

「高速増殖炉もんじゅ」裁判にかかわっていますが、「原発技術者とは無縁」で、四苦八苦しています。

たしかに、世の中には「高度に専門的な科学技術」というものはあるのですが、行政や政治の皮でくるまれてしまいま

人口が少ないせい、それとも三百年以上も植民地を持ち、しかも階層差が激しい国なので、中産層以上の人々の生活の土台ががらつきつつあるのか。

書齋らしき部屋に通され、髭をはやした品のいい紳士が、まずは書棚をみせてくれた。「Basic Josaki」とか「Strategic Oncology」とか「Go」とかあり、おまけに石田芳夫全集の翻訳まである。

髭紳士に日本から持つていった扇子(天狗が髭を打っている絵が描いてある)を渡そうとしたら、「これは、この家の主に渡せ」といふ。どうやら、この人はウェズズさんではないらしい。この人以外に二人の人が髭を打つていて、私の存在を気にする風もなく、二局ばかり打つたさつと帰室してしまふ。

「How strong」と髭が聞くので「日本のアマチュア五段」といふと、「幾つか置け」といふ。三子おいて始めたのだが、二十

び込んでの有機農業。元々儲るとは思わなかつたものの、ズブの素人が始めたこともあつて経済的には仲々きびしい。三年前腎盂炎を患い、しばらく静養を余儀なくされたが、その辺りから自分が変わりつつあるような気がする。段々と身近かな草花などに惹き寄せられるようになってきている。本格的に野草茶を作つたり、季節毎の薬用酒も仕込んだりして楽しめるようになった。畑の「雑草」や「害虫」に対しても敵意はかなくなりやわらんだ。それこそ一木一草の命が実感できるような気がする。

92夏一年以上かけて完成させた、移築ではあるがほぼ手作りの宿泊施設は、未だユースホテルの認可は下りず、民宿の形で営業しているが、四苦八苦の状態である。全国各地の読者の皆さん、沖縄にお越しの際は今帰仁までいらして下さい。出会いを楽しみにお待ちしております。(今帰仁ファームハウス 0980-562148) しっかりとPRするなんて、少しは商売気も出てきたかな。

また髭を打ちにいった。そこはサロン風になつていて、数人づつビリヤードをやつたり、バーで酒を飲んだりして、その中の一つのグループが髭を囲んでた。このグループが髭を囲んでた。このグループが髭を囲んでた。このグループが髭を囲んでた。

対局後、相手が感想を述べたが、その英語が私にはきつぱり分からなかつた。だが、髭を置直して話を聞いてみると、かなり意味が分かつてきた。

ロンドンに戻り、ホテルで、もつた雑誌を読んだら、その巻頭は一九九二年の Championship の棋譜が載つていて、なにげなく対局者の名を見ると、なんと、Matthew Macfadyen と書いてあるではないか。私はウェズズさん宅で、イギリス本因坊と髭を打つてきたのであつた。

英基紀行

ケン・ササキ

駅から繁華な町並みの逆方向に、ものの五分も歩くと青々とした牧草地が広がる。その中に並木道が一本あるだけで、広々とした平野に家が軒もなない。小川があつて鴨が泳いでいる。所々に柵があり、馬のんびり草を食んでいる。

二十分ほど歩くと家が見えはじめる。ウェズズさん宅は敷地が二百坪ぐらい、二階建てレンガ造りのシックなもので、同じような家が十数軒集まつて一つのビレッジを成している。こうしてビレッジが百メートル間隔位でちらほらあるだけ。

日本の住宅事情からみればうらやましいかぎりだが、自然への考え方が根本的に違うのか、

イギリスには教会所はなく、クラブが各地にあるだけだといふ。日本棋院の国際部から送ってもらつた名簿を頼りに、オックスフォードのウェズズさんと人々に、予め英作文をしておいて、電話してみたら、「どうぞ」といわれた。ただ、教会はの考え方が根本的に違うのか、

ポットから世界をみれば (17)



福岡 久屋考夫

らかい日差しにうつまつた。遺影の中のさびしげなほほ笑みと、最近はずっと通すこともなかったソフトボール用のグローブを遺して、弟は逝った。世間的に言えば「薄幸」な四十年だった。姉と二人きょうだいの彼は、「てきない」「快活」で「積極的」な姉としばしば比較された。そのことをとても嫌っていた。

中学卒業後、地元の水道工事専門の会社に就職、その後何度か職を変えた。その間、さまざまなお金がなくて差別に会ったよ。それも彼自身に対してだ。けでなく、彼の家庭環境、父親に対する蔑みも含んでいたよ。

一方で、「一家の柱」として期待される長男という地位のプレッシャーは大きかった。農業後継者ということで周囲に押しつけられる。気のすまない相手との見合いによる結婚はわずか数ヶ月のうちに破局をむかえる。子供はなかった。また元のようにならなかつた。また元のようにならなかつた。また元のようにならなかつた。

母タマ子は、先の戦争で最初の夫をなくし、今また「跡取り」息子に先立たれた。ほくのパートナーが、こうなつては、唯一の老いた両親に遺された生への励みである。タマ子の先夫はフィリピンで戦病した。一九四一年七月に始まる新婚生活は一年半でヒリオドが打たれる。婚家の姉に懇願され、敗戦後弟と再婚。それが今日のタマ子の想像を絶する苦勞の発端でもあった。息子の早世は間接的ながら戦争の爪痕といえるだろう。

(そう考えると、日本に侵略されたアジアの人々の傷の深さと生々しさにはことばが見付けられない。)

ウグイスの声を覚ます。ここ、妻の実家は高取、広島との県境に近い標高四〇〇米ほどの盆地にある。葬儀日の早朝は霜柱さえ立つほど冷え込んだ。しかし葬儀の始まるころには伊丹十三監督の『お葬式』のエンディングのシーンのようなやわらかい日差しにうつまつた。

の出会いが最後になった。話もどるが、彼女の姿の痛々しさが、弟の将来への不安を一層かきたてたにちがいない。数年間続く精神的落ち込みとアルコールへの傾倒は、弟の仕事への復帰を困難にし、母との家庭内摩擦を徐々に大きいものにしていった。

足の悪い母をいたわり気遣いたい気持ちと、助言をこめて叱責する母への反発が交互にやってきて、(父こそが、本来ならターゲットとなりうべきはずなのに)母へ当たり散らすことがふえてくる。

それは、弟が、一方で、全面的に頼っている母親が自分を遺して先立つのではないかという不安と、他方で、母の支配から逃れようとするあせりの、相反する要素のひびきあひに苦しんでいたことを意味している。

また、自立しようとして、自立を成し遂げられない弟の無念の屈折した心理状態を物語る。弟が遺したもうひとつの生の証は、彼が日々寝起きの部屋に飾られた表彰状である。「昭和二十八年五月(一九五三年)昭和三十二年十一月十五日生

あなたはお父さんお母さんの温い育みに因って体位も栄養もまた智能もきわめて順調に発育され本日(仁多郎赤ちゃんコンクール大会)に於て優良児に選定されました。依つて茲に将来を祝福してこの賞状を贈呈します。単なる決まり文句であるにもかかわらず、今となつては皮肉的にも響く表現に満ちている。

中学の同期生代表の弔辞に「卒業後時折折りで出会う時、冬でもカッターシャツ一枚で、もくもくと穴を掘る君の姿が印象的でした」。弟は、身長一八〇センチ、体重八五キロ前後はあり、力持

ちの「金太郎」だった。と妻は言う。まじめによく働き、人柄がやさしく、気がとてもよく回る人柄だった。人にだまされても決してだますような人ではなかった。ある意味で人がよすぎた。それは、裏返せば、臆病で、周囲の評価がとてつもないものにしていった。

自信を失いやすく、落ち込みやすい性質も合わせもっていたというところだろう。ストレスの多い現代社会では大人の会社拒否や子供の不登校現象を見るまでもなく、やさしすぎ感じやすい人ほど傷つきやすくなる。まじめな人ほどよく生きていく。まじめな人ほどよく生きていく。

その点、姉であるほくのパートナーとは正反対に近い(心臓に毛がはえているとまでは言い過ぎだが)。彼女が弟と、半分ずつならしてその性格を共有していたなら、ほくの歴史もよいか悪いかは別として、現在とでは大いに変わつていただろう。

母の性格を強く受け継ぎ、弟は母に似なかつたということである。元にもどれば、弟の精神的危機に、日本の農政の未来に展望がもてない中で、農村の精神的疲弊が広がっているというもつとも大きな社会的背景にふれない訳にはいかない。

弟の悩みは家父長制のもので農業後継者の運命を担わされる農家の長男に共有される危機意識なのだ。「嫁」不足はその表れだろう。

弟のアルコールへの依存は、この複合的な原因の結果であつて、決して個人的なものではなく、構造的な問題と言える。さらに、姉に対する劣等感も、大学を仕事場とするほどの結婚でさらに倍加されていった。

から、他方で、この数年間特に姉からの経済援助を受けざるを得ない状況におかれ、その思いはいつそう募つたのだろう。酒を飲んだ勢いで、ほくたち夫婦へ毒づくことが吐かれたというところも後で知らされた。

ほくが最後に会つたのは、三月半ば島根県東部の大きな湖の岸近くに立つアルコール依存症専門の病院でだつた。

いつまでも忘れ難いのは、彼の握手。その手は汗で濡れ、冷たかつた。会つては汗で濡れ、彼はスローモーションのこわばりを思わせる手で、何度か額の汗の玉を拭おうとした。

彼とのやりとりのきこちなさは、アルコール依存ゆえの脳機能能衰弱に起因するのだろうか。しかし感情的なレベルの活動に衰へはなく、冷や汗は、ほくへの強い警戒心を示す無意識の徴だつたにちがいない。

それを悟つたのは、その二週間後、春休みを利用して里帰りしたパートナーが、父親を連れて彼に会いに行つたとき、弟が涙を浮かべながらも父の顔から目を離さなかつたということから。

ぼく自身しばしばわがパートナーに反発を感じながらも、母譲りの強い個性が彼女の魅力の大きい部分を形成していることを認めざるをえない。

聞いたからである。弟にとつて、父は、自分と同時代の愛しいふびんな分身、同時に、息子としてそういう父を看取るべきで、自己の無念さを想起させる存在であつた。自分自身が人生最後の場面にいてなおそのような感慨が巡つたことがとても哀しく思われる。

その父の弁護のために言えば、キヨシは軍隊での訓練の厳しさに堪えられず、精神を病んで途中で除隊された。人を殺すことがなかつたというのは、意図せぬこととは言え、りっぱな徴兵忌避の行為だつた。弟は人を傷付けたいという点で奇しくも父親の親ゆずりだつた。

弟との出会いで、もうひとつ印象深いことがある。それは、テーブルをはさんで向かい合つて座るほくの所作をまねて、彼が足を組んだり、手をあごにあてたりしたところだ。

た「ちよと鏡」のなかの人物の命令通りに手足を動かさずとするかのように。彼は、彼が服従すべき「鏡」(モデル)として「ほとんど強迫的に」ほくのまねをしつと、

いたドラマの脚本家がいまつけられているお店、京王線の下高井戸にある。ひよんなことからそこに連れていかれた私は一目でその空間にハマつてしまひ、翌日から足繁く通うようになった。

ここには様々な人達が集まる。コ字型のカウンターには20代から60代まで、それぞれ違った仕事を求めている人が、一日の終わりを求めてやってくる。大抵の人は一人でやってきて、顔見知りの中に入つていく。私は最初は一人しか知り合いがいなかつたのだが、次々に紹介されて退屈する暇もない。又、溢れんばかりのメニューから何をチョイスするかもいつもの楽しみになつていく。

コントロールもむずかしい身体の不自由を押して、努力してはたはなかつたか。彼にとつて、ほくは彼の前にたちはだかり、彼を抑圧する巨大な権力だつたのだからか。彼にとつて、ほくは(義)兄であつた。どこかのエラソーな肩書人間に過ぎなかつたのか。ほとんどの時間は苦痛以外のなにもでなかつたのではないか、という考えに思い当たり、沈んでしまつた。

ベッドから世界を見ようとしたほくが、いつの間にかベッドを見下ろす立場に成り上がつてしまつていたということなのか。すごろくのふりだしにもどつた以上の無力状態のほくは、このタイトルで続けていくのがつらくなつてきた。コラムから降りるべき時期にきていると思う。

最後に、二年以上の間、締め切り日ぎりぎりに原稿を出し続ける、さらに字数制限を守らないうまくない紙面を余分に割っていくことので多かつた寛大な編集長と「交流」の辛抱強

気がしなくてお店で会う常連客としてつき合つていく。おつれあひも来たり来なかつたりなのに、32才の彼と話していても、もしもいのは彼女が居る時と居ない時との会話の違い。居なけりば「オレとエッチしようぜ」

なんて平気で言ってくる癖に、居るとどう見ても彼女に甘えていと思えるのだ。彼は常々、「オレは何を置いてもカミさん

抵の人は一人でやってきて、顔見知りの中に入つていく。私は最初は一人しか知り合いがいなかつたのだが、次々に紹介されて退屈する暇もない。又、溢れんばかりのメニューから何をチョイスするかもいつもの楽しみになつていく。

い読者に深謝いたします。編後集 先月号の1頁、大河原さんの文章「女の叛逆」が「返逆」と誤植されてました。お詫びして訂正します。

「交流」創刊20周年は、カンダパンセを10月23日(土)午後予約しました。何かやりたい人は持込みで自由やり、無ければ、飲み食いとおしゃべりだけというのはどうかしら？それとも何か良いチエあります？

久屋さんの原稿、2回分として送つてくれたのですが、分けてしまつと、つながら方がどうか、という問題と、たまたま原田さんの原稿が遅れたこともあり、一度に掲載します。これで向井さんと久屋さんの連載が終了します。お二人とも長い間有難うございました。

次回から「医療」をめぐるリーエッセイを連載する予定です。お楽しみに。

二人とも甘え合つていて、支え合つて生きてるんだらうなと感じたのは久しぶりのことだ。私の場合6才で父親が亡くなつたから、特にそう思うのかもしれない。

たつみやにはもうひとつ、私の興味を引くものがある。それは脚本家の彼がエジプトみやげに買ったスカラベ、別名ぶんころがし。木の彫り物で、手に乗るくらいサイズのどつてもかわい。先月号古居で、エジプトのツタンカーメンが彫つてあるアレクサンドロとペンダントを購入したのだが、それには外にいる敵から自分自身の身を守つてくれると聞いて買ったのだが、お店のスカラベも私の守り神のような気がしてならないのはなぜだろうか。

マネージャー日記 (18) 飲み屋にて 鎌田千賀子

ここの一ヶ月、私にしては珍らしく通いつめている場所がある。その名は「たつみや」。仕事で食事をする機会が圧倒的に多いのだが、もともと飲めない上にクレセントを連れていると車なので、ビール一杯程度のおつき合いが一年半続いている。それが飲み屋に通うようになるなんて、自分でも意外な出来事だと思つてたつみやは2月まで撮影して

不安な医療

山田真

興味深く読んでいた向井承子さんの連載が、ウーン残念と思ってしまうたら、なんと次の連載の皮切りの原稿がほくるところに回ってききました。実は、四月の末に社会臨床学会という学会の結成記念総会で「生老病死を考へる」というパネルディスカッションが行われて、そのパネラーとして向井さんとぼくは同席したのです。ま、こんなこともちょっとした因縁かと思つて、連載の幕明け係を務めさせていただくことにします。ところで、テーマは「不安な医療」だということ、確かに今の医療はみなさんに不安を与えているだろうなと思つて、医者をしてやるのは無責任かもしれないと思つたのですが、日常診療をしながら自身も不安になつていられるのですから、患者の側であるみなさんはより不安が強いはずなのです。

現在の医学・医療がみなさんに不安を与えているのは確かでしょうが、なにも医学だけが不安を産み出しているのではない、近代科学の現段階がほくたちを不安にさせているのだらうと思つています。村上陽一郎さんは「われわれは『科学者』が、とくにヨーロッパにおいては過去何百年にもわたつて存在し続けてきたような錯覚を持つています。この錯覚は同時に『科学』についても並行的に成り立つ。つまり『科学』もまた何百年にわたる歴史をもつていて、この錯覚にわれわれは捉はれている。しかし一九世紀初頭までは『科学』は存在しなかつたといつて間違いないと思つていい。と書いていますので、そもそも

近代科学という言い方が「馬に乗って乗馬して」式の云い方であり、科学は近代に特有なものと云つてよいようです。そうなのと近代科学に対する不安といふことは近代への不安といふことになり哲学的な命題になつてしまふますが、まあここは「医療に対する不安」に限つてお話ししたい方がいじょう。とはいへ、現代の医療の問題の一つは患者さんの側の過剰な「科学信仰」にある、医者の側があるたかも「医療」については絶対の真理がある、かのように言い募つたりと患者側の科学信仰がすつぽりとかめとられてしまふことが問題なのです。

例えばアトピー性皮膚炎の子どもを持つ親が、副腎皮質ホルモンという近代薬には激しい反応するの一方、子どもにとつてなにかアレルギーを起しているかがわからずとされているアレルギー検査(皮膚をひつかいてみたり血液で調べたりいろいろ方法がありますが)は無条件に信じてしまふ、つまり検査の結果を正しいものとして信じこんでいたりすることに驚かされまふ。「これは科学的なんだから」と云われるとフラフラとなつて思はずさびまづいてしまふような科学信仰、これを乗り越えない限りほくたちの不安は解消されないように思つたのですが、そこでみなさんの常識をゆさぶるような話を一つ紹介しておきましょう。高血圧の人が食事をすすめる上で気をつけるべき第一のことは食塩制限、つまり、食塩を制限すれば血圧が下げられる、と、まあこれはみなさんの常識でしょうね。

ほくたち医者もこれまで血圧

の子供が二人になつて忙しくなつた。少しはダイエツトになつていいかもしれない。ハハハ。ところが最近になって、食塩の制限が血圧に好影響を与えるのは全体の五割、つまり十人の人が一生懸命制限してそのうちの五人しか下らないといふことがわかつてきたのです。残り五人の人はつらい思いをしてうす味のもの食べても血圧が全然変化しないというわけです。そればかりではありません。一九九一年には「食塩制限をすると逆に血圧を上げる場合があるし、コレステロールと中性脂肪の値を上げる」という報告がいくつか出されたのです。とんでもない話ですね。

医学の世界ではこんなふうになつて常識や真理と思われていたことがひっくり返つてしまつたりするのは日常的なことです。だから医者も「この方法は絶対に正しい」なんて言うことがあつたら肩に少々つばをつけておかねばなりません。医者や医学を絶対視しないこと、そしてそういうものにとらわれず生きていようように生きるのが結局一番いいと思つたのですが、どうもそのあたりのこと、今回だけは書き切れないので次号もう一回、頁をお借りします。

魅力的な人でしたよ。あなた林美子って御存知？そう、たくさん読まれた方がよくつてよ。まあ、私は才能がなくて作家にはなれなかつたけど、松生さんと会えたからよかつた。」

そう笑う彼女は、結構骨太で頑丈な女性で、好みのほつきりした性格だつた。

パンは、メロンパンかアンパン、とうふにはんべんそしておかつとクリームシチューももう五年も、食事といへばこれだけ

松生さんは、仕事から外泊や外出が多くて彼女が一人残ることが多い。そこで転んでしまふとヘルパーさんが来るまで立ち上れないという事態になるのだ。実際の人の出入りはヘルパーさんのみといふこのお宅では、半日転んだままになつた事があり「あなた、あの恐怖といつたらありませんよ。体の不自由なものの気持は、とうていあなたみかゆとクリームシチューももう五年も、食事といへばこれだけ

松生さんは、仕事から外泊や外出が多くて彼女が一人残ることが多い。そこで転んでしまふとヘルパーさんが来るまで立ち上れないという事態になるのだ。実際の人の出入りはヘルパーさんのみといふこのお宅では、半日転んだままになつた事があり「あなた、あの恐怖といつたらありませんよ。体の不自由なものの気持は、とうていあなたみかゆとクリームシチューももう五年も、食事といへばこれだけ

松生さんは、仕事から外泊や外出が多くて彼女が一人残ることが多い。そこで転んでしまふとヘルパーさんが来るまで立ち上れないという事態になるのだ。実際の人の出入りはヘルパーさんのみといふこのお宅では、半日転んだままになつた事があり「あなた、あの恐怖といつたらありませんよ。体の不自由なものの気持は、とうていあなたみかゆとクリームシチューももう五年も、食事といへばこれだけ

私流。沖繩考

その(1) 平井隆行

私が「沖繩、沖繩」てうかれ騒いでいる時、それは昔ながらの「日本」を重ね合わせて陶酔していることが多いいん

私の生まれ故郷の東京を指して、「人情は薄いし、住みにくいねえ」とおっしゃる方が増えました。確かに、私から見ても、顔の見えねえ、本当に居物なんか持つてくことは当たり前前めこのことでした。私は奇席で落語聞かのが大好き(でえすき)なんです、そんな中には

なんかしした小さな個人商店は、サラリーマンの息子が跡を継ぐことなどぞはまれで、税金や今の生活を考へて、小型マンションなんてものを作つちまふ。

ついでの間までは、道を掃いてお隣・向かいのおかみさんやご隠居に、「おはようす」なんて言つてたもんです。具合が悪くて伏せてる人の家へ、煮物なんか持つてくことは当たり前前めこのことでした。私は奇席で落語聞かのが大好き(でえすき)なんです、そんな中には

江戸っ子の人情・あつたかきてえやつがあふれます。「江戸っ子の粋(いき)」なんて申しますが、人が多いがゆえの思いやり・マナーと言つたところなんでしょう。湯屋(銭湯)でゆつくりとしたひにや、小さな湯屋がすぐそばにあればいいなつちまふ。それで、熱い湯にパツと入つて、パツと出る。狭い長屋ではトランプも少なくなかつたでしょうから、大家さんやご隠居が長い人生経験をいかしてま

居が長い人生経験をいかしてま

居が長い人生経験をいかしてま

老い方いろいろ

(26) 川崎弘子

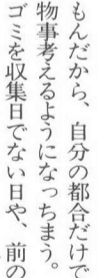
繰り返して食べていた。「入れ歯があわなくなつて、私は医者は大嫌いだから歯茎でかめるものがいいよ。」

私がかんな体になつたのも医者のせいなのよ。もつと早くハビリをやつてくれればマジが少なくなつたかもしれない。

と怒りはいつも新たなである。自分の生活ペースはきちんと決めており、用心して転ばない様に気をつけている。

松生さんは、仕事から外泊や外出が多くて彼女が一人残ることが多い。そこで転んでしまふとヘルパーさんが来るまで立ち上れないという事態になるのだ。実際の人の出入りはヘルパーさんのみといふこのお宅では、半日転んだままになつた事があり「あなた、あの恐怖といつたらありませんよ。体の不自由なものの気持は、とうていあなたみかゆとクリームシチューももう五年も、食事といへばこれだけ

松生さんは、仕事から外泊や外出が多くて彼女が一人残ることが多い。そこで転んでしまふとヘルパーさんが来るまで立ち上れないという事態になるのだ。実際の人の出入りはヘルパーさんのみといふこのお宅では、半日転んだままになつた事があり「あなた、あの恐怖といつたらありませんよ。体の不自由なものの気持は、とうていあなたみかゆとクリームシチューももう五年も、食事といへばこれだけ



松生さんは、仕事から外泊や外出が多くて彼女が一人残ることが多い。そこで転んでしまふとヘルパーさんが来るまで立ち上れないという事態になるのだ。実際の人の出入りはヘルパーさんのみといふこのお宅では、半日転んだままになつた事があり「あなた、あの恐怖といつたらありませんよ。体の不自由なものの気持は、とうていあなたみかゆとクリームシチューももう五年も、食事といへばこれだけ

松生さんは、仕事から外泊や外出が多くて彼女が一人残ることが多い。そこで転んでしまふとヘルパーさんが来るまで立ち上れないという事態になるのだ。実際の人の出入りはヘルパーさんのみといふこのお宅では、半日転んだままになつた事があり「あなた、あの恐怖といつたらありませんよ。体の不自由なものの気持は、とうていあなたみかゆとクリームシチューももう五年も、食事といへばこれだけ

気分はラフコール (31)

福島瑞穂



ミネソタ州では女性の刑務所を見学した。日本では、栃木にある女性のための刑務所を見学したことがあるので、比較してみたかった。

長年ケースワーカーをしていたという女性の所長さんがきびきびと案内してくれる。

仕事はフレックスタイム制で六時間働けばいい。食堂はカフェテリア方式で、好みの皿をとり、好きな場所に座って食事をすする。面会については、銃や麻薬などの持ち込みが危惧される人は、透明の板(ガラスというべきか)にけがられた部屋で面会者と会わなければならないが(つまり、日本の警察や拘留所での面会室と一緒)、ほとんどの人は、広いリビングルームのような所で、手をとりあったりキスをしたりしながら会える。そのリビングルームの中には、見張りの人が一つの場所に座っているが、それぞれがどうい会話をしていくかはもちろんチェックをしないし、できない。

日本では、刑務所にはいると親族にしか会えないし、手紙も出せないことは大きな違いがある。

ちなみにスウェーデンの場合は、内側から鍵をかけられてソファアベッドのある個室で面会者と二人きりで会えるので、もっと進んでいるが。

そのミネソタ州の刑務所は、子どもは、ウィークエンドに泊まりにくることもでき、刑務所のなかに子どものプレールームがあった。

職業訓練も進んでいて、テレビ電話で、ワープロやその他の技術も習得できるし、大学の先生も教えるにきてくれる。美術な

子どもも、ウィークエンドに泊まりにくることもでき、刑務所のなかに子どものプレールームがあった。

サマリと「逃げる人がいることが問題です」と言われて、軽いカルチャーショックを受けた。所長自身が、「アメリカで最も良い刑務所の一つ」と胸をはるからには、平均的な刑務所ではないだろう。ミネソタ州は、アメリカで二番目に再犯率が低い州であること、北欧やドイツからの移民が多く、刑事政策や社会政策に北欧的な政策もはいつていることから、かなり自由な政策がとれるという気もした。また、逆に言えば、教育などをして自立を助けていることが再犯率を低くしているとも言えるだろう。

ミネソタ州では、警察官と一緒にパトカーに乗って夜の街をパトロールしてまわった。

この警察官が、途中で、「腹が減ってないか」と言う。「正直に言うとうちを食べよ」と言ってきた。でもリンゴを一個食べたので大丈夫。と、「メシ食いに行こう」と言う。

あるレストランで食事をすると、店の人が注文をしていないものも持っている。

そして「会計をして下さい」と店の人に言っても持ってこない。彼は、「実は、この店の経営者が友人でスカッシュをする仲なのだ」と言う。

ただで飲み食いするのと同じかと思うと、「なんだ」と思う気持ちと「こんなでもない男だ」と「日本でも似たような話を聞いたなあ」という気持ちが続いてくる。

彼は、「年はいくつだ」「結婚しているのか」と聞いてくる。答えないと、「じゃあ質問を変えよう。弁護士になって何年目だ」と言う。答えないとイライラして

「オレはいくつに見える?」と聞いてくる。

まず、男性の年がサッパリわからないのと、若く言った方がいいのか、年をとっていいように言った方がいいのかかわらない。「アメリカの男をどう思うか」と聞き、「女は、制服を着た男が好き」と言うので、「オレにはいい機会がある」と言うので、笑いだしたくなった。ここまで単純に無邪気に「マッチョ」をしてくれると怒るよりもゲラゲラ楽しく笑いたくなる。アメリカでは人に年齢を聞かないものだと言われているが、こんな人もあるのである。

BOOK 紹介

林郁著「あなたは誰ですか」

名著と評判の高い「満州・その幻の国ゆえに」以来、中国残留妻と孤児の問題を著者は追いつけてきた。十年前の「残留孤児」フィーバーとはうって変り、今、日本社会の中でももうものトラブルが生まれている。

中国で夫婦とも医師だった順子一家五人は、日本では医師の資格がないので、東北の老人ホームで働き始めるが、身元引受け人側と当人たちの意思のズレ、言葉のズレ等々から、関係はす

つかりこじれ、家出や双方の反発等々、帰国者支援のボランティアも頭を抱える事態となる。もうもろの重苦しい事件の間を縫って、著者の分身と見られる人物が登場し、間接的に著者の胸中を語る。「これは私にとっての真実を伝えるための小説作品です。登場人物が傷つかないように、また反省の余地を残すために事実を重ねて、私の思いを書きました」と著者はあとかきで記している。「生き合おう」とへの著者の願いがこめられた作品だ。

山本美知子著「アメリカ暮らしの生き方美人(窮屈な日本に住まない女たち)」

第一章「元祖」OL留学症候群の女たち、第二章「永住権」の女たち、第三章「人外をウロつく日本人を評して、日本はソニー、ホンダにかわって『八流』の人間の輸出国になろうとしているのではないかと書いたそう。ロンドンで三年、サンフランシスコで二年、リュックをかついで三十数ヶ国を貧乏旅行した著者は「自分のような人間こそ元特派員が言う『八流』人間なのだろう」と思いつつ、「何かちがう」と首をひねる。そして、「一流」の人のルポよりも、「八流」人間に的を射たものになると信じてこの本を書いた、というわけである。

第一章「元祖」OL留学症候群の女たち、第二章「永住権」の女たち、第三章「人外をウロつく日本人を評して、日本はソニー、ホンダにかわって『八流』の人間の輸出国になろうとしているのではないかと書いたそう。ロンドンで三年、サンフランシスコで二年、リュックをかついで三十数ヶ国を貧乏旅行した著者は「自分のような人間こそ元特派員が言う『八流』人間なのだろう」と思いつつ、「何かちがう」と首をひねる。そして、「一流」の人のルポよりも、「八流」人間に的を射たものになると信じてこの本を書いた、というわけである。

強したくて大工学校にきているのではないらしい。工務店のおやじさんから、理論的にきちんとして勉強してこいと言われ、通って来ているようだ。

大工学校で勉強しているうちに、夫の夢は、またまたふくらんでいった。どうせ、勉強するなら、単なる大工で終わらずに、二級建築士の資格を取ろうということになった。そして、今年一月から、二級建築士受験のための講座に週二回通い始めることにした。

その二級建築士の試験を、七月の初めに受けるのである。夫は机の前に「試験まで〇日」と大きく書いて貼付け、好きな酒も断ち、受験勉強に没頭している。構造計算には、微分・積分などの数学が必要となってくる。大昔に勉強した数学など、全く忘れてしまっている。中学高校の数学の教科書や参考書で基礎から勉強し直している。

一つの問題を理解するのに、一日もかけて勉強し、一つの問題が解決したとあって、大喜びする彼に、私も思わず良かったねと拍手を送りたい気分になってしまふ。夫は、勉強して、こんなに楽しいものなんだと、最近しみじみわかったと言ふ。

夫は、学生時代はずっと劣等

生だつたらしい。両親が教員でいつも勉強せよと言われ、勉強嫌いで成績はビリケツだったという。六十六年間の人生の中で今が一番勉強しているという実感があるとのこと。昔からこんなにならなかつたら、どんなに勉強が楽しかつたかと残念がつている。昔は劣等生だった夫も、今は優等生。大工学校の通知表はともにも良い成績で、今年入学式では在校生代表として挨拶をした。

本来、学ぶことは楽しいはずだし、いつになっても学べるというところを、私は夫を通して改めて痛感する。だが、学校では、生徒たちは、夫のような眼の輝やきをめつたに見せることはない。幼い頃から、知りたくなかったのに、たくさんの知識をつめこまれ、勉強の楽しさなど味わつたこともないのだから、どうやれば、生徒たちから知りたいなという好奇心や探究心を引き出すかが、教師としての最大の課題。そのためには、教師があまり教えない方がよいのかもしれない。

さて、試験日まで一ヶ月余りも今年不合格なら来年も、その次は一級建築士にも挑戦すると燃えている夫は、たぶんほけることはないだろう。



六十六歳の受験生

今、我が家には、受験生がいる。受験生といっても、子どもではない。夫が受験勉強最中なのである。

私の夫は、昨年六十五歳で定年を迎えた。一般に教員の場合現役時代は若い。定年後は生徒たちからの刺激が急になくなってしまうためか、ふけこんでしまおうという。だから、定年後もボケ防止のために、非常勤講師として仕事を続けたりする例が多い。だが、夫の場合、四十年間の教員生活に完全にピリオドを打った。そして、全く違う世界で第二のライフワークを設定したのである。

その世界とは、「建築」。なぜ、社会科の教員が、建築に関心を持つようになったのか、それは六年前に伊豆の宇佐見に土地を購入したのがそもそものきっかけだった。定年後のんびりと生活する場としてログハウスを建てる計画だったが、土地購入直後に大きな地震が起き、その計画はおあずけとなってしまう。

計画延期後、あれこれ考えているうちに、どうせ建てるなら、ログハウスでなく、本格的木造建築にしよう、そうだと、どうせなら定年後自分で建ててみ

つかりこじれ、家出や双方の反発等々、帰国者支援のボランティアも頭を抱える事態となる。もうもろの重苦しい事件の間を縫って、著者の分身と見られる人物が登場し、間接的に著者の胸中を語る。「これは私にとっての真実を伝えるための小説作品です。登場人物が傷つかないように、また反省の余地を残すために事実を重ねて、私の思いを書きました」と著者はあとかきで記している。「生き合おう」とへの著者の願いがこめられた作品だ。



センセは教室で

原田瑠美子

カルメン踊り (28)

強がとて新鮮らしく、今日は何かなことを勉強したと眼を輝かせながら、私にノートをを見せてくれる。

大工学校でも最前列に陣取り熱心に先生の話を聞き、得意の質問攻めをやっているらしい。だが、他の若い生徒たちは、質問どころか、おしゃべりばかりでうるさくてしょうがないといつも夫はこぼしている。そうした若者たちは、自分が本当に勉

外をウロつく日本人を評して、日本はソニー、ホンダにかわって『八流』の人間の輸出国になろうとしているのではないかと書いたそう。ロンドンで三年、サンフランシスコで二年、リュックをかついで三十数ヶ国を貧乏旅行した著者は「自分のような人間こそ元特派員が言う『八流』人間なのだろう」と思いつつ、「何かちがう」と首をひねる。そして、「一流」の人のルポよりも、「八流」人間に的を射たものになると信じてこの本を書いた、というわけである。

第一章「元祖」OL留学症候群の女たち、第二章「永住権」の女たち、第三章「人外をウロつく日本人を評して、日本はソニー、ホンダにかわって『八流』の人間の輸出国になろうとしているのではないかと書いたそう。ロンドンで三年、サンフランシスコで二年、リュックをかついで三十数ヶ国を貧乏旅行した著者は「自分のような人間こそ元特派員が言う『八流』人間なのだろう」と思いつつ、「何かちがう」と首をひねる。そして、「一流」の人のルポよりも、「八流」人間に的を射たものになると信じてこの本を書いた、というわけである。

強したくて大工学校にきているのではないらしい。工務店のおやじさんから、理論的にきちんとして勉強してこいと言われ、通って来ているようだ。

大工学校で勉強しているうちに、夫の夢は、またまたふくらんでいった。どうせ、勉強するなら、単なる大工で終わらずに、二級建築士の資格を取ろうということになった。そして、今年一月から、二級建築士受験のための講座に週二回通い始めることにした。

その二級建築士の試験を、七月の初めに受けるのである。夫は机の前に「試験まで〇日」と大きく書いて貼付け、好きな酒も断ち、受験勉強に没頭している。構造計算には、微分・積分などの数学が必要となってくる。大昔に勉強した数学など、全く忘れてしまっている。中学高校の数学の教科書や参考書で基礎から勉強し直している。

一つの問題を理解するのに、一日もかけて勉強し、一つの問題が解決したとあって、大喜びする彼に、私も思わず良かったねと拍手を送りたい気分になってしまふ。夫は、勉強して、こんなに楽しいものなんだと、最近しみじみわかったと言ふ。

夫は、学生時代はずっと劣等生だつたらしい。両親が教員でいつも勉強せよと言われ、勉強嫌いで成績はビリケツだったという。六十六年間の人生の中で今が一番勉強しているという実感があるとのこと。昔からこんなにならなかつたら、どんなに勉強が楽しかつたかと残念がつている。昔は劣等生だった夫も、今は優等生。大工学校の通知表はともにも良い成績で、今年入学式では在校生代表として挨拶をした。

本来、学ぶことは楽しいはずだし、いつになっても学べるというところを、私は夫を通して改めて痛感する。だが、学校では、生徒たちは、夫のような眼の輝やきをめつたに見せることはない。幼い頃から、知りたくなかったのに、たくさんの知識をつめこまれ、勉強の楽しさなど味わつたこともないのだから、どうやれば、生徒たちから知りたいなという好奇心や探究心を引き出すかが、教師としての最大の課題。そのためには、教師があまり教えない方がよいのかもしれない。

さて、試験日まで一ヶ月余りも今年不合格なら来年も、その次は一級建築士にも挑戦すると燃えている夫は、たぶんほけることはないだろう。

で、話は中ほど。おあとがよろしいよう。 (つづく)

(注1) 沖繩はもとと、琉球王国つてえ、れつきとした独立国家でしから、沖繩はある意味で日本じゃねえって申し上げた訳です。沖繩の人は自分達のことを「沖繩人(ウチナンチュ)」、日本人(本土・内地人)を「大和人(ヤマトンチュ)」とよびます。(注2) 沖繩では、お歳を召したご婦人、親しみを込めて「オバア」って呼びます。(注3) 沖繩口(うちなーぐち)で、「ムヌーカデー」と言います。生の武者修行をしながら自分をさがす女たち、の中で九人の女を紹介している。

どっこい 父子家庭 (6)

石井文夫

春になりました。パン屋の仕事は季節によって作る量がまったくかわります。九月下旬から五月下旬は本当にいやがしく、暑くなるとパンは売れなくなり、熱くなり全身汗びっしょりになります。体にはキツイ時期となります。

娘も中学二年になり、生徒会の副会長になりました。そういうタイプでもないと思っていたのに、考えてみれば親も親なのですが。

おもしろいのは、選挙運動。一年になったばかりでの選挙で、応援の子がダンスをおどったとおどっていたのですが、いざ自分が立候補してみると、クラスまわりで三年のクラスで、何かやってみると言われて、歌もおどりもいやで、「牛乳のイッキ飲み」をすと言ったそのクラスの「イッキ飲みナンバーワン」の対戦をペナルティー付きで

江東区 松岡青二

四月二十七日、クロム鉱さいの処理工事差止め訴訟の判決があった。もちろん住民側の敗訴に終わった。

裁判は終わっても住民運動に終わりはないと、私は思っている。

クロム公害を土呂久の谷のようにはならないと自分に言聞かせながら一八年間も走り続けてきたことを何故かおぼろしく思うこの頃である。

東京の地下鉄の駅前に巨大な公害のモニメントとして有害物質の墓場を残そうとする行政に私は必死になって反対してきたが、むしろ二〇世紀末の環境行政の形見として公園の下に公害の古墳を次の世代に残すほう

の他に家事援助(離婚後二年間)家賃の補助などもあり、母子家庭の場合は児童扶養手当(毎月二五、五九〇円、二人目五、〇〇〇円加算、三人目以下二、〇〇〇円加算)があり、母子寮や母子アパート、都営交通の無料パスなどがあるそうです。いずれも私には対象外です。児童育成手当以外、所得制限があり、すべて申請しないと支給されません。

税金については、寡父控除というのが二七〇、〇〇〇円あり、私の場合は税率は一〇パーセントなので二七、〇〇〇円まけてもらえます。

その他は、父子家庭だからという点ではありませんが、一定の所得以下での学校の就学援助という点で、給食費や教材費などが戻ってきています。

ともかく、私は転職したこともあって、年間所得もひくく医療費援助と就学援助があるわけですが、それでも働いていけばこそどうにか暮らしていけるもの、働けなくなれば生活保護となっていくしかありません。

まあ、行政がやってくれるのは、そんなものです。

一般的に、母子家庭に比べて父子家庭のほうが、経済的な困難は少ないので、男はだいたい働いて続けているので、また再婚も早いようなのだそうです。私のようにシングル・ファザーの生活もいざなあとと思う者にとっては、もう少し助けてほしいと思いますし、ましてや母子家庭のレベルにしても援助がひくすぎると思います。

男親に、女親がいて子供もいてという、フツーの家族というのは、モラルとしての強制だけでなく、経済的にも強制されている社会なんだと思います。

だから、家庭内離婚を続け、定年を待たずに離婚というケースが多いのだから、一度きりの人生をそうして過ごしていくなんて、なんともつたいないと思います。

私は、学生の時に元のつれあいで暮らしたのですが、金は本当になかったものの、べつにそれを苦しいと思ったことはありませんでした。学校に通いながら(アルバイトの収入で子供が産まれても、親にたよることもなく、どうにか生活できました。)

ところが、父子家庭になり、

そのぐらい、私達六〇年代の若者は今も過去を引きずって生きていくのかもしれない。

今年がサッカーのJリーグが開幕してそのファン気質が相撲や野球とよく比較される。

私も一度でいいからサポーターとして呼ばれる熱狂的なファンのように顔に絵巻を塗って豆腐屋の笛みたくの吹いて全てを忘れて酔いさせてみたいと思う。

でも、私の吹く笛はチャルメラのように物悲しい短調のメロディになってしまいかもしれない。

自分を語る

台東区 佐野知子

交流を読むようになって、4カ月になります。毎月様々な見識や経験を持った方々に文章を通して触れ合うことが出来、うれしく思っています。

初めて交流を読み終えた時、ただ漠然と、心の強い人が多いという印象を受けました。自分自身を確立し、それを保つていく強さを持ち、前向きに生きて

い。そして、みなさん自分の心の中の畑に思い思いの花を咲かせていらつしやる。読み始めて数ヶ月の私がこんなことを書くのは図々しいとは思いますが、確かに私はこう感じました。

しかし、私の心の中には私の花は咲いていません。私の心に蔓延っているのは、強がりの雑草ばかりであり、花ではないのです。他人へ、社会へ、自分自身へと虚勢を張って強がっています。そうしながらも、何もできない自分への焦りは募っていき、強がりがや焦りは私をどんどん後ろ向きな考えへと引っ張っていきます。

これから、まず強がりの雑草を抜き取り、外から沢山のものを吸収し、心の畑を耕して、いつかは私だけの強く輝いた花を咲かせたいと思っています。

マネージャー日記

(19) 危くピンクビデオに

鎌田千賀子

スカトロという言葉を知ったのはある台本を読んだ時のことだ。それは「Love」というタイトルのVシネマで、22才の女の子にきたのはピンク映画の女監督役だった。

Vシネマとはビデオドラマのことで、映画やテレビの様に公開や放送もなく、ただそのビデオを買った人(あるいはレンタルした人)だけが楽しめるというもの。だからその内容は過激でなければならぬ。今回の場合、シーン等の見せ場も必要とされている。

若い女の子がピンク映画の監督をするようになったら興味本意で貸る人もいるだろうし、専門用語もパンパン飛び出すわけ、そのかわりどきを狙っているのはよくわかったのだが、いくつかは私だけの強く輝いた花を咲かせたいと思っています。

らくがき

ますのきよし

「弱たしい女が泣き叫び、男が助けに来る」というパターンに代わって、女が男を手足にとる「悪女」ものや、敢然と恐怖に立ち向かう「闘う女」ものが現代映画の特徴だが、最近レンタルビデオ解禁になった「氷の微笑」は、完全犯罪の巧妙さでは「白いドレスの女」より見劣りがするし、オドロオドロしい犯罪心理のワザでは「羊たちの沈黙」に敵わないし、結局セールスポイントにはヒロインの気配という点になるだろうか？それだと、男向けにはウケても、

「今月のスペシャル」は次号から「今月の7人7色(セブン・セブン)」に改題しようと思いましたが、

女のお客さんは動員できない理由になるが、

「闘う女」ものとしては、シガニー・ウィバーのエイリアンシリーズ。ヒロインが丸刈りになる三作も好調のようだ。数年前、話題になった「テルマ&ルーイズ」は、彼女たちから拳銃を除けば何も残らない、という感じもある。少し古い、武器無しに、頭を使って男どもを次々にやっつける「ウィークエンド」の方が、作り方としては上等だったと思うなあ。

編後記

「今月のスペシャル」は次号から「今月の7人7色(セブン・セブン)」に改題しようと思いましたが、

確か彼女自身が脱ぐわけではない。彼女はジーンズにTシャツで淡々と仕事をしています。割り切っている現代の子である。だから大人のおもちゃを手を取って使方を説明したり、ホン・パン中は最も近い位置にいてその動きをカメラと共に追わなければならないし、そういうことが嫌味なく出来る人を探しているということだった。

マネージャーの仕事の基本には依頼がきた作品についてまず台本を完璧に読みつくして判断する、というのがあり、一番初めに台本を手にするのはマネージャーなのだから、この段階でダメなのはダメとはっきり断ることもできる。今回の場合、先方が急いでいたこともあって電話がかかってきた一時間後に会って話をし、台本を受け取って読み始める、という作業だった。その日中にギャラの相談もしたのだが、かなり低く提示されました。社内の調整してみましたが、と答えながらも心の中ではNGだな、思っていた。その日の夜は家に帰ってから再度台本を読み返し、全くわか

小室等のコンサート(チエルノイリの子どものために)

日時 7月5日(月) 6時開場

場所 練馬文化センター小ホール(西武池袋線・練馬駅北口1分)

会費 二〇〇〇円

連絡先 先々太 03-3923-6396 / 夜間 3925-2842

(他にカンパ送り先 干振替 東京01566972・チエルノイリの子どものために 呼ぶ会)



7月号 (No. 237)

1993年7月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)
〒165 電話(03)3385-2293
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。
◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送料をまかないます。

セブンセブン 今月の七人七色

食器の洗い方

藤沢市 名取弘文

明美ちゃんと結婚する前は、食べたまま流しに置き放しにしていました。で、次に料理をする時に洗う。これはいかに不潔なように思いますが、利点もあります。一つは、食器棚がいらないことです。あるだけの食器をフル回転しているのだから。来客があっても、余分な食器がないから、あるだけの物を使ってもいい。もう一つの利点は、洗ってしまえばいいので、いつも洗っての新鮮食器が使えることです。それから、最高の利点は、来客がなぜか洗ってくれてくれること。ウフフフ。

高知市 丸山篤子

毎晩、ビールでほろ酔い気分になってからの「食器洗い」は非常に苦痛。時々手がすべってお皿は割ってしまうし、という事で改築の時、食器洗い機を買った。それ以来、毎晩「ガツコンガツコン」と機械が洗っています。今や我が家一番の働き者です。

京都市 山下祐子

家事の中で「食器洗い」は、好みの点から中間くらいに位置しています。縫い物が好きで、料理はめんどうくさい。(クッキンクッパ)に対する劣等感と、その夫の不在時に子どもに食べさせねばならないという負担から、投じた努力に見合った成果が得られない。「食器洗い」は、気楽だけれどおもしろ味のない作業。これにとりかかるのは、シンクに皿がたまり、次の作業に支障をきたす直前です。15分、2食分たまったところかな。うちの場合、規則正しい家庭で、食生活を送っているのは、小2の息子だけです。高1息子は朝抜きで遅めの晩ごはんや夜食をとり、夫は深夜帰宅、私は三交替勤務。4人そろっての夕食後は、さすがに放っておけない量になるので、1食分でも洗います。

札幌市 ワタベユズ

ズバリわが家の皿(食器洗い)に係は小5の二女です。キッチンマスコット(知ってる?)という固形石鹸とスポンジをそして、ふんだんに湯を使っ、コップの曇りや皿の汚れの取り残しなど意に介さず頑張ってくれています。われらも長期的視点に立ち、暖かい眼差しで見守っております。一応は、ハイ。

杉並区 野村康子

「アラ!どうなっちゃったの、その手?」
「……夕べ、後片付けして切っちゃってね。」
「マア、お皿洗いもするなんて、奥様は幸せね。」
1年に1べんよりもっとたまに食後の後片付けをしていると思つたら、皿を割って血が噴き出し、救急車騒ぎ。翌日、白い包帯も痛々しく出勤した夫にワラワラと女性が集まってきて同情することしきり。

世田谷区 加藤和成

物になるべく少なくする為、銘銘、大皿に盛りつけている。それぞれが使った食器位自分で片付けたいのだが、私のペースで台所を使いたいのでは、忙しい時、外出時以外私がつばらやっちゃってしまふ。

皿は、重ねないようにし、残っている汁は、犬の鍋に、油のついた皿は紙で拭き、茶わんを水につけておく。「偶数かナ」と確めながら箸を洗い、油ぼくな食器からドンドン洗ってカゴへ、そしてコープの水は、しょうゆをスポンジに、二滴垂して鍋を洗う。布巾で拭いて食器棚へ。「終った」とため息をつく。

食器洗いも家族全員揃っている時は、一度で終ってしまうが、食事の時間がバラバラな日は、洗ったり、拭いたりを五回位繰り返す。私が朝起きた時、汚れた食器があると不機嫌になるので帰りの遅い夫は、片付けて寝ている。

お金を貯めるのは好きだけれど汚れ物を貯めているとイライラする。(まわりの人はほとんど病気と知っている)洗濯機は一日三、四回まわっている。奇麗いに洗濯物が濡れている。洗い終わった食器を水切り籠に水平に重ねてしまったら水を吸っている。頭で納得している。いかに「を」をどう体にも納得させるか、今後の重要な課題です。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

ところで、反主流派が、食器を重ね、それを水をはったボウルにドボンと漬けてしまったら洗い終わった食器を水切り籠に水平に重ねてしまったら水を吸っている。頭で納得している。いかに「を」をどう体にも納得させるか、今後の重要な課題です。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

なほ、日頃私に口にもきかない娘は主流派。テレビをかけるながら「ジャンプ」を読む息子は反主流派の流れに乗っているようです。

栗野市 しらかわかずこ

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

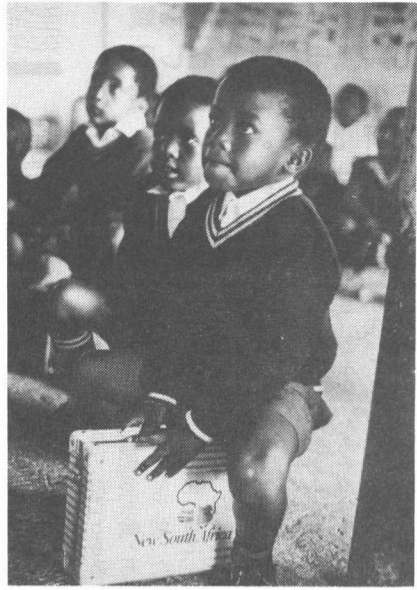
「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

「食器の洗い方」から私の性格が見えてくるようでちょっと恥しい。我家は七人家族、洗

写真展 「南アの人々」 長野市 桜井卓児



その少女は歳の頃なら四つか五つだろうか。くりっとした瞳をしてるのに、なぜか不安げなようすだ。自分一人では到底抱えられないほど大きな金だらけに向かっていた。小さな手を泡でいっばいに洗って。

「名前は何ていうの」「お母さんはどうしたの」かたことの英語でいくつか尋ねてみた。けれど少女は洗濯の手を休めないうで、上目遣いに黙って私を見つめるだけだった。

九十二年十月、日本では秋冷を迎えるこの季節、私は春真っ盛りの中アフリカにいた。行政上の首都プレトリアの近郊。白人政権によれば「不法居住」となってしまうスラムで一夜を明かした朝だった。

その時は「しめしめ、これだ」と心の中で叫んでおむろにカメラを構えた。「ちょっと写真を撮らせてね」と早口の英語で言っバシバシとシャッターを切った。少女の表情はますます陰鬱になっていくのが分かった。でも撮り続けた。

南ア・白人政権のデクラーク大統領がアパルトヘイト廃止宣言をして一年余。黒人の暮らしがどうなっているのか知りたくて、一人で南アへ渡った。日本のNGO(民間援助団体)の駐在員の全面的な協力で、トラン

スカイ・ホームランドの農村なども訪問した後だった。農村でも都市でも、そこに生きる黒人たちの強かさ、エネルギーに圧倒されていた。子供の輝く瞳も心に焼きついていて、そんな彼らを写真に納めた。

れどやってくれないか」V・マトムという写真家を紹介されたのは二度目だった。出国前に別の知人からも「会ってみたい」と勧められたが、連絡がとれずに会えなかった。

アパルトヘイトの抑圧が激しかった数年前までは、黒人にはカメラを買うほど経済的に余裕がなかった。また、写真の技術を学ぶこともままならなかった。

ある人の話だと、黒人はいつも欧米や日本からくるジャーナリストが撮る黒人たちの写真に疑問と憤りを持っているという。「なぜもともと本当の私たちを撮ってくれないの」と。

スラムで会った少女の瞳はこの怒りを物語っていたのではない。私たちが日本の市民はこの怒りにどう応えるのだろうか。白人の言葉と英語とカメラでズ

カズカと踏み入ってくるジャーナリスト、市民運動家。かえって日本や欧米の市民が南アから学ばなければならぬ。南アの人々や講演会、交流が展覧会する。マトムさんは南アの黒人では数少ないプロカメラマンだ。彼は五十九年、最大の黒人居住区ソウエトで生まれた。新聞に写真を提供する一方、黒人居住区のアレキサンドラにある美術学校で写真を教えていた先生でもあった。

身長一七〇センチもあるが、つしりした体格。いつも笑顔で握手をするとき力いっぱい握ってくる明るい人物だ。南アで生きる女性や子供たちの日常生活を撮り続けている。黒人が自らを被写体とした貴重な写真が日本で公開される。

彼は九月まで長期滞在する。八月中、下旬の東京新宿・ミノルタホールをはじめ、広島、北九州、神戸、大阪、京都、札幌、釧路、名古屋、松本、横浜の全国十一都市で写真展「南アの人々」や講演会、交流が展覧会する。マトムさんを迎えることに少しも南アの人々との距離を縮めたい。そうしたら、あの少女と話ができるかもしれない。

三月末のある日、南ア渡航の際に世話になったNGOのスタッフから不意に電話があった。「南アから黒人の写真家に来る。全国で写真展をやりたいんだけ

末期の肝臓ガんで、病院を5回も逃げ出した佐藤松生さん(仮名)も病状が悪化して、逃げる体力もなくなっていた。そんな折に病院の医療ケースワーカーが、体の不自由な彼の妻に告知するので連れてきてほしいとの連絡があった。ヘルパーさんの業務外の立ち合いの仕事だったので、日時を決めて私が立ち合う事にした。

マネージャー日記 (20) 週刊プレイボーイと 鎌田千賀子

なわけ、結局グラビア関係にあたることになった。週刊プレイボーイとは去年からのつきあいで、編集担当者も本人のことをよく知ってくれているし、こちらから提案してみたいところ先方はかなり乗り気になってくれた。

グラビア撮影はカメラマン、ヘアメイク、スタイリストとたいていの場合タレント側で指名が出来る。今回は希望したメンバーとのスケジュールを合わせることができたので、とてもラッキーだった。メンバーは、編集者、カメラマン、カメラアシスタント、ヘアメイク、スタイリスト、タレント、マネージャーの計7人である。

コンサートが決まってから、宣伝をどうやって行なえばいいか、頭を悩ませていた。テレビ、ラジオ、活字と媒体はいろいろあるが、タレントが23才の女の子なので当然対象は若い男の子性のない心ない言葉を言っていた。すると彼は、

「心が入っていない言葉は、何の意味もありません」といってベッドの上でむこうを向いてしまった。私はどうもできなくて座ってリングをむいたが、彼はふりむいてはくれない。その日はそのまま帰るしかなかった。2回目は、うってかわって彼の訪問をとても喜んでくれた。前回の事をわびる私に、「そんな事言いましたか? 今日はずいぶん長い時間、いろいろな事を話しましたよ」といって下さってスペイン旅行の話や、昔の横浜の話をしてくれた。

私は、小一時間程いて思わずむくんだ彼の足や、点滴の跡の痛々しい手をさすっていた。その置かれた。松生さんの仕事の関係者からだと、生きているうちになんでもっと援助してあげなかつたのと私は、花にむかって思っていた。

後日おみやみに行った彼らの家には、ところせましと白い花が置かれていた。松生さんの仕事の話や、昔の横浜の話をしてくれた。私は、小一時間程いて思わずむくんだ彼の足や、点滴の跡の痛々しい手をさすっていた。その置かれた。松生さんの仕事の関係者からだと、生きているうちになんでもっと援助してあげなかつたのと私は、花にむかって思っていた。

奇り添う程の事は決局できなかった。それからはなるべく具合悪い人の肩をもんだり、さすったりする様になった。(嫌がらない方にはしませんけど)あと、まっすぐにその人と向きあおうと思った。心にもない対応はすまいと、本当に松生さんに教えてもらった。

タレント本人を含めた事前の打合せは4回にも及んだ。そこではまず今回のテーマを決め、シチュエーション、外で撮るか内でも撮るか等かなり具体的に決められた。綺麗なというテーマと、サパンでのロケ、下着は付けるけれど部屋着っぽいものにする等、カメラマンが持ってきた写真を見ながら本人がとるポーズまで念入りに話合った。昨年(彼女を私が担当する翌期)に行なった同じ雑誌の撮影では打合せが不十分だったそうのでロケ先でもめんどろが発生し、タレントが大泣きするという事件があったらしい。今回はそういうことが無いように、露出に関するは本人の口から出来ることと出来ないことをはっきりさせた方がいいのではと思っていた。

老い方 いろいろ 川崎弘子



「家に帰して差し上げたいけれど、私は看病してあげられない。このまま病院にいらして欲しい。せめて散歩でもしたいですね。とくりかえし松りかえし松生さんはつぶやくように言っていました。」

「ねえ川崎さん、信じられませんか。松生さんが死んでしまっている。こうして今あの部屋のベッドの上でねむっているのにな。と病院の長イヌにこしかけて、2人でぼんやりと陽を浴びていた。私は、なぐさめる言葉

週刊プレイボーイの通常のグラビアは6ページから7ページ早朝・夕方・午前中いっぱい時間をすれば10時間程度の仕事で、後はひたすらお酒を飲みながらトランプ大会となった。通常の仕事のことやいつまでも進まない恋愛のこと等すっかり忘れてこの4日間は久々の骨休みにもなったと思う。

私流・沖縄考

その(2) 平井隆行

うちなーんちゅ(沖縄人)はびつくりする程宵つばり。仕事を終えて、家でシャワーと夕ご飯で、9時くらいから、ネオン街へ繰り出すって人が多い。で、那覇のメインストリート・国際通りは、『オリオンビール』(注1)と『泡盛』(注2)でいい気持ちになった人達で、遅い時間になるほどにぎやかです。

あつしはね、大して強くもないくせに酒つてやがが好きでして。遅くまで飲んで、あ、人の家に泊めていただくなんてことが少なくありません。

実は先日、東京・芝浦にある親戚の家に泊まった、そんな翌日のことなんですが、あのあたりは大きな会社があつて、田町駅からの人の波は、ちよつとやそつものもんじゃありません。暑いのに背広をキチッと着込んだ大勢の勤め人と対面通行で歩く私は、まだ少し酒の残つてる顔して、朝帰り「すし、うしろめたいような恥ずかしいような。私が4年間いた北海道は余市でこんな顔してたら、とたんに、野良仕事してらおじちゃん・おばちゃんから「朝から御機嫌さんだね」なんて冷やかされちゃいます。

ところが、この勤め人達ってのは、私のことを、馬鹿にした顔も哀れんだような顔もしてねえ。疲れた顔・眉間(みけん)に皺寄せた顔・苦しそうな顔・能面みてえな無表情……。こんなには凄いなあ、いらつしやるんですが、険のある、こわばった顔で、ちつともいい女に思えねえ。百や千て人とすれ違っているのに、朝にふさわしい「すがすがしい、いい顔」つての、ほとんどお目にかかれねえんでございます。

都会に来れば、勤め先や家庭でよつぽつれえことがあるん

りて癖に、人付き合ひのわずらわしさを嫌って、「キレイな関係」を選んでしまう。でも、ニコニコしてばかりじゃなくて、汚え所をぶつつけながら怒つたりもするのがある。人たる由縁で、それをいさめるのはこりや神さんのお役目だと思ふんでございます。その偉い神さんが私達、愚かな人間に、楽しくやれよ、ってお与え下すつたのが「酒」じゃありませんか。飲んで食つて、四方山語つて、三味線(さんしん)に合せてカチャーシー踊りやあ、心はほんわか、顔はこつこつ、お山は快晴、おけがなくつておめでたい。というところで、話の中ほど、おあとがよろしいようで。(つづく)

(注1)オリオンビール…つい2年前までは沖縄でしか買えませんでした。最近では大きなデパートへ行けば、大抵買えるようになりまして。私はこちらでい

ますのさんにホステス時代の話を書いてほしいと言われたので書きます。もつと政治的な事を書きたかつたんですけど、どうもホステスというのめづらしいみたいで、「交流」の読者の人達なら、みんな政治的な意見は持っているだろうけど、ホステスやってた人というのはあまりないでしよう。

ホステスといつても私の場合は、スナックのねーちゃんみたいなのが主で「銀座のプロ」もしてみたいなあ、と思ひながらやらずに終わりました。もともと大学に通いながら自活するためのアルバイトで、他にも「家庭教師」「結婚式場のみこさん」

はじめに勤めたのは、小さな

の米焼酎で、うちなーんでは「島酒(しまさき)」とか「しまー」と言います。タイからの輸入米を黒麹で発酵させた蒸溜酒です。どうして「タイ米」かと言いますと、値段が安いと言ひます。とあるんでしようが、日本の米ではあの独特の香りが出ねえんだそう。それに17世紀に薩摩藩に武力侵略される前の「大航海時代」から、琉球王国はアジアの国々との貿易で栄えていて、日本よりも他国とのつながりが深く、言わば歴史的にタイ米を使つていたのでございます。

(注2)泡盛…簡単に言えば沖縄

スナックですが、その前には私

ホステスが席につく店なので、お

客さんと話す以外にすることが

自分語り(5)

札幌市 三木明子

住み慣れた茅ヶ崎から、偶然にも郷里の札幌へ移り住み、2ヶ月半が過ぎた。結婚前は、「知恵遅れ」と呼ばれる人々と起居を共にする事が仕事であり、生活だったそれが某自動車会社で車のデザ

BOOK紹介

岡崎勝著「極楽トンボの教師術」風媒社/一六四八円
本紙にも連載を書いたおなじみの著者の最新刊。中でも面白いのが第四章「困つた親と「間合」と言う時、それは、職場の

学校社会をつらぬく最強の定義名分ともいえる「子どものため」に對して著者は「自己愛」を掲げ、戦術の基本は「ゲーム感覚」だと言ふ。彼が「労働組合」と言う時、それは、職場の

なくならぬ。だって、時給は決まってるし、客に対して興味がある事といえば「チップ」をくれるかどうか、しかありません。本物の「純情」とはこういうことだ、と私は思います。

「子どもデザイン室」は口コミで拡がり、かなり知られる存在になつていった。夫は本を2冊出版させていただき、私は地域の人々と協同で児童保育所を誕生させた。申し分ない茅ヶ崎での丸9年間であった。さて、これからの札幌でどういう出会いがあり、何が待ち受けているか全く？である。我ながらドラマのような実生活に、少々気疲れしつつも一度しかない人生、大担に正直に、これから先も自分探しの旅を続けたいと思つて

マン・ウォッチング(1)

byホステス

大田区 ほしだみか

ホステスが席につく店なので、お客さんと話す以外にすることがないのに、その場で初めて会った人と話すこともありません。一日で私は「お客さんは若いきれいな女の子」とお近づきになるために来るわけではなく「接客されるにきているんだ」と悟りました。「男は誰でも若い女の子を口説きたがっている」

た。「子どもデザイン室」は口コミで拡がり、かなり知られる存在になつていった。夫は本を2冊出版させていただき、私は地域の人々と協同で児童保育所を誕生させた。申し分ない茅ヶ崎での丸9年間であった。さて、これからの札幌でどういう出会いがあり、何が待ち受けているか全く？である。我ながらドラマのような実生活に、少々気疲れしつつも一度しかない人生、大担に正直に、これから先も自分探しの旅を続けたいと思つて

多数派でもなければ1割でもない、1、2名のものを指す。「民主主義などという実態はトーフのようなもので、形は立派だが、いざとなるとフィヤフニヤで、誰一人として、それを死守するなんてことはしない」と考ふる著者は、「自分の周囲を五メートル四方の空気」をおいしくすることが最初だと言ふ。(彼は愛教組をやめ、ASCUという独立組合を結成した)

昔、「保守対革新」という単純二元論で世の中を割り切れた牧歌的な時代もあったが、これからは、教育にかぎらず、岡崎流人生術がカッコよく見える。

「杉山亮著「ぼくは旅にでた」/径書房/一九五七円
誰でも俗な部分と詩的な部分

共存在している。長瀬で木の玩具を製造販売している著者は、並の人に比べればずっと詩的な割合の高い方だろう。そんな彼でさえ、平和な家庭の中でフト「罨」を感じることもあるのだ。そして、サックに一人用のテントを詰込み、一ヶ月の旅に出る。芭蕉や西行にはなりきれないが、清里、金沢、富山、上高地…と足にママを作り、雨に濡れながら歩き続ける。総費用7万円。野宿21泊、そこそこの充実感と強くなった足と、少し引込んだお腹を土産に、二人の幼児と妻の待つ家に帰る。罨から出てはいないが、罨の外をのぞいたと著者が呟く旅の、これは気取らない記録である。

気分はラフコール (32)

福島瑞穂



母「ではないですか」と言っても顔をひきつらせて、冗談も通じない。「PTAにしろれたらどうするか」ということだけで頭がパニックになっている。これはつい六年くらい前の話だ。彼女は、子育てはフィリピンですることを決意し、解決和解金を手にし、フィリピンに帰っていった。

一九九三年六月三日は、本当に、本当に嬉しい日であった。東京高等裁判所が、婚外子が婚内子の法定相続分の二分の一と規定した民法九〇〇条四号但書の規定は、違憲だとはっきり言ったからである。

しかし、結婚外で子どもが生めるということはやっぱりいいではないか。日本の婚外子の出生率の低さは、日本において、婚姻外性交渉が少なくを意味しているのではない。

これまでに、国会の様々な委員会、子どもの権利に関する条約(突然の解散で、この時点で批准については廃案になっている)についての答弁を読むと、そのあまりのひどさに絶望的な気持ちになっていったのに、気分はハレルレ、まじめに弁護士をやろう、きちんと裁判をやろう、「問題提起型裁判」でなく絶対的に勝つんだという気分がフツツとわいてきた。

家庭のなかでの空洞と売買春性産業の隆盛は、好対照をなしている。結婚してこんなものという考えが「家の中に仕事とセックス」はもち込まず、結婚をすつと逆にカッパルで性交渉を減らしてしまおうことと会社などが減らしてしまおうこととも好対照だ。

法律という武器を手にして、社会は変えられるという確信を持つことができて、大げさに言うに涙が出るような気がした。

似たような事件を担当したこともある。あるフィリピン人の女性が、大学で英語の講師をしていたが、中絶を恐れ、「未婚の母」になった。すると、大学側は、契約更新拒絶をしたのである。カトリック系の大学なので交渉のときに、あれこれ言い、「聖母マリア」も「元祖未婚の母」ではないですか」と言っても顔をひきつらせて、冗談も通じない。「PTAにしろれたらどうするか」ということだけで頭がパニックになっている。これはつい六年くらい前の話だ。彼女は、子育てはフィリピンですることを決意し、解決和解金を手にし、フィリピンに帰っていった。

全国的にソープランドがあり、テレクラがあり、一流ホテルと言われるところでも歴然と売買春が行なわれている。婚外子の出生率は低いのに、結婚内と分けること自体ナンセンスなのだが、公然と行なわれ、売買春も社会のなかで公認されている。

「居酒屋の加藤周」(2)という本を読みました。加藤周氏がエイズについて話している部分で、加藤周氏の書いているものを少しづつ読みかじっていた頃は「加藤さん、なかなかすごい」と尊敬していたんですが、まとめて読んでみると、ベラベラストとしての限界がはつきり見えてきました。とはいえ、氏の出自は医者でもあり、エイズなどについて語ったりするとやはり鋭い。

国会の委員会では、役人や国会議員は、相続というのは、六〇歳とか高齢になって生ずるので、婚外子への差別は、子どもへの権利に関する条約が禁ずる「出生」による差別にあたらぬと、か法律婚を保護するために仕方がないといったものばかりだかかえていいる。

日本の社会の本音と建前の区別、建前さへ二心ちゃんとしていれば(たとえば、婚外子を作らなければ)、二人の間に愛情がなくても、会話がなくなっている、不和であろうが、表向きはヘッチャラという構図がすけてみえる。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

でもそんな時代は、はつきり終わりを近づけた。建前と本音のギャップに多くの女性たちは耐えられなくなってきた。耐えなくてもいい力を少しずつ手にはじめていく。婚外子の出生率も少しは上がるのではないか。

リレー・エッセイ 不安な医療

(2) 山田真

「居酒屋の加藤周」(2)という本を読みました。加藤周氏がエイズについて話している部分で、加藤周氏の書いているものを少しづつ読みかじっていた頃は「加藤さん、なかなかすごい」と尊敬していたんですが、まとめて読んでみると、ベラベラストとしての限界がはつきり見えてきました。とはいえ、氏の出自は医者でもあり、エイズなどについて語ったりするとやはり鋭い。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。

「悪いこと」だからと指摘するのは、それ、違うことが悪いとされる価値感の背景には、高度に個人が組み込まれた共同体の存在があるからと加藤周氏は云います。



6月17日、心不全で母が85歳の生涯を終えた。不肖の息子のぼくに母は反面教師だった。だが、あの言えぬ死顔を見れば哀れを感じて涙が止まらず、カゴの花を顔の周りいっぱい埋めつくした。しかし一方、よく母から自由になった、という解放感もある。

武蔵野市のヤングミセスセミナーで「あなたの反面教師は？」をテーマに話し合ったら、参加したほとんどの「母」たちが、自分の母を反面教師に挙げていた。やがて、彼女たちもまた、その子たちの反面教師になるのだろうか？

原田さんは多忙のため今月はお休みです。

交流

◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをしてる人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

8月号 (No. 238)

1993年8月10日 (毎月10日発行) 1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)
〒165 電話(03)3385-2293
郵便振替 東京 4-51709

セブンセブンの今月の七人七色

太田区 たじりけんじ

パンツには山ほどの思い出がある。

こないだ社内の便所が部長とつれション。おまえズボンまでさげるんか!?かわつとな。

これには深いワケが……。学生の宿のころ、前と後ろそしてウラ返してと計4回はいてからおもむろに洗たくして。後ろ前にはくと、小用をたすときどうしてもズボンをさけないとできない。若いころ身についた習慣は怖い。

さすがに今はないが当時のパンツ、10年はかかると。ジーザ(メーカ)のエジプト綿のとてもいい、かわいいやつだった。

結婚してある日のこと、かみさんの実家におじやました。なんと山と積まれているではないか、まだほけそうなパンツが捨てられようとして、聞くとお義見さんのはきふるしだという。早速、かみさんからお義母さんについてもらうことに。「けんじがこれほしいといてるんでらうっていくよ」と、「あら、いやネ」といながらお義母さんははいねいに紙袋に。

ぼくのはひかくの大きいうえにしようちゅうハラしているの(?)トランクスだ位置が定らずハナハタ落ちて着かない。それでプリーフを。



るのもよくないという説もあり、一時はコッテ薄地のびるパンツで、あそこはノビノビしかもはみ出さずというスグレものをデパートでみつけたたりした(ただしとても高く続かなかつた(け)。ふんどしのためしてみたいが(ほくがしているのをみたことある人もいると思うけど)、ヒモで結ぶところがイマイチなのである。

そしていまは、ひかくの大きいくはなくなり(ちぢんだ?)、ほとんどハラさないので、なんとなくふつうのパンツ(イトヨ一力堂で3枚980円)でおさまっている。

京都 味沢道明

まあパンツなんて人様にあまり見せるものでもないから、一人だけの秘めごととして、ウフと喜ぶのがいいのではないかしらん。とはいもの、私は美術品として楽しめるような肉色をめざしている人なので、上野千鶴子よろしく、肉体を見せるためのパンツについて語るのもいいかね。

保谷市 川村まゆみ

下着とくればハダカ。風呂上がりなんかに我身を鏡に写して「ウーン」とうなってみたりする頃、美しいって何か、と思う。

友達の間には「年とってウエストなくなるのは当り前、タレオシリのどがが悪い」といふ人がけっこういる。一理あるとは思いつつ、言い訳がましい開き直りを感じるの何故かな。確かに誰かの、何かの規準に合わせた美しさを追って、キツイ下着に身を包む気はしないし、脇の肉まで寄せて上げてオッパイつくって、何かいいことあるのだろうかとも思う。

でも、それは別に、たとえ「バヨガとか整体なんかでいう、美しさっていうのがあると思う。身のこなしの美しさと言ってもいい。

どうしてそれを美しいと感じるのかなんて考えてみると、やっぱり、身体をバランスよく使ってあげてからじゃないかと思ふ。どこかにシワ寄せがいくような、一部にお肉が余るような偏った使い方は、身体に對してあまり親切ではないよね。

こんな風に考えるのも、仕事柄病人と接することが多いせいかな。本人が「楽だ」と思っていることが、身体にはありがたいことだ。結構多いもの。ま、とにかく、下着は素肌を包むもの。木綿でしめつけない、敏感のいいものなら、冬は暖かく、夏は涼しいに越したことはないし、できれば人に見せる楽しみもちょっとはあるオシャレなものがない。

ながくなると考えると、やっぱり、身体をバランスよく使ってあげてからじゃないかと思ふ。どこかにシワ寄せがいくような、一部にお肉が余るような偏った使い方は、身体に對してあまり親切ではないよね。こんな風に考えるのも、仕事柄病人と接することが多いせいかな。本人が「楽だ」と思っていることが、身体にはありがたいことだ。結構多いもの。ま、とにかく、下着は素肌を包むもの。木綿でしめつけない、敏感のいいものなら、冬は暖かく、夏は涼しいに越したことはないし、できれば人に見せる楽しみもちょっとはあるオシャレなものがない。

藤沢市 三尾キリコ

私は子どものパンツより小さいパンツをはいている。おとなの女の子は小さいパンツをはくのは、健康にも外見的にもよろしくない。腰のあたりが冷えるし、いつのまにやら尻がヒートマン尻になるのだ。(腰痛と尻の下方がふくらんで真ん中がへこんで、というやつね)だから「良いパンツ」とは尻をすっぽり覆うおぼさんパンツなんだけど、でもやっぱり尻の大きさそのまのパンツははく気がならないよね。特に私の10代後半から20代にかけては、ヒップジョーンズスタイルの、また上の短いジーンズが流行りだつたもので、パンツはそれより短いやつじゃないといけなかった。

当時、この小さい女の子のパンツをはいている男もいた。小柄で中性的な少年だと結構色っぽくて私は好きだった。プリーフのように伸びる素材は、男モノでも女モノでも好きじゃない。買う時には「伸びない生地」のパンツにするね。それと、お尻のほうに絵柄のあるのがいい。小さい女の子がこういうのをはいているのって可愛いから、娘のパンツもお尻にクマやウサギ柄のおぼさんのピーマン尻にウサギは可愛くないが、他人に見せるわけじゃない、パンツ選びは、あまり着るものに金をかけ

豊島区 大越将良

ズバリ私はトランクス派である。なんと云っても、この風とおしの良さは捨てがたい。今の時期なら、ショートパンツにTシャツで自転車に乗る時の、まるで何もささる物がない(実際ダイレクトなのだが)風があたる快感。人とすれちがう時に、少し気にはなるけど、ミニの女性の自転車ほどに刺激的ではないはず(と男の私は思うけど)そんなんでしよう。

相模原市 浜野多江子

だいぶ前の社員旅行のときでした。私より少し年長の女性と恒例の宴前に、温泉場へ向いました。その方は、日頃からオシヤレというより派手を服装を好み、職場でも目立っていました。その日も、たか社員旅行なのに、ブランド物の目のさめるようなまっ青のコートと、黒のニットスーツでお出まし。派手な格好でも気のいい方で他の同僚三、四人と脱衣を始めました。なんと、黒のニット/同性ながら、ドキッとした。それまで軽口をきいていた私ですが、一瞬どんな顔をしたことやら。そうか。オシヤレを意識する人って、インナーもちゃんとアウターに合わせるのね大人の世界(もう充分大人?)つもりだったけど)を充分聞いたら少女のような気持ちでした。その後の宴会では、彼女のランジェリー姿がチカチカして。やっぱりいるんですね。黒のランジェリーをく日常的に着用する方が。私なんかは、せいぜいピンクがブルー止り。

出先で急病で病院にかつき込まれた時に見苦しくない程度は心掛けています。ウチの亭主が何回も救急車のお世話になっている姿を見ているので、私がかもしそうな時、一刻も争う真剣な処置の場で、キティちゃん(の絵がついたショーツ(この年のパンツのサイズはないかも)をはいたら、看護婦さんにウケるかな?そういえば、老いても下の心配はないという俗信に従って、いつかの申年に「申」と大書したパンツを母にあげたけど、まだしまつてあるかな? ◆

中野区 ますのきよし

子定した原稿が締切り過ぎて届かないので、セブンセブンをつらぬくためにほくが書く。小学校の頃まではトランクス派だったけど、いつからプリーフ派になったか、記憶が定かでない。夏、家の中ではプリーフの上に濃い色のトランクスを穿くが、トランクスだけだと、所ジョージのCMみた、スー!スー!する感じが、高校の時、仮装行列で男子が皆、女子のセラーを借りて着たことがあるが、あの時のスカートの感触と同じで「涼しいけどスー!してやや不安」というところ。

(編集部より) 次号のセブンセブンは、ちよつとマジメに、私の政治改革案です。

4Pには少しほどの案も書きましたが、これはほんの一例。結局選挙民が少し賢くなるしか政治が変わる道はないんですけどね。

でも、部屋掃除のメイトさんは、ひんしゅくしたんだろうね。「だから日本のオジサンはイヤね」と、またもや日本の評判を落としてしまつたかなあ。

中野区 ますのきよし

子定した原稿が締切り過ぎて届かないので、セブンセブンをつらぬくためにほくが書く。小学校の頃まではトランクス派だったけど、いつからプリーフ派になったか、記憶が定かでない。夏、家の中ではプリーフの上に濃い色のトランクスを穿くが、トランクスだけだと、所ジョージのCMみた、スー!スー!する感じが、高校の時、仮装行列で男子が皆、女子のセラーを借りて着たことがあるが、あの時のスカートの感触と同じで「涼しいけどスー!してやや不安」というところ。

でも、部屋掃除のメイトさんは、ひんしゅくしたんだろうね。「だから日本のオジサンはイヤね」と、またもや日本の評判を落としてしまつたかなあ。

でも、部屋掃除のメイトさんは、ひんしゅくしたんだろうね。「だから日本のオジサンはイヤね」と、またもや日本の評判を落としてしまつたかなあ。

でも、部屋掃除のメイトさんは、ひんしゅくしたんだろうね。「だから日本のオジサンはイヤね」と、またもや日本の評判を落としてしまつたかなあ。

でも、部屋掃除のメイトさんは、ひんしゅくしたんだろうね。「だから日本のオジサンはイヤね」と、またもや日本の評判を落としてしまつたかなあ。

マニ・ウォッシング byホステス (2)

大田区 ぼしたみか

この店は某食品メーカーと某損害会社のお客さんが多かったのですが、この二つの会社の社風の違いにも残酷なくらいのものがありました。どちらの会社も誰でも知ってるいわゆる一流企業なのですが、損保に比べるメーカーはもうがくつと下品で、どちらの会社かは、社員バツジなしで一人でも来てもらわぬくらい、はつきり「階級が違う」という感じがした。でも階級が高ければそれだけ「いいか」というとそうではなくて、損保の男性達の、まちがってもルートからはずれたコトはしませぬ(恋をしたとしてもスナックのねーちゃんとは絶対結婚しないだろうなあ、という感じ)という様子は、イヤミでもあるんですけど。特にOLの差は大きく短大卒の損保のOLが「きちんとしたお嬢さん」という感じなのに高卒のメーカーのOLは「しつけとっていうものを受けたのかねえ」という感じ。冗談だ、って、共通には使えません。「笑い」というものは、社会的なものなのに、相手の属性に合わないとか笑わせることではできないのです。会社によってはつきり特色があるのには、社内ですこししている

うちに似てくるせいもあるだろうけど、会社というものの自体が同じ社会階層の人達の集まりだからだとも思います。某メーカーのお客さんに、今でも印象に残っているカップルがいます。中年男性と25歳の女性のカップルで、いつも二人で来ていました。この女性と男性が、若いのにすこいばつていて、女王様みたいなお嬢さんという感じがして、男性の方は「私は下僕です」という態度で、いつも彼女の言う事はすべて正しく、べたべたしてくる、という顔をしています。変な二人だなあ、と思っていた私にも、一回か会おうちに事情がみこめてきました。この二人はいわゆる不倫の関係で、女性側の浮気相手なのです。そして彼は同じ会社のOLである彼女を、お金もあげない、結婚する気もない、かわりに、おだてておだてておだて上げて、何年も恋人にしているのです。とうとうと自慢話をする彼女に感心してみせる相づちをうながながらも、私は彼女がかわいそうでした。ありませんでした。だって高卒のただのOLの彼女はもう25才。あつて、ハデなドレスを着たおぼさんたちが働いていました。

ぼしたみか



容姿は下降の一端をたどっています。実質が伴わない自信があつた態度には、若い男性は逃げたでしよう。いったいなんで一人の女性をこんなにしてしまったのか、と私は腹をたてた。だが、相手の男にしてみれば安い買い物といえます。若い美しい女性の一ふくみくみ、言葉だけで自分のものでできるのだから、彼はとても愛想のいい男で、三枚目ぶっていましたが、難しい話をしなくてもわかるほど頭のいい人でした。会社の同僚がたたく来る店に、堂々と愛人を通してくるのを見て、やり手であることばかりです。プライドの塊の彼女は、別れる時にもゴネにくく、そしてまたたくうまいやり方です。彼には家庭もあり、彼女と別れてもみつづける第二の彼女を会社でみつけられるでしょう。そして彼女は、風船のようにふくらんだプライドをかかえて、同僚の女性は年下ばかりになった会社で、一人でも放りだされるのです。(注:これは12年前の話。その後状況は変化しているが)「体を金で買う男」より、「人生を言葉で買う男」の方が、よっぽどタチが悪いと私は思います。大学卒業後、就職もせずにインドに旅行に行つてしま、帰国後は千葉の京都の、人のうちにくらりこむたびに現地で働いてみたりしました。当時(十年前)の千葉には、まだグランドキャバレーというものがあつて、ハデなドレスを着たおぼさんたちが働いていました。

とにかくホステスの平均年齢が高くて「養老院みたいだ」という印象を受けました。四十才なら若手のおぼさんホステス達と、普通の仕事はまず無理だと思われない若いヘルプ達がおりにすおぼらかな世界は、私には向きませんでした。なかなか貴重なものがあったと思つた。当時すでに斜陽だったグランドキャバレー業界は、その後も衰退の一端をたどり、現在はほぼ全滅しています。

その後は編集プロジェクトに入社し、ろくろく仕事もせずに一年で辞めてしま、ニューヨークに行きました。ニューヨークにも日本人相手のクラブがあり、そこでも働いてみましたが、何軒か面接に行つたけれども、どこも時給は\$10(協定価格)といったところでした。「服」ではなく、ドレスを着るのです。も深夜のタクシー代も自前で、日本と同じ仕事をやらなければならない、条件が厳しい。\$10といえ、東京なら、普段着で「バイトです」つてやつてもらえる金額なのに、ドレスを着て赤い口紅塗って、夜の二時までにいきやらない。こんな条件で働くことには、なかなかプライドが傷つきました。日本人の不法労働としては、日本レストランのウェイター又はウェイトリストというのが最も一般的で、収入もふつう時給\$10くらいにはなるのですが、面接もしたし即採用だし、まあしばらくやつてみようという感じがした。

ニュー YORKの日本人クラブは、どこも日本人女性不足で、半数以上が他国女性でした。日本人以外ではアジア人が望ましいようで、ママさんは彼女達に日本語を教えようとしてます。疑似日本女性といつたところで、どうか。お客さんはほとんど日本人ですが、ホステスの半数以上が他国人なので店内の会話は英語、日本語のチャンポンでした。

下の娘が3ヶ月を過ぎ、なかなか毎日ぐちゃぐちゃなくてだんなのようにくつつかつていて、ゆきます。上の子をついたたいで、交流の前の特集で、たたかない育児の話を思い出しては、自己嫌悪におちついてしま、寝顔を見ては、かわいそうな事したなあと反省するんだけど、次の日は同じ事の繰り返だし。私なんでもかかって、とつても恵まれた環境なのに、すぐにオパバになってしま、子育てで毎日のがんまん大会みたいですね。そんな時、ふと三橋太郎さん(仮名) 85才の事を思い出した。彼は、徳島県出身。妻を亡くして、次男のアパートに身を寄せる事となった。

次男は自衛隊員で出張が多く妻は当時2才の子を育てる専業主婦。ヘルパーさんに依頼した仕事は、2週間に1回の通院介助。その他に話し相手という内容があった。

訪問した彼女のアパートは、横須賀市をへだててすぐという横浜市のほんとはずれ。私は、このお宅に通うことに立つた。山口百恵の「横須賀ストリー」を口ずさみながら遠くまで来たなと思つてた。「これつきりこれつきり、もうこれつきりですか」となると横須賀は近い、勝手に切なくなるころだった。

Book 紹介

早期教育と塾えらび 岩田和子 ナチュラルわいふ/平凡社 一八〇〇円

「極端な言い方をすれば、親たちは勉強のできない子をお金といつしよに塾という自動販売機にほうりこめば、下から優

秀才子になって出てくる、という幻想すら持っているように思える」と、著者が「あとがき」に書いていますが、これは当たっているかもしれない。この本は、小学校教師の経験もある著者が、いろいろなタイプの塾を、比較的にクールな目で見て回ったレポートと座談会が構成されている。取り上げた塾は石井式、公文式、水道式、「自由学園幼児生活団」や「シュナイター」なども、何が何を欲しているかを見きわめるのが大事かもね。

老い方いろいろ 川崎弘子



ミたくて、少なくなつたんです。「話がわかりにくいって事ありませんか?それでお困りになる事はありますか?」「いえ、でもお淋しいみたい。徳島の話をするんです。お友達もいらつしやらないから、私に来るのをほんとに楽しみに待たせてくださるんです。」

御自宅にひきこもって介護されるのですか?お子さんも小さくて大変ではないですか? 「ええ、私もどこまでやるか自信ないんですけど。」と次男の妻が答える。「次男の方と話合われて、老人ホームの入所も考えられてはどうでしょうか。」 「ええ、もうすでに手続きは終えています。あとは順番待ちなんです。」 「わかりました。区のカースワーカーに電話されて事情を話された方がいいと思います。順番を早めてもらえるかもしれないから。」

「一度家へ戻つた三橋さんは6ヶ月後ホームに入所された。その間、週3日3時間ずつヘルパーさんが活動した。前に行つていたヘルパーさんだったので、三橋さんも安心していられた。時々、ショートステイをとつて次男の妻も休みをとつて、育児が終ると介護が待っている。それが今の女の状況。でも彼女はそれがいつしよに来てもいい。家の外の事は外からは本当にわかんない。美談は、だれかの辛抱の上に成り立っている。ケアされる人もつらいけれど、なんとかもつと楽に、助けあえる方法はないものかしらね。ホントに。」



気分はラフブコール (33)

福島瑞穂



「子どもが一歳になったら家族解散式をやる」と近所に住む大学時代の同級生に言ったら、彼女も「わたしもそう思っていたの。子どもが一歳になったら、フランスにある学校に一人で行くうと思っているの。」と。

彼女は、今、英語の高校の先生をしていて、大学時代はフランス文学専攻だった。「ああ、同じことを考えている。そしたら、統一協会の合同結婚式ならぬ合同家族解散式をやろうよ。」と手を握りあおうとしたが、いかんせん、子どもの年齢が違ふ。子どもが一歳になる時期が二年ほどずれているのだ。「合同家族解散式は無理ね。」ということになった。

「家族する」家族（久野取氏著・有斐閣）という本のタイトルは、本当に気に入っている。「家族」や「結婚」は、「天然現象」や当然の「制度」ではなく、「日々創っていくもの」「日々創らないと一瞬のうちにこわれてしまうもの」となったのだ。でもこれって当たり前の人間関係は維持しようとか大切にしようという思いなしには、「生き物」だから死んでしまふ。人間自身が「生き物」だからこれは仕方ない。

今までは、周囲の圧力や「世間体」のために、なかが壊れていても、表面上は、「結婚」や「家族」は、とりつくりわけていたが、これからは、とりつくりわねなくしてしまふ。また、「これが家族」という定義がなくなつた。つまり、「いろんならフラスコがあるよ」ということが、徐々に浸透し始めるようになった。「家族」が、個人と個人で作る「人工的な物」であるならば、

解散式をやるのもいいな。わたしは、「家族」なんて作らないかと思つてた。「家族」の構成員とそれ以外の人たちが分けるのは、嫌だ。関係になつてしまつて、急に風通しが悪くなるような気がする。ツッパリではないが、「みんな他人のはじまり」で、他の人たちと一緒に、わたしには他の友だちも大事というふうにしたかった。

恋人や夫ができた途端に、友だちに段々薄情になり、つきあいが悪くなっていく女の人たちを、仕方がないと思ひながらちょっぴり苦たく感じていたもの。しかし、「子ども」が生まれると、うんとパートナーの彼と協力しないとけないし、三人で旅行をしたり、休日をすごしたり、努力をしないと明らかにもたなくなつた。子どもを迎えに行く担当目や学校の行事や子どもの様子についてしゃべり中話することになる。うーん、「家族している」のだよね。

も少ないから、一緒にくらし、近所に住むのとあまり変わらないかなあとツツツ思つたりする。ともあれ、娘が一歳になったら、「母親業」（そんなもの今までやってきたのかという意見もある）から解放されるのだ。バンザイ！娘よ、お金は送つてやるから楽しく遊ぶとどこかで生き続けるのだよ。

しかし、あと一二年もある。まだ娘は七歳なのだ。でも娘と一緒に遊んでくれるのは、あと数年かもしれない。日曜日とか近所の子と遊んで家にいないもんね。まはたきしている間に勝手にどんどん大きくなっていく。

何か伝えずにほつち、少女女よ、大志をいだけ」とわめいたら、まず、「少女ってなあに？」というところからつまづいた。「どうしてタニシ（貝のタニシ）をだっこしなくちゃいけないの？」

「タニシじゃなくて、大きな志、大きな夢をもてといつてるの。」「夢ってうなされるから見たくない。」とまあ、うまく伝えるのは難しい。

母の日に「おかあさん、おていだいをしてきてあげたい」という手紙と手作りのプレゼントをくれた。「育てている。なんてたいそうなこと言えない。大きくなるのを手伝っているだけだもんね。」

「育てている。なんてたいそうなこと言えない。大きくなるのを手伝っているだけだもんね。」と。ところで、アメリカで、「ハイハイ・ブッシュ」に育てられ、ヒラリー・クリントンになるのが理想」という言葉を聞いた。わたしも「良妻賢母型」のハイハイ・ブッシュに育てられ、ヒラリー・クリントンをめざした。ヒラリーの娘のチェルシーは、どうなるだろうか。母親と母親の愛情をむきほり食つてきたわたしが、娘はどうなっていくのかと思つときがある。

マネージャー日記 (21)「プレイボーイ」その後

鎌田千賀子

世の中へアワードが氾濫しているというのに、なぜ週刊プレイボーイに出たくらいで、仕事でキヤンセルになるのだろうか。先月ここに書いたように、サイパンへロケに行った写真7点が7月13日発売号に掲載された。ず張れがなかなかひかず、ちょっとでも触れただけでビリビリと電気が走るように痛くてたまらなかつた。（出産前は、先輩が童謡の「オッパイ」という言葉サラッと平気で歌っているのにもドキンとしていたのに、この経験で「オッパイ」が赤ん坊にとっては命綱で空気みたいな必要不可欠で、そしてなんだかとても神聖なもののような感じが味わいました。そして私もサラッと「オッパイ」と言えるようになりましした。）

不安な医療

落合伸江

シリリーズ 自分を語る (6)

（3）

「ミルク作ろうか？」と言つてくれて、二回とも出産時陰切開（必ずやるわけではないが膀胱や肛門などまで切れないようにはさみで陰の脇を切る）の傷跡が痛くて、座るのがつらく授乳姿勢が安定しない。（とくに息子の時は半年くらい痛くて、前に受けた時の手術の後より数倍痛いつて感じがした。）オッパイの方は、パンパンに張っているのの出口がうまく開かないから、ちよつとした言葉に、つても触れただけでビリビリと電気が走るように痛くてたまらなかつた。（出産前は、先輩が童謡の「オッパイ」という言葉サラッと平気で歌っているのにもドキンとしていたのに、この経験で「オッパイ」が赤ん坊にとっては命綱で空気みたいな必要不可欠で、そしてなんだかとても神聖なもののような感じが味わいました。そして私もサラッと「オッパイ」と言えるようになりましした。）

自分を語る

所沢市 川崎純子

先月、桜んぼのツヤやかな赤が美しい山形県天童の市街地から2キロ程行った、田んぼに囲まれた小さな農家に、私の伯母を訪ねました。すでに八十四歳ですから健康なうちに実母のことを、そして幼い頃の私自身のことを聞いたからと、初対面と言つてよい突然の訪問に「お前の母ちゃんと同じだねえ」とうれしそうに笑いました。

23才。デビューして6年もたつたので自分のポリシーをかなり強く持つていて、仕事でも出来ないことが多すぎる。アイドルで出たきた子はすぐチャホヤされるので、売れなくなつてもあの時、忘れるられないのだから。困ることが多々ある。

ザンビア便り

いぐあなばんだ

私は、このたび縁あって「青年海外協力隊(JOCU)」に参加することになった。えっ、何それ？という人のために簡単に説明すると、国がバックアップしている発展途上国の国づくり、人づくりに協力するボランティア活動のこと。管轄は外務省、実際の運営は国際協力事業団(JICA)である。

任期は二年、派遣前に二ヶ月半ほどの「派遣前訓練」がある。これは主に語学を中心に自分の行く任地(国)や保健衛生のことなどについていろいろな研修をするのだが、なぜ「研修」と言わずに「訓練」と言うのか、その理由が実際に経験してみてもわかった。まさしく「訓練」で、「研修」などと呼べるほど生易しくはないのである。今回はその一部を皆さんに紹介しよう。

まず、この「訓練」は合宿制つまり、完全にカンヅメ状態。正確に言うと七十七日間の「訓練」期間中、外泊できるのはたった二回、勿論だんの日もその間に外へは出られない。基本的に外出可能なのはお昼休みの一時間と夕食後の一時間だけ。日曜日だけは朝八時から夜十時まで外出できるが、門限の十時を一分でも過ぎるとガミガミ文句を言われたあげく、ペナルティーをとられ、これが何回か重なる。外出禁止」となる。何かやるとすぐに「外出禁止」となる。よほどこれが好きなんだネ、この事務局は)

毎日の生活はというと、朝六時二十分に起き、朝の集いと称して隊員候補生(訓練生)の人員確認に始まり、「国旗」掲揚(日の丸)とJOCUの旗は毎日、派遣国の旗は順番で、「国歌」のテープ静聴(基本的

ねいに起こしてくれる。そして、そりやうるさかったこと。「朝の集い」や、消灯の時間に流す放送の時に言う「日直(交代制)で下さい」とおこと。ご苦労さまでせう。

あるいは内職など見つかったら、呼ばれしちやうと「君はやる気があるのかね」とゲキ。やる気があるから内職してらんじやないのォ？

そうそう、この「訓練所」のスタッフで、半分くらいがJICAの正職員で、あとの半分くらいが多分アルバイト。スタッフのほとんどが協力隊のOBかOG。男女の比率は六対四から七対三くらい。で、けっこう若い人が多い。その若い人ってのが任地から帰ってきたばかり、というふうな人で、私より歳下。ここの生活でストレスはたくさんあったけど、その中の一つに、私より社会人経験が少ない歳下の男にどうしてこうまで言われなきゃならないのか!ということがある。

とにかく、朝から晩まで一から十までいちいち細かいことに

そのつど「みなさん、きちんと聞いて下さい」「今度は寝ないで下さい」とおこと。ご苦労さまでせう。

あるいは内職など見つかったら、呼ばれしちやうと「君はやる気があるのかね」とゲキ。やる気があるから内職してらんじやないのォ？

そうそう、この「訓練所」のスタッフで、半分くらいがJICAの正職員で、あとの半分くらいが多分アルバイト。スタッフのほとんどが協力隊のOBかOG。男女の比率は六対四から七対三くらい。で、けっこう若い人が多い。その若い人ってのが任地から帰ってきたばかり、というふうな人で、私より歳下。ここの生活でストレスはたくさんあったけど、その中の一つに、私より社会人経験が少ない歳下の男にどうしてこうまで言われなきゃならないのか!ということがある。

とにかく、朝から晩まで一から十までいちいち細かいことに

慌てるる食は世真いが少い
まわのきよ)

△今度の総選挙はいろんなことを考えさせられた。「慌てるる食は世真いが少い」とこれ社会党に負けたら、政権が近付いたと舞い上がったトタンに地面に叩きつけられた感じだものね。ほくも社に入れたけど、

△権力欲の強い人たちがいくら「政治改革」と叫んでもピンと来ないが、庶民は庶民なりの改革案を考えないといけないなあ、とも思った。そこで、ほくの案、当選と落選の差がすべて、という現行選挙の仕組みは、落選候補に投票した選挙民の意思をセロにすると、という意味で、民主

△この他にも、いろんな改革案が考えられると思うので、意見のある人投稿してください。政治家にまかせてはおけないよね

「酒に酔い成績表紛失
帰宅途中、クラス全員分」

二日酔いの目をこすりながら、開いた新聞の見出しを見て、ギョとした。私も昨日学校から成績表をバッグに入れて持ち帰ったのだ。すぐにバッグの中を点検した。

「ああ、私は大丈夫」

成績表の入った袋は、バッグの中にきちんとおさまっていたのを確認して、私は安堵の胸をなで下した。

この新聞の見出しは七月二十日の朝刊のもの。横浜の中学教師が成績表の所見欄を自宅で記入しようとしたら、クラス全員分をシロターバッグに入れて学校を出たが、途中、同僚とレストランで食事をして一杯飲んだ所、酔いが回り、バッグを紛失してしまっただけだ。

成績表には生徒の氏名と各教科ごとの五段階評価などが記述されていたということだから、その成績表が他人の目にふれることになる。生徒のプライバシーが侵害されることになる。生徒にとっては、大迷惑である。だが、同じ教師である私は、この教師の失敗を一方的にせめ

れたことがある。

ある時、図書室に本を借りに行った。一度に五冊まで借りられるから、私は五冊の本を持ってカウンタートンに行ったら、そこに座ってたスタッフが、「どうせそんなに読めないんだから借りやめたほうがいいよ」と。はっ、まさか私に言われれば「これよく社会人やってらるよな」というスタッフが何人かいた。そのうちの一人に私はこう言われた。

「石井さんと原田さんの連載は今後、交代で掲載します。今月は、交代で掲載します。(M)」

原田瑠美子

教室で
カルメン踊り

(29)

「失敗その1」遠足の朝、大ねの時のこと。なかなか寝付かれない。朝方までウトウトして、ところが、目覚し時計が鳴る頃になって、急に眠くなり目覚しを無意識に止め、深い眠りに落ち込んでしまった。

そして、ハッと目を覚ました時には、何と集合時間十五分前。急いで学校に電話を入れ、自分のクラスのバスだけ遅らせて発車を飛ばしてかけた。

クラス中の生徒たちから、かわれながら、三十分遅れの発車。「ごめんね」とあやまつて、クラスの生徒全員にジュースをおごつてやった記憶がある。それ以後、遠足の集合時間に遅刻したことはない。

(失敗その2)試験日なのに、

私は、答案や成績表を紛失したという経験はないが、教師生活二十三年間の中で、数多くのヘマをやらかしている。はずかしながら、その一部を紹介してみよう。

(失敗その1)遠足の朝、大ねの時のこと。なかなか寝付かれない。朝方までウトウトして、ところが、目覚し時計が鳴る頃になって、急に眠くなり目覚しを無意識に止め、深い眠りに落ち込んでしまった。

そして、ハッと目を覚ました時には、何と集合時間十五分前。急いで学校に電話を入れ、自分のクラスのバスだけ遅らせて発車を飛ばしてかけた。

クラス中の生徒たちから、かわれながら、三十分遅れの発車。「ごめんね」とあやまつて、クラスの生徒全員にジュースをおごつてやった記憶がある。それ以後、遠足の集合時間に遅刻したことはない。

(失敗その2)試験日なのに、

編集後記

は原稿が多いので、平井さんの沖繩考は休載です。ごめんなきい。ザンビア便りは、郵便事情がかなり悪いようなので不定期掲載になるかもしれない。原稿は多くても少くとも苦勞します。冷汗冷汗……(M)

問題を作っていなかった。

自分の担当教科の試験は明日だとはっきり思い込んで、登校したら、時間割の読みまちがいで、その日に自分の試験があったのだ。それなのに、まだ、試験問題を作っていないから大あわて。大急ぎで問題を作った。コピして何とか間に合わせる。これが出来たもの、この時も心臓が止まるかと思うほどビクビクした。

それ以後は、試験の時間割が発表されたら、スケジュール帳に記入し、早目に問題を作成するよう心がけている。

(失敗その3)テストの点数を未記入のまま、返却。

四年前のこと、中学一年の理科の採点が済んだ後、エンマ帳に点数を記入しないうちに、生徒に返却してしまっただけだ。

いざ、点数を計算して、評価を出そうと思った時、そのことに気付いた。生徒は試験体面に記入してしまっただけで、終業式まで登録しない。この時も真青になつた。二クラスの生徒全員八十四名に電話をかけ、答案用紙を電話口まで持ってきて、どこか出来たか、出来なかったかを細かく聞き、勉強のアドバイスをしながら、点数を確認していった。中学一年生だから、素直に答えてくれたもの、自分のヘマぶりに、愛想をつかした。それ以後、採点が終わったら、直ちに、エンマ帳に記入することにしてる。

この他にも、色々な失敗はしているが、同じ失敗だけは繰り返さないように、肝に銘じている。

原田瑠美子

教室で
カルメン踊り

(29)

「酒に酔い成績表紛失
帰宅途中、クラス全員分」

二日酔いの目をこすりながら、開いた新聞の見出しを見て、ギョとした。私も昨日学校から成績表をバッグに入れて持ち帰ったのだ。すぐにバッグの中を点検した。

「ああ、私は大丈夫」

成績表の入った袋は、バッグの中にきちんとおさまっていたのを確認して、私は安堵の胸をなで下した。

この新聞の見出しは七月二十日の朝刊のもの。横浜の中学教師が成績表の所見欄を自宅で記入しようとしたら、クラス全員分をシロターバッグに入れて学校を出たが、途中、同僚とレストランで食事をして一杯飲んだ所、酔いが回り、バッグを紛失してしまっただけだ。

成績表には生徒の氏名と各教科ごとの五段階評価などが記述されていたということだから、その成績表が他人の目にふれることになる。生徒のプライバシーが侵害されることになる。生徒にとっては、大迷惑である。だが、同じ教師である私は、この教師の失敗を一方的にせめ



9月号 (No. 239)

1993年9月10日 (毎月10日発行)
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)
〒165 電話(03)3385-2293
郵便振替 東京 4-51709

交流

◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。
◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

今日の七人七色

私の政治改革案

どうせなら国家の解体を

愛知県 岡崎まさる

昔から、色々な人が国家の解体を主張してきた。で、権力としての国家というものをそこのみんがイメージしていた。でも、本言うと、国家って、全体としてはバクセンとしてるでしょ。

でも、もっと本言うと、具体的には、身近にあるじゃないですか。例えば、地域の行政区画とか、役所とか、学校とか、そういう、お上の言葉とか、役割とか、いつも国家という幻想に収斂されていくものって、そういうモノ制度を、一つずつ消去していくと、結構中味のある行政改革ができそうなのがある。もちろん、多少の不便と危険は覚悟しないといけない。

日本の人に、確認を取りつけるのです。原案推進の人には、「もし事故で水・食料が汚染された場合、すんでそれを利用することを、天皇に誓います。」と。反対の人には、「自分の家の電力消費量を落としますよ。君が代を推進する人は、PKO等で必ず、空砲を持ち先兵として出かけるのか……」

文部省も、ときどき愛知県より先進的で、ついていけないこともあって、愛知へ文部省を移し直轄地区にしたらと思う。そうしたらボクも文部官僚になるぞ。

組閣トトカルチョ
神奈川県 渋谷路世
この前の選挙はおもしろかった。これで10%は投票率が上がる。

子供にも投票権

富山県 川上純子

私のアイデアの場合、けっこう賛成者が多いだろうという自信があります。子供にも投票権を与える、というとても簡単なこと。今の日本高令者は増えているのに、なぜか子供の割合が減っている。その原因は子供に投票権がないからではないか。とかつて思っていました。社会はどんどん進歩していくのに、その中身は子供の住みにくい社会だ。子供が少ないから子供の代弁者となる大人も少ない。どんどん縮小生産の状況に速度をつけていっている。これを打開するには子供にも一票の権利を与えるしかない。まあ未成年の間は母親が代理投票して子供の立場を築いていくことになると思うけど。きつと親も政治に無関心でいなくなっていく。いざ成人して自分の投票権をもった時にはかなりしっかりした視点をもつようになっているだろうと思う。立候補のたびに高令福祉を口にしてる候補者も児童福祉も票になるとなるとか、いろいろあるんじゃないかな。寝たきりの人にも一票、産まれた赤ちゃんと、誰か細川首相の選挙改革に提案して下さい!

議員の半数は女と子ども
埼玉県 金田裕美

今年の夏は天候が不順で、旅先でも大雨にあい、かぜもときをひいて家にいると、テレビでは、政治番組がどのチャンネルでも、主婦の時間帯といわれる。〇〇ショーでも政治家が出たりしてワイワイやっているのはおもしろい。

今までの国会中継などは、ヤジのとはしあいやケンカごしの議論、話し合いのルールさえもなく、これでも国の代表かしら。魅力のないオジさんにはがっかりというの本音だった。

かといって私自身この運命共同体の船に乗っているわけで、関係ないこと傍観者に徹するほど世をすてられない。

雨ニモマケズ

東京都 山岡幹郎

今回のテーマはどうも苦手で、人の話は黙って聞くだけ。意見を求められても、どうも口ごもってしまうことが多い。どうして自分でも未整理だが、ひたすら「政治改革案」というものに、本当のところあまり大きな関心を持っていないからだろう。床屋の政治談議をとかやくやってみようがない。

私は自分が女だからでもないが、女の感覚で信頼できることが多い。それと子ども。子どもの感性もよい。だから議員の半数は、女と子どもにしてほしい。

選挙権のない子ども達も社会を構成している大切な一員。子ども議会なるものがあちこちにある。その代表が出て来てほしい。

現にスペインでは、子ども共和国があって、貧しい人、弱い人たちが抑えつけられる身動きがとれないでいる世の中の仕事を変えたいと、世界各国の人々にサーカスとおして呼びかけている。

政治を改革するのは、ひとりひとりの意識の高揚と、新しい人間を生みだすこと、よくよくこつこつすることかなあと思えます。

今回のテーマはどうも苦手で、人の話は黙って聞くだけ。意見を求められても、どうも口ごもってしまうことが多い。どうして自分でも未整理だが、ひたすら「政治改革案」というものに、本当のところあまり大きな関心を持っていないからだろう。床屋の政治談議をとかやくやってみようがない。

政治改革といわれても……政治腐敗ならたちまち幾つか具例をあげられるんですが、政治腐敗をブロックすること、政治改革になるんじゃないでしょうか。ということでもっとききに頭を浮かぶのは利権です。政治に係わることにしておおきな利益を不正に手にすることのできるシステムを変える……どこかで聞いたような意見ですが、やっぱりこれに尽きます。正当な利益と不正な利益の区別が難しいとしたら利益はどこかに集中するのをチェックしたいですね。連立内閣になって政財官の癒着にクサビが打ち込まれたんで話にあまり期待できないんで、なにかにつけ懇談して、ついでにベنگキをはかってあげてしまおうという事が出てくると思います。

不正をするのは、利益を与えるのも受けるのも某ら問題。ヒトでしよう。某が会社でもヒラではない特別なヒトがいる

関係者名の公表
兵庫県 おだぎさきようこ

政治改革といわれても……政治腐敗ならたちまち幾つか具例をあげられるんですが、政治腐敗をブロックすること、政治改革になるんじゃないでしょうか。ということでもっとききに頭を浮かぶのは利権です。政治に係わることにしておおきな利益を不正に手にすることのできるシステムを変える……どこかで聞いたような意見ですが、やっぱりこれに尽きます。正当な利益と不正な利益の区別が難しいとしたら利益はどこかに集中するのをチェックしたいですね。連立内閣になって政財官の癒着にクサビが打ち込まれたんで話にあまり期待できないんで、なにかにつけ懇談して、ついでにベングキをはかってあげてしまおうという事が出てくると思います。

不正をするのは、利益を与えるのも受けるのも某ら問題。ヒトでしよう。某が会社でもヒラではない特別なヒトがいる

はすです。それなら工事から海外援助にいたるまで、その決定のプロセスに関係したヒトの名前を公表させるというのはどうでしょう。

公表するには書類が要る、書類を整えるためには公式の会議を持たなければなりません。いつ、どこで、出席者はカバン持ちから記録係にいたるまで公表させる。一定の書式を作るでしょうがそれで大丈夫。いまだきパソコンが普及しているようですから、おおせいの人がデータを手にすれば不正を見つけやすいとおもいます。

「看護婦の現場から」向井承子/講談社現代新書/六〇〇円
本紙に「あの橋を渡るとき」を連載した著者の最新刊。看護職対病床数が1・1で、その手厚いケアがNHKTVでも放映されて話題になった札幌生脳神経外科病院を始めた八つ病院を、実際に訪ね歩き、骨粗鬆症でほぼ30年寝たきりの母を介護してきた自分の体験もつきあわせながら書きあげた力作。保険点数制「看護婦不足」の意味などを考えさせられる。

なお、本書の柱である第二章は「看護学雑誌」に「白い恋人たちへの応援歌・私の病院探訪記」として連載されたもの。本紙に連載したのも近刊予定。

ぼんちん

H. WAKO 29



交流

どっこい父子家庭 (7)

石井文夫

雨ばかりで、さえない夏だ。ナ、と思っっていますか。私は千葉の海で真黒に焼けてしまいました。小泉今日子のCMの歌にさそわれて行った御宿は、東京駅での京浜線への乗りかえの遠さ、日差しこそ強いものの、波も負けず強く、海の水も冷たく、海の家の冷し中華の遅さ(ゆいちゃんごめんね)にもかかわらず、冷夏の中の真夏を楽しめました。

さて、今年の夏はというと、娘は部活(バスケット・ボール)の合宿以外に家において、(千葉の海もこなった。息子は、母と旅行、祖父とキャンプと遊び回ったものの、漢字と計算の宿題に押しつぶされそう。学校がせつなく休みのなのに、ふだんの日常プラス昼ごはんの心配と、親としてはなかなか気が抜けず、ちよっと疲れ気味の日々です。

さて、夏といえばビール。とりわけ、パンを焼いたり、蒸したりと、四〇度を越すような暑いところで仕事を身として、は、家に帰ってからのビールは至上の楽しみなのですが。

夏ともなれば、パンの売れ高もおちて、定時で帰れるのですが、家について四時前。早いですよ。

けれども、家について、さあ一杯と飲んでしまうと、そのままだんまりして、シャワー、洗たく、はギリギリになって始め、ごはんの片づけ、洗たくを干したり、乾いた洗たくものをたたんだり、明日の子供の昼ごはんの用意など、やることはたくさん。けれども、尻はすはなれず、終われば(終わらずに食器はつみっばなし、洗たくも

などとにかく多いパターン。次の日休みなで、残してもいい家事も多いので)

さて、いずれにしても、夏のパン屋の仕事は、特に私のうけ持っているパンを焼いたり、蒸したりという暑い作業場の仕事に早起きがあるのでは、まああしうがなないことなのかもしませんが。

これを書いて横で、息子が夏休みの宿題をしています。夏休みもあと二週間もなく、しつこく宿題は半分以上残っており、主なもの、漢字九〇字と計算ドリル四〇ページの復習で、旅行に行った日を別にして、一日一時間やればいい筈なのに、(しかし、親から見ても、これは多い)もう二時間が経っているのに計算ドリルの二ページも終わっていません。一ページの時間のめやすは一五分と書いてありますが、一ページ一時間はかかっています。まあ、となり私に私に、今日見た夢のななしやら、何やらおしゃべりしたり、今さら九九の表をつくるとか、やったりしながら早くおれど、とかか進まない。早くおれど、とかかにつれていつてもいいと思っっているのに。

とにかく、一時間やればと思っっていたのに、昼まで三時間かかっています。今回の選挙でも「コメ」は問題になって、農業はコメだけではないわけ、全体的な視野で、この国の農業をどうしようかという議論が全くなく、不満です。ともあれ厳しい状況の中、しぶとく生き残ってこの道のプロになる(もうすでにこれだけで食べているのだからプロかな?)今は考えています。(山梨 尚子)

小さなワンルームの活動から自然派家庭料理のレストランへと広がったクッキングハウス。日替りランチがおいしいと繁盛しています。それに28名のメンバーが、商売をするようになってから、きれいななり、生き生き



夏だし、暑いし、しようがないと言えはそれまでだし、まあそれでもなんとか生きていければいいんだし、それほど深刻な話ではないのだけれど、毎日仕事を、家事をして、そして寝てという日々が続くのはむなしいという気持ちだけです。

話しかかかって、母子心中をして二人の子供は死んだが、死にきれずに残った母親に出された判決の記事のこと。量刑についてはわすれましたが、この母親は収入が少ないのに子供を塾やスイミングスクールにかよわせクーラーや自動車を買ったためにローンなど借金をつくり、行きたつたために心中をはかったことが判決の中で責められたということでした。

借金をしたり、自動車を買いたくないもの、塾、スイミングスクール、クーラーは私にもあてはまり、心中というものは別にして、私が責められたような気持ちになりました。飢えという形での貧しさはなくなっても、現代の消費社会の中の貧しい生活に無抵抗なのは、この母親や私だけなのではないでしょうか。

きとしてきました。食べてもらおうと、すぐ反応がもらえる。そのことが、とてもシンプルなのにユニケーションを可能にしたからです。(府中 幸子)

毎年、捨てるをえない程、ナス、キュウリ、トマトと実ってくるのに、今年はお客さんが来るのと、近所に声をかけて分けてもらう程です。冷夏は地球のやりきれない怒りのような気がします。今まで人間がしてきたことの反省を求められていることを実感しています。

(新井市 則子)

先日早朝、農業の空中散布が行われましたが、私の新聞配達

ア)について紹介しよう。ザンビア共和国は、日本のほぼ反対側(南半球)にあり、日本の約2倍の面積をもつ内陸国である。赤道より約15°くらい南にあり、気候はサバンナとステップの中間くらいである。人口は約800万人、首都はルサカ。銅の生産地として世界的に有名。冒険にも書いた通り、この時期のザンビアは、一年の中で一番寒い季節である。基本的に乾期と雨季しかなく、今は乾期のまんな

ア)について紹介しよう。ザンビア共和国は、日本のほぼ反対側(南半球)にあり、日本の約2倍の面積をもつ内陸国である。赤道より約15°くらい南にあり、気候はサバンナとステップの中間くらいである。人口は約800万人、首都はルサカ。銅の生産地として世界的に有名。冒険にも書いた通り、この時期のザンビアは、一年の中で一番寒い季節である。基本的に乾期と雨季しかなく、今は乾期のまんな

ア)について紹介しよう。ザンビア共和国は、日本のほぼ反対側(南半球)にあり、日本の約2倍の面積をもつ内陸国である。赤道より約15°くらい南にあり、気候はサバンナとステップの中間くらいである。人口は約800万人、首都はルサカ。銅の生産地として世界的に有名。冒険にも書いた通り、この時期のザンビアは、一年の中で一番寒い季節である。基本的に乾期と雨季しかなく、今は乾期のまんな

ザンビア便り (2)

大活躍しているのは、驚くや嬉しいやら。それでも日中はけっこう日差しが強いので、日陰に入るとかなり涼しいが、空気が乾燥していることも手伝って、すでに顔がカサカサになって、これには困った、困った。(ふだんほとんど化粧しないから、化粧水なんか持っていないのよ)街の様子は、ザンビアは、一年の中で一番寒い季節である。基本的に乾期と雨季しかなく、今は乾期のまんな

英語、建物レンガ造り、塀もブロック塀といのが多い。街の中心部も非常にゆとりたりに、東京みたいビルとビルとビルとつづくほどにびっちな建物ではない。そこから車で10分も行けばひたすらアフリカの大地原が地平線まで続いているという景色が広がる。

ザンビアの経済状況はあまりよくはない。今200%のインフレだそう。いきおい、失業率も高くなり、私が聞いた限り、その数字は90%を越えるという。もしかしら聞きまちがえたかとも、でも、人々はそんなに非情な感じはないけど、(といっても現地に着いてからまだ10日しかたっていないから本当のところはわからない)逆に、今のところ、現地の人たちは私にはとても親切でフレンドリーに感じる。あと、この国はガスがないから、料理は全て、電気のコッカーで調理する(たまにプロパンガスを使っている家もあるみたいだ)。

次に、今度は少し現地研修のことについて書こう。

現地研修の約1ヶ月間、隊員はドミトリ(寮のようなもの)で同期隊員と一緒に生活し、そこから研修場所や買物などに出かける。まあ、ある意味では派遣前訓練の合宿生活と似たようなものである。(あーしんどいあの訓練生活ではナンタラ委員会とかいうわけわかんないものがいくつもあってウンザリしたけど、さすがにここではないだろうと思つたら、甘かった、現地に着いたその日にドミトリに直行、とりあえず荷物を部屋に置いて、買物して、そのあと先輩隊員から次から次へとナンタラ委員会の説明。全く、まさかここまで追っかけてくるとは思わなかった。よくぞ好きなんだネエ、ナンタラ委員会が、JOCVは。

私も、とにかく「楽しく」仕事ができたいと思っっているが、基本的には、今回の私のアフリカ行きは、日本でやっていたいろいろな市民運動(さまざまな環境問題、例えばタバコ問題、熱帯雨林問題、夫婦別姓問題など)の延長線上にある、と私の中で位置付けている。それに、以前から海外で仕事をしてみたい、そしてどうせやるならこうした市民運動、第三世界でーと考っていたのもあった。そして、私の活動が任期をおえた時、結果的に何かしら現地の人々の役に立ってればそれでいいのではないかと思っられる。言いかえれば、私は今回うまいぐあいに「JOCVを利用した」とられるかもしれない。正直言って、ずるい考えだ、と自分自身の中になきにもあらずの期の人たちに違和感を感じざるをえない。(年齢差も手伝ってると思うが)もう、「違う世界の人たち」というカンジなのだ。



今月のセブンセブン、4人から「書けない」と断られ、参りました。

10/23の交流20周年パーティー、参加申込みはお早めに♡

10月号 (No.240)

1993年10月10日 (毎月10日発行)
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)
〒165 電話(03)3385-2293
郵便振替 東京 4-51709



●「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをしている人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

●原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

今日のセブンセブン セックスレス時代?

都市部 尾崎雅子

私のまわりにもセックスレスカップルは多い。10年、数年、数ヶ月。アメリカでは一ヶ月ノセックスだつたら離婚理由になるんだってね。仲が悪くてセックスレスというのは当然だけれど、一見夫婦円満、幸せ家族で、秘かに悩んでいる妻がいる。「ちゃんとしてよ」なんて言える妻は少ない。「私が太ったからかしらん」「ほんとに私のこと嫌ってるのよ」グズグズ悩んで体の調子こわした人もいる。「セックスレスって体に悪いの!? 独身はどうなのよ?」と言った人がいるけど、あなた、案外独身の方がセックスフルかもよ、と私は言いたい。望まないセックスレスは絶対、体と心に悪いよ。妻とはしないけど他の女とはどうなのかなあ。

千代田区 菊地泰博

だいたい日本の労働環境、住宅事情はエロスを枯渇させていると思いませんか?例えば私の場合、ボロっちゃん借家暮らしで高1、中2の息子達に小三の娘。夫の帰宅は十時から十二時。私は朝五時半に起きる。仕事に家事に組合運動。遊びも忙しう忙しうし、つきあいで飲みにも行くし本も読みたない。いやーネルひまもネムルひまもない。そのくせ年中男にホレたあの人はいいなあ、この人もいいなあと思っ輝かしている。頭の中はセックスフルです。ハイ。案外男の本音もこんなところかもね。しかしこれでは悩める妻の解決策になつてない。共感してどうなる? たまにはムーディーに、映画はたく楽しんでみたいけれど、それには別の相手の方が……

最近、婦人・女性誌でもよく取り上げられるこの「セックスレス」という言葉ですが、何も今に始まったことではないと思えます。例えば、夫婦間の問題では本当は夫の側に原因がある望むから付き合ってきたという妻もいたはず。もちろん、その逆だってあったでしょう。ただ女もある程度は自分の意志を口に出して言える時代になったので「本当は嫌だつたのよ」という人が増えてきた。だいたい満足なコミュニケーションも持っていないのに、セックスによってそれを解消しようとするのはお互いに辛い。うちの場合もお互いに辛い。セックスレスでないカップルでも性についてちゃんと話し合えるカップルがどれだけいるだろうか?本当はこうして欲しいとか、こういうことは嫌だとか。もともと男と女がセックスに求めるものは、かなりずれてきていると思う。中でも男の勝手な思い込みはすごい。自分がこの女を満足させてやれるだろうかという、あれである。マニアル本などをせつせつと研究する男は多いが、女は決して行わぬものには何かを求められているのではないですよ。

私は今年五十才になりましたが「接して洩らさず」を含めると週一回のセックスは可能ですが、女性の大きなお尻を見ると条件反射的にヨダレを流してしまう「ベルの犬」でもありません。その一方において、十年近く同居している伴侶とは「セックスレス」に近い状態にあるのです。愛情は十年前より深いつもりなのですが、伴侶とは四季折々の旅行の時くらいかな。

「セックスレス」は男の方が多いうに思えます。とすれば「セックスレスの時代」というのは男のパワーの相対的衰弱を具現しているのかもしれない。人間の性の衝動は純粋に精神的なもので、想像力の活力を失った男性は女性に対する興味を失ってしまいます。

では、若者の間に「セックスレス」が増えているというのはなぜでしょう? スチューデントパワーが爆発したあの懐かし時代は「セックスレス」など考えられませんでした。又、あの頃は中学生はもとより女子高生や女子大生を買うことは困難でした。多分、現在の自分まで商品化することの増加は表裏「セックスレス」の増加は表裏一体の関係にあると私は思うのです。又、若者の中性化あるいは両性化とも無関係ではないでしょう。私は伴侶との旅行で最近の若いカップルは極端に会話が少ないというところに気がきました。どうやら彼らは恋はしてもリビドーのベクトルが内を向いているのではないのでしょうか。

「セックスレス時代」とは、男と女の境界線が低くなりつつあるという、広い意味での解釈をしようとした。増野氏は「セックス」を「性交」に限定して書けと言ってきた。仕方ないから私の周辺の数人に取材してみた。五人中(結婚歴二年から十年の女性)三人は、セックスは「子作り」と割り切っており、残り二人はお楽しみ派。

京都市 大城福子

とほできなくなりましたが、サルトルとポーワールに学ぶわけではないが、セックスの楽しみ方には、いろんなバリエーションがあるわけで、灰になるまで楽しみたいよ。但し、目下、相手に事欠いてまして……

江戸川区 清水博文

私は今年五十才になりましたが「接して洩らさず」を含めると週一回のセックスは可能ですが、女性の大きなお尻を見ると条件反射的にヨダレを流してしまう「ベルの犬」でもありません。その一方において、十年近く同居している伴侶とは「セックスレス」に近い状態にあるのです。愛情は十年前より深いつもりなのですが、伴侶とは四季折々の旅行の時くらいかな。

金沢市 荒井紀子

しばらく前にルイ・マル監督の「タメジ」という映画をみました。イギリスの有力国会議員が息子の婚約者とのセックスにおぼれ最後に破滅するという筋で、不思議とリアリティがありおもしろかった。50代のいわゆる分別ある男が、娘とのセックスで思わぬ自分を発見してしまひ引き返せなくなるというの、は、在りえないことではない、むしろ身近に感じる。一方でこんなことを考えつつも、いままの自分についていけば、セックスは決して嫌ではないけれど、「なくても別にどうってことない」というのが実感かな?

境港市 小倉輝子

「セックスレス時代」とは、男と女の境界線が低くなりつつあるという、広い意味での解釈をしようとした。増野氏は「セックス」を「性交」に限定して書けと言ってきた。仕方ないから私の周辺の数人に取材してみた。五人中(結婚歴二年から十年の女性)三人は、セックスは「子作り」と割り切っており、残り二人はお楽しみ派。

林真理子の「トーキョー国盗り物語」に出てくる「セックスしない症候群」という本は「秘すれば花」を忘れたオンナと取材対象者への気配りを欠いたライター他の友情物語りともみられるが、セックスしないことが売りのものになる時代には驚いた。性的悦楽の無いオトコとオンナの関係があるとは思えない。セックスレスの友情も否定はしないし、あつてもいいけれど、オトコとオンナの付き合いでは、ボディトークやヒロウトークがあつて初めて安らぎを感じる私などは、幼児性の抜けきらないガキなのかもね。

それでも「お互いの関係がうまくいっていいセックスなんかなくていいの」という巻のセックスレスカップルの言い方には納得できない部分もあります。恋愛感情があればしなく

府中市 山田城久
イヤイヤ、さすがは交流、今回のテーマが「セックスレス時代」だつてこれほど時流に乗ったテーマで、それでいて人にとつて根源的な問いもないよ

「セックスレス時代」とは、男と女の境界線が低くなりつつあるという、広い意味での解釈をしようとした。増野氏は「セックス」を「性交」に限定して書けと言ってきた。仕方ないから私の周辺の数人に取材してみた。五人中(結婚歴二年から十年の女性)三人は、セックスは「子作り」と割り切っており、残り二人はお楽しみ派。

また「お楽しみ派」の方も、レジャー感覚でドライブして夜景見て、ラブホテル行って、子供が起きる時間まで帰って帰るといふのを一月一回のイベントにしてはいるカップルもあれば女の方が寝つけ薬代わり男に使っているものもある。

それに子供(男の子ならなおさら)と肌のふれあいを楽しんでいると、男なんかいらなくなつてしまふ。あんな黒いチンチンより、こんなきれいだかわいいたいチンチンの方が好き?と思つてしまふ。

さて、来月のテーマは「タバコ」ですが……

気分はラフコール (35)

福島瑞穂



水着というのではなく、体の曲線を生かした、オブジェのような写真であり、首から上はすべたない。体を微妙にねじったりしたものを造形として撮ったものであった。

のときの議論もそうだが、私は決して言葉がりをしようと思っていないのではない(当たり前だが)。言葉が女性を傷つける場合があるから、人格を傷つけるような表現はやめて欲しいと言っているのだが、よく男の人に「食事に行こう」これはセクハラではなくて、「ホテルに行こう」こういったセクハラか」などと聞かれることがある。

横濱市ホームヘルプ協会を辞めてちょうど一年半がたった。これだけの月日でも、以前担当していた地区の人で何人も人が亡くなっている。

この差し込み便器でとってもらうんですけど、切ないですね。人の手をかりてないと生きられないというのには本当に辛いものです。だから、もう朝になっても目が醒めなければいいと思う。朝が来るたびにああ今日も生きてるんだと思えない気がするの。

教師時代の教え子が世話をしていた。だが二年ものねたきり生活で友人たちも自分の病気を生かすために足が遠のき、一日3時間のヘルパーさんは、朝と昼そして夜の弁当作り、そうじ、せたく買物という超ハードスケジュールだった。

私がいかに親しくすれば、山野さんはなおさらここに一人で暮せると思われる。それは困るんですけど、言われて、もつともだと思つた。

私は筒井康隆氏の小説が大好きである。イヒヒというかハッハハと笑いながら読んできた七瀬シリーズの七瀬ちゃんには声援を送ってきたし、大いなる助走)や「オレに関する噂」は笑いながらもドキッとさせられた。「家族八景」なんて身につまされた。すべての作品を読んだわけではないが、彼のアーキテクチャーや現実をあげていく能力、そして、ドンドコドンドコ基底で太鼓の音がするようなりズミカルな文章は、本当に好きである。ドンドコドンドコ乗せられて、あのリズムに合わせ呼吸をしようというふうな。

そんな彼が「断筆宣言」というのは、正直言ってショックを受けた。えっ、本当にやめちゃうの。彼に対して抗議行動が起きていたことは知っていた。しかし、こんな形で決断しちゃったのか。私は、あるとき、小さな勉強会で、なかなか思うような資料が出てこなくて捜しているときに、間をもたせる意味で、「わたしってバカだから」と言った。後の質問の時間に、「バカと言うのは差別用語だからやめて下さい。」と言われた。本当にそう

なかで使われていて、差別的な表現ではない。むしろ人間に対するいとおしみ、笑みみたいなものがあるのである。

水着というのではなく、体の曲線を生かした、オブジェのような写真であり、首から上はすべたない。体を微妙にねじったりしたものを造形として撮ったものであった。

横濱市ホームヘルプ協会を辞めてちょうど一年半がたった。これだけの月日でも、以前担当していた地区の人で何人も人が亡くなっている。

この差し込み便器でとってもらうんですけど、切ないですね。人の手をかりてないと生きられないというのには本当に辛いものです。だから、もう朝になっても目が醒めなければいいと思う。朝が来るたびにああ今日も生きてるんだと思えない気がするの。

教師時代の教え子が世話をしていた。だが二年ものねたきり生活で友人たちも自分の病気を生かすために足が遠のき、一日3時間のヘルパーさんは、朝と昼そして夜の弁当作り、そうじ、せたく買物という超ハードスケジュールだった。

私がいかに親しくすれば、山野さんはなおさらここに一人で暮せると思われる。それは困るんですけど、言われて、もつともだと思つた。

交流20周年パーティ

日時 十月三日(土) 1時半~4時半
会場 Ⅱカンタパンセ2F(下記)
会費 Ⅱ5000円
十月四日現在、申込みは、7人です。ハガキを出し忘れた方は至急送ってください。
中味は、一次会とばししていきなり二次会、というイメージで、飲み食いとおしゃべりがメインとさせていただきます。ほくは忘けるので、「天は自ら樂しむ者を楽しませよ」と、何も企画しませんので、よろしく。

「20年めの感想」
ますのきよし
最近届いた読者からの手紙に「20年続いたのは、ますのさんの頼りなげな風に立ち去れないという気にさせられるのかもネ」というのがあった。当たっているかもしれない。
もう一つ、あまり知られていないことだが、創刊以来の印刷屋さん、市備よりずっと安い費用で引受けてくれたことも大きい。これがなかったら、採算割れで、とても維持できなかったらう。ほくが、締切り厳守

を筆者にしつこくお願いした理由も、破格の値段で印刷をお願いしている以上、こちらも、スケジュール通りに原稿を入れるのが仁義というものだと思つたからだ。
初期の交流は、いかにも硬派のトーンだったが、途中から、ソフト路線に転換した。ずっと迷い続けたのは「体制への異議申し立て」という、中味とはしぼりすぎなわなくなったフレンドを続けるべきかどうか、ということだった。結局そのまま続けてきたのは、世の中どう変わ

だって、おとなと子どもの関係だったり、要するに人の生き方のスタンスみたいなもの。
三〇代、四〇代は夢の間に過ぎ、五〇代になった。まわりの文化が変わってきたのか、自分のトゲが軟化したためか、いつの間にか、かつての息苦しさはあまり感じないようになった。いつまで交流を出し続けるかは未定だが、あと二年余りでほくも六〇の還暦。その辺が汐どきかも...と思つている。

「断筆宣言」というのは、正直言ってショックを受けた。えっ、本当にやめちゃうの。彼に対して抗議行動が起きていたことは知っていた。しかし、こんな形で決断しちゃったのか。私は、あるとき、小さな勉強会で、なかなか思うような資料が出てこなくて捜しているときに、間をもたせる意味で、「わたしってバカだから」と言った。後の質問の時間に、「バカと言うのは差別用語だからやめて下さい。」と言われた。本当にそう

なかで使われていて、差別的な表現ではない。むしろ人間に対するいとおしみ、笑みみたいなものがあるのである。

横濱市ホームヘルプ協会を辞めてちょうど一年半がたった。これだけの月日でも、以前担当していた地区の人で何人も人が亡くなっている。

この差し込み便器でとってもらうんですけど、切ないですね。人の手をかりてないと生きられないというのには本当に辛いものです。だから、もう朝になっても目が醒めなければいいと思う。朝が来るたびにああ今日も生きてるんだと思えない気がするの。

教師時代の教え子が世話をしていた。だが二年ものねたきり生活で友人たちも自分の病気を生かすために足が遠のき、一日3時間のヘルパーさんは、朝と昼そして夜の弁当作り、そうじ、せたく買物という超ハードスケジュールだった。

私がいかに親しくすれば、山野さんはなおさらここに一人で暮せると思われる。それは困るんですけど、言われて、もつともだと思つた。

せめてもらっているだけの人間、りっぱな息子さんがいらつしやるのに、あんな状態で一人で寝てるのはお気の毒でならないです。

老い方いろいろ (30)

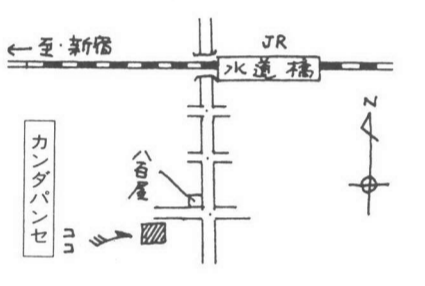


川崎弘子

いからこのまま死んでしまいたい。でも、食欲はあるから人っておかしいわね。
そう話していた彼女の枕元で私は、何も言えなかった。
彼女の事は以前書いたので、覚えていらつしやる方もあるかもしれないが、一人息子は東京で忙しく働いており月一回訪ねるのがやっと、妻が週一回日曜日に一、二時間来て身のまわりの世話をす。週6回、一日3時間ずつヘルパーが入っているが、横になるのがやつとのため他の時間は、近所にすむ友人や私仕事で彼女のお世話をさ

彼女にどれだけ冷静に自分の状態を理解できたのか、私は疑問に思っている。それは私がこわがりで、一人で体も動かさず寝ているなんてとつてもできないと思つたのと、渦中の人は現状を変えるのがたまただ、苦痛であつて、どんな状態でもここにうずくまっていける方が楽じゃないかと思う。私も過去にパニックになった時、そうだった。でも、彼女は死んでしまったのにどんな分析をしてもしようがないよね。
自分が齢をとってゆくなって、お別れする人が増えてゆくってことかもしれない。
おもいっきりその時々楽しまななきゃね。時は過ぎてゆくもの。今日は利他的な気分になつてしまった。

せめてもらっているだけの人間、りっぱな息子さんがいらつしやるのに、あんな状態で一人で寝てるのはお気の毒でならないです。





なぜ女高生は

パンツを売ったのか?

「自分のパンツを売っただけだから、他人に迷惑をかけていないし、別に悪いことだと思わない。先生がそんな個人的なことにまで介入しないで！」

某女子校に勤める私の友人は「ブルセラ」で補導された自分のクラスの生徒にこう言われてショックを受けたという。手軽にお金が入るというアルバイト感覚で、下着や制服を売る生徒たちの考え方がわからないと、私の友人は悩んでいた。

今のところ、私の学校の生徒の中から補導された例は出ていないが、意識としては共通のものがあるにちがいない。

高校二年の化学の授業で、私は「ブルセラ」を話題に取り上げてみた。

「みんなは、ブルセラについて、どんなことを知っている?」

全員の生徒が「ブルセラ」と

(30)

「うん、正直なこたえだね。でも、自分のパンツがどう使われるかを考えると、気持ち悪くないかしら?」

「それを考えると、ちょっと嫌だけれど、売った後は自分のものじゃないから、考えないようにすればいい。」

私と三人の生徒とのやりとりがきっかけとなって、他の生徒の中から意見が飛び出した。

「売った後は考えないって言うけど、自分の書いたパンツがどこぞの知らないオヤジに変な風に使われるんだよ。そんなの絶対に気持ち悪いし、頭にくる。」

「そう、週刊誌なんか、パンツを売る女子高生を問題にしているけれど、買うオヤジの方が問題だと思う。」

「よこれた自分のパンツを売って、絶対、はずかしい。」

「もし、自分がパンツを売っていたら、ばれたら、やばい。将来、お嫁に行けなくなっちゃう。」

「そこまでしてお金を欲しいと思わない。それだったら、校則に違反しても、コンビニなどでバイトをする。」

生徒たちの意見がだいたい出尽くしたところで、私の考えを話すことにした。

「アルバイト感覚でブルセラに下着を売るらしいけれど、お金が手に入れれば良いという考えは、売った後のことを考えていない。」

「お金がどうしても欲しいと思った時、売らなければならない。」

え方をしていると、次は裸の写真、その次はアダルトビデオ、さらに売春へと、どんどん発展していくんじゃないかしら?」

「それと、売った後は自分のものじゃないから、考えないようにすればいい。」

私と三人の生徒とのやりとりがきっかけとなって、他の生徒の中から意見が飛び出した。

「売った後は考えないって言うけど、自分の書いたパンツがどこぞの知らないオヤジに変な風に使われるんだよ。そんなの絶対に気持ち悪いし、頭にくる。」

「そう、週刊誌なんか、パンツを売る女子高生を問題にしているけれど、買うオヤジの方が問題だと思う。」

「よこれた自分のパンツを売って、絶対、はずかしい。」

「もし、自分がパンツを売っていたら、ばれたら、やばい。将来、お嫁に行けなくなっちゃう。」

「そこまでしてお金を欲しいと思わない。それだったら、校則に違反しても、コンビニなどでバイトをする。」

生徒たちの意見がだいたい出尽くしたところで、私の考えを話すことにした。

「アルバイト感覚でブルセラに下着を売るらしいけれど、お金が手に入れれば良いという考えは、売った後のことを考えていない。」

「お金がどうしても欲しいと思った時、売らなければならない。」

下の娘がブルセラショップに使用済みのパンツを売っちゃうの、嫌いなと。但し、写真付けるのは嫌だと、けろつと。エッチ系のバイトなんて、軽々しくも言い換えてを。発明した人に、すっかりオバサン化した私は絶対になわなない。

夏休み最後の日曜日、町田の東急ハンズに出かけた。フライスタウン・セーラー。円高還元とともに、私の大好きなものが賑わいのなかシアワセな気分で購入。そして5階の女性トイレに入った。

トイレの前では例のフォーク並びで順番を待っている人がふたり。私もその後で待つ、が動きがまるでない。ちょっと変だなと思つてると、お掃除のオバサンが飛び込んできて、「まだ出てこないの?」と並んでる私たちに話しかけた。もちろん誰も応えない。トイレの中の間人関係は、そのあまりにはつきりとした目的ゆえによそよそしく、異常にすましている。

しかし、オバサンはめげない。列を横切りすつとトイレのドアの前に行くと腰を曲げてドアの下を覗いた。

私、内心げえつとなつてるけど、オバサンの迫力にシンケンモンタイだわ、止めて、とは言えない。

オバサンの妻は半端じやない。覗きながら中の状況を説明し出した。

編集後記



「4コママンガ『ぼつとさくら』を連載してくれたWAKOさん、体調が良くないので、連載を降りますとの連絡がありました。長い間ありがとうございました。どうかお大事に。」

「『ザンビア便り』郵便事情が悪いせいか、まだ届かないので今月はパスです。ザンビアがアフリカのどの辺に位置するか、知らない方も多いと思うので略図を掲載しておきます。赤道よりかなり南です。」

「ぼくの勤務先の教頭さん、今年4月に転勤してきた時から登校拒否の徴候はあったのだけれど、2学期に入ってから本格化し、欠勤が続いている。こういう人こそ、登校拒否児童の相談役として起用すれば、適材適所の人事と言えらるのにね。(M)」

足が二人分ある!!

赤谷路世

「お母さんはあの記事読んだの?」と聞いたら「見せてない。読んだらきつと怒るよ」と言いつつ「でも、あの事件以来、彼女は不思議に元気がなくなった」と。今月のセンセのテーマ「マじやないが、あそこにくモの巣が張らないようにするのが長生きの秘訣かもね?」

「超酷死刑囚伝」丸山友枝子 / 社会思想社・現代教養文庫 / 六四〇円

この本は、強盗殺人罪で一六六六年に絞首刑になった孫十八の記録である。孫は、悔悟を拒否した死刑囚であり、およそエゴイズムの塊のような人物だったろうか? (M)

お金を得る喜びをわかるようにする。

●おこるよりも、何も言わずに自分のことだから、自分でよく考えるようにさせる。

* * *

形式的な説論は無駄だということがよくわかる。生徒の本音を聞き、教師も自分の意見を出し、互いに考え合うことから始めるしかない。でも、そういう討論が学校の中で成り立たなくなっているのが現状でもある。

生徒の声をともに、悩める友人にアドバイスしてみよう。

パンストが足首まで下がっている。下着を脱いで足が二人分ある。男が入っている。若い娘だ。もう20分近く中にいる。オバサンの報告は身振りまで加わり、中々セックスがおこなわれていくことが並んでる。女たちにもようやく判る。トイレの中は普段でも比較的静かだが、この時はまったく無音になってしまった。でも、私はこの時点で半信半疑だった。オバサンの報告内容は非日常的過ぎたのだ。オバサンは観客である私たちを十分驚かせたとフンだのうう、具合でも悪いんですかあ。

と心にもないことをドアに向かっている。ついに中から応答があった。

「何でもありません、気にしないてください。私は我慢できずに、大声で笑ってしまつた。」

その間にもトイレには人が入ってくるが、異様な気配に引き返すかのいい人がいた。オバサンの報告を聞くなり、子どもを引くように出てきた。オバサンは尚も覗き続け、何でもないと早く出てきてくださいあ、と私に言う。ドアのノブをまわして

「一言も詫言わず、内心を少しも悟らせない表情のまま立ち去つた。いや時代はここまで来ているのだと思ひ直した。多分、もうめずらしくもない出来事なんだろう。立つてみると太腿がつたり、背中が痛かったりする私たちの世代とは比べ物にならないくらい足の長くなった若者たちはついでにセックスも排泄もおんなじという思想も獲得したのだろうか。」

そして、少女たちは自分が性的存在であることをもう隠そうとはしない。

BOOK紹介

「老親とともに生きる」向井承子 / 晶文社 / 一八〇〇円

本紙に足かけ3年間連載された「あの橋を渡るとき」を柱に他のメディアに掲載したエッセイを組合せて作った本。共存じのように、病を抱えた老父母と二十数年生きてきた悲喜こももこのエピソードから成る。中でもそのハイライトは、座敷を肛門に入れ間違えて、その前の穴に入れてしまうシーンだろう。先日、男3人に囲まれて幸せそ

うに昼食を食べている向井さんに「お母さんはあの記事読んだの?」と聞いたら「見せてない。読んだらきつと怒るよ」と言いつつ「でも、あの事件以来、彼女は不思議に元気がなくなった」と。今月のセンセのテーマ「マじやないが、あそこにくモの巣が張らないようにするのが長生きの秘訣かもね?」

「超酷死刑囚伝」丸山友枝子 / 社会思想社・現代教養文庫 / 六四〇円

この本は、強盗殺人罪で一六六六年に絞首刑になった孫十八の記録である。孫は、悔悟を拒否した死刑囚であり、およそエゴイズムの塊のような人物だったろうか? (M)

くし、叔父に連れられて日本にきた。小学校では「チョーセン」といじめられ続けた。その生い立ちが彼の人格形成に与えた影響を読み取ることもできるだろう。また著者自身が、孫の勝手に腹を立てながらも、彼のために奔走するアンビバレントな感情に、人の心の複雑さを見ることが可能だろう。著者は死刑廃止運動の熱心な活動家であり、本書の原題「逆うらみ」に

判が、改題されたらしいが、むしろ原題の方が、著者の複雑な内面的葛藤にマッチしているように思えるのだが、どうだろうか? (M)

酔っ払つてトイレの中でやる話はあるけど、真つ昼間のバーゲン会場で作るのは新手法なあとやつと順番の回つてきたトイレの中で思つたけど、事態は、いや時代はここまで来ているのだと思ひ直した。多分、もうめずらしくもない出来事なんだろう。立つてみると太腿がつたり、背中が痛かったりする私たちの世代とは比べ物にならないくらい足の長くなった若者たちはついでにセックスも排泄もおんなじという思想も獲得したのだろうか。」

そして、少女たちは自分が性的存在であることをもう隠そうとはしない。

◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをしている人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

交流

11月号 (No.241)

1993年11月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)

〒165 電話(03)3385-2293

郵便振替 東京 4-51709

セブンセブン 今日のセブン

江東区 阿藤響子

タバコ歴二十数年。家族にも職場にも内緒でよくぞ続けられたものだと感心してしまう。私にとって最大の秘事であり、家族への裏切り行為かも知れない。タバコの害は百も承知の、人が解せぬの無理はない。

結婚する前、今の夫は女の人も仕事を持って自立している人がよい。タバコを吸っていたのも何とも思わないと言っていたのに結婚した途端、仕事もタバコも嫌がるようになった。お尻から煙が出る程吸っていた彼は、何回も禁煙した後ついにやめたいと。自分もやめたんだからやめろとせよ。誰にも迷惑かけてないのに何で?という気持ちがあるからいつもケンカになった。これは人権無視だと離婚を考えた事もある。三人の子供を宿している時や授乳期はやめていたし何も問題は無い。問題はタバコ。阿婆婆と考えると夫の考え方に気が付いた時から隠れて吸うことになった。誰もいない部屋でリラックスして吸うのもいいが早朝の換気扇の下で吸うのもなおかしい。隠れているのが相乗してか、楽しみも増す。換気扇の白いフィルターが煙で黒くなっていくのを見ると一抹の不安が過るが吸うことはやめないだろう。

日野市 佐々木賢

職場の友だちとカケをした。「おまえなんか禁煙できるわけがないだろう。よしよし。おれの前で一年間吸わないければそれでいい。その時は中華料理一卓をおごろう。でも一服でもやったら、お前のおごりだ」と彼が言う。

川崎市 森 行雄

煙草を吸っています。もうこれは周りの人にはゴメンナサイと頭を下げるより他に方法はありません。

「七人のうち、喫煙派は半数以上いると思います。」という私の予想から考えると、わたしの喫煙派のひとりに数えられていたような気がする。わたしの知る範囲では、働く女性に喫煙派は多い。でも、残念ながら、わたしはタバコを吸わない。というより、正確には、吸い方がよくなるから。学生時代には、好きなお酒の席などで挑戦したことのあるけれど、ものにならないからだ。

たへピースモーカーOBとしてはやめられない気持ちもよくわかると。世間で愛煙家の肩が狭くなりはじめた10年余り前。何度も禁煙を試みてパイポをくわえては挫折することをくり返していた。最終的には禁煙を達成した私の事を、職場の仲間が意志の強い人だと感心するが、むしろ誘惑に弱いタイプの自分が成功したのには、意志でも意地でもない、偶然的助けによるところが大きいのである。

車中一泊をしてのハードな山歩きから帰宅した翌日、それまで経験した事のない程の身体のだるさ、発熱に見舞われた。そんな時には煙草など決して手にする気になれない。症状は意外に長引き、その間は自然に煙草から遠ざかっていた。もちろんその後は意識的に我慢した期間もあるが、やがて周囲の煙草の臭いも気にならなくなった。この時の病気が風邪の一つだったのだらうが、たまたま調べた血液検査で肝機能異常が見つかり、自分の健康に対する不安になった。それから数多くの禁煙の時に比べ、実効性が高かったといえる。たぶん成功したとも言えるだろう。

禁煙の結果は当然食欲が増し、腹の高さが目立ってきた。肥満は周りに迷惑をかけるが、自分もコントロールできない。証明とやらで自分が悪いし、脂肪肝の疑いも出てきた。次の課題はダイエットということになるが、妻の冷やかな非難の目に耐えながら、慢頭について手を伸ばしてしまう私なのです……

会に一瞬にして元に戻ってしまうことがあり、その時、断酒期間が長ければ長いほど、ひどいアル中になるという。教育もそうであるように、禁酒禁煙も、自由であるとうと管理であろうと、長い目で見ると、どっちもどっちだ。

仙台市 斎藤洋子

過ぎたるは及ばざるが如し

私は喫煙派。二日間二十本入り一箱。本格的に吸いはじめたのは、(元)夫との葛藤がほの見た三十才。真夜中の公園で涙を流しながら吸ったたけ。それがクセになってしまった。

近頃、喫煙者はいくく煙たがられるようになった。曰く。健康によくない。吸っている本人より周りの人が肺病になる確率が高い。アメリカでは、喫煙者、肥満は意志薄弱と決めつけられ、出世にもひびく、と。しかし、あまのじゃくの私は吸うのをやめない。世界中で汚染に導いたのが、喫煙者やリ玉にあげるのは本末転倒で納得がいかない。確率は個体差を無視してタバコだけに因果関係を指摘してやるように気にくわない。

悪人！これはもう決りきったことなのです。

「済州島(韓国)に行つて女を買わないやつは男じゃない」と、ツアラーに行つた男性から聞きました。私が煙草を吸い始めたのは高校三年生。その時は、高校を卒業したら煙草を吸うのだけ、今は仕事のためのちょっとした行練習という感じでした。それからうまうまもいなくなってから、最近、公衆の場での吸っていません。(途中三年ほど吸わない時期もありましたがお金だけでも大金です。今一箱二〇〇円として一日一箱、一年間でなんと約八万円。二三年間分を今の価値と同等とすると約二〇〇万円近くです。これはすごいですね。後うまうまいて三〇年間生きたら一生で四五〇万円。うーんこれはもう十六年後の退職金を上まわっていますね。

話がついお金の方に行つてしまいましたが、女を買う男と煙草を買う自分、これは意外と精神の深層部分ではにているかもしれせんね。人と物をいっしょにするなとまたまた怒られさうですが。

この世に未練残さず、「お先にノ！」と言って死んでいける気がする。

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて

この二つの例の内、前者を自己主張でもある。不慮、夫の意のままの妻を演じていても反逆していると思えば精神的バランスが保たれる。お酒もタバコも好きな私は普通の世の人の何倍も楽しんでると思つて



◆なぜなぜ工房おもちゃ展
日時 11月13日(土)ー19日
(金)10時ー20時(最終
日のみ17時終了)

場所 日のみ17時終了) 日のみ17時終了) 日のみ17時終了)

※作者の杉山亮は毎日会場におりますので、ぜひどうぞ。



リレーエッセイ
不安な医療④

精神病棟体験記(上)

猫山たま

（プロフィール）
ヘルパーをしていた頃、「老いとつき会う」という連載を書かせてもらいました。今は、ただの事務屋。ウィークエンドマザーです。

病気の始まり

ちょうど二年前、三五歳で「人暮」を始めた。一九歳まで親と、その後つれあいな子供と暮らしていたのである。翌春、結核に患ったことが分った。数年、ヘルパーをしていた頃からキャリアだったらしいのだが、中年になって生まれて初めての一人暮らしに、それが引き金で発病したようだった。排菌してなかったのに、投薬だけで休職もせずにすんだ。結核のしおりに「安静・酒・タバコはダメ」とあったので、ジョギングと酒をやめ、好きなタバコも吸うだけ吸わないようにした。これがまた、かなりのストレスになったこともあって今度は、「一人で居られない病」に患ってしまった。秋には神経科の門を叩くことになった。

入院まで
結核は入院せずにすんだが、メンタルな方は入院（私立と職場の共済組合の都合二回）してしまった。何しろ心の状態が状態だから、状況をあまり正確に憶えていないし、忘れたい欲求が働かないか思い出せないことも多いが、とりあえず一回目の入院を、与えられた紙数の範囲で書いてみたい。

精神病院というあの「宇都宮病院」を思い浮べる人もいるだろう。私の通っていた「心とからだのクリニック・さちクリニック」

（F病院点検）
精神病院への入院は、本人の意思でしていると、自治体首長の

権限で入院させるのがあるが私の場合は、だから入院受付で入院同意書を書くのは他の病気と一緒だが、精神衛生法との絡みからか、本籍を書かされた。受付の次は主治医との面接。「この食事はまずいよ」と付け加える。ちょうど昼時だったので、昼食はどうしたらいいか聞いたら、「今日はカレーだったから残りがない」とのこと。つまり、いつもは残るのだ。事実、私も毎回残した。付き添ってくれた母とうどん屋で食事をしていたから病院へ戻る。病室で看護婦からオリエンテーションを受けた。待ち合室も暗くて汚なかつたが、病室も同じ。ベッドの上の棚には一ミリ程、ホコリが積もり、ベッドの鉄柵をゴキブリが歩いていた。こうして、私はF病院の住人となった。

職場の人たちも暖かく、日常生活は地域の友人たちに支えられていた。主治医も入院は最後の手段という方針でいたが、何しろ初めての病気の自分自身が病気に振り回されて疲れてしまった。入院することに決めた。「さち・クリ」には入院設備がないので主治医が勤めていたF病院を紹介された。都内の私立病院の中では「ましな方」で主治医となる「S氏はかつての青医連のメンバーだ」と精神病院に詳しい知人から聞き、少しホッとした。

入院の準備をするために、F病院に電話をかけて「売店はありますか」と尋ねると「ないけれども、すぐ近くにコンビニや商店街があるから大丈夫」と言われ「私は一人で居られない状態なので買い物に行けない」と訴えたら「買い物に行つて来れる人がいるから」とのこと。ああ、ヘルパーがいるんだなと納得した。それでも私は、輪ゴムからタンポンに至るまでのチェックリストを作り、入院の支度を立てた。入院前夜、見舞ってくれた友人がその細かいリストを見て、「こんなにしっかりと書いて何で入院するのよ」と笑った。

ミニコミの裏

「ミニコミはマスコミよりホントに近い表現ができて、楽しい」と、よく言われる。これはホントだと思う。発行部数が少ないほど、八方美人である必要がなくなるから、ヒソヒソ話に近いことが言えるのは事実。でも、そのミニコミも、本物のヒソヒソ話の面白さにはやはりかなわない。「これはあなただけに言う内緒の話だよ。他人に言わないでね」これが、人間のコミュニケーションとして最高に面白い。

往復する女の。買い物好きで毎日、デパートを背負って出て行く男の子。出かける前に、病棟の人達に「何か買う物ある？」と声をかける。うづめて外へ出るのがカッター人が買物を頼むのだ。奮りとかお駄賃をつけて、入院前に電話で聞いた「買い物に行つてくれる人」というのはこの手の人のことを言っていたのだと私は知っていた。ヘルパーを利用して「老人」の中には結核を持つてくる人もいます。それで感染した可能性が高い。

山田孝吉さんと妻の好子さん（両名とも仮名）は、市営の団地7階、2Kの間どりに住む夫婦だった。「だった」と過去形なのは、二人共半年前に他界されたから。自らの命を断つという結末だったらしい。

リウマチで寝たきりの妻を介護する夫は、5年前に軽度の脳内出血で左手が少ししびれる様になりヘルパー派遣となった。子供は4人いるが、子供達には世話になりたくないと、週6日一日3時間のヘルパーさんの活動。2人共に夜ねむれない。午後2時5時に働ける人を希望されていたのだが、主婦は夕方仕事支度が忙しくて、なかなか働く人を見つけれない。しびれが1時半から4時半の人達で辛抱してもらっていた。山田さんは、やたら注文が多くてなかなかヘルパーさん達は定着しなかった。

私、ホームヘルプ協会を辞めた。行かなくて生活がままならない方やコミュニケーションのとりかたを後任者とあひさつかねて訪問していた。山田さんの家へかかったのは去年の春だった。ミニコミとして私達を迎えた孝吉さんが、「おかげでいいヘルパーさんを紹介してもらって、ここ2年くらいは、安心してヘルパーさんにかまされてられます。家内も入浴サービスが来てくれるのでフロに入った日は体が楽だつて言ってるんですよ。」

ただね、夏休みヘルパーさん達が長期に休暇とられてその代わりに、福祉の専門学校の学生さんが来られるのは困りますね。ろくすっぽ料理も作れない。結局私が教える事になって休養にならないんですよ。来年、もうそれも終わる。来年

老い方いろいろ

(31) 川崎弘子

春には、皆さんにもお世話かけませんよ。私、その時の言葉を、高齢者が来るとき「もうすぐお迎えさんが行かなくて生活がままならない方やコミュニケーションのとりかたを後任者とあひさつかねて訪問していた。山田さんの家へかかったのは去年の春だった。ミニコミとして私達を迎えた孝吉さんが、「おかげでいいヘルパーさんを紹介してもらって、ここ2年くらいは、安心してヘルパーさんにかまされてられます。家内も入浴サービスが来てくれるのでフロに入った日は体が楽だつて言ってるんですよ。」

分が何を言うことを期待されているのか分かってしまうと、その期待を裏切るのは悪いという善いもあって、つついワンパターンの、言い古したスローガンでお茶を濁す。ウソではないけれど、本当に言いたいことは、それとは違うことなんだ、と内心思いつつ。でも、その本当に言いたいこと。古くステレオタイプの奥を掘り返すとこうなる、という話だから、分りにくい。分りにくい話だから、面白くない。分りにくい話だから、面白くない。分りにくい話だから、面白くない。

紹介してもらって、ここ2年くらいは、安心してヘルパーさんにかまされてられます。家内も入浴サービスが来てくれるのでフロに入った日は体が楽だつて言ってるんですよ。ただね、夏休みヘルパーさん達が長期に休暇とられてその代わりに、福祉の専門学校の学生さんが来られるのは困りますね。ろくすっぽ料理も作れない。結局私が教える事になって休養にならないんですよ。来年、もうそれも終わる。来年

仕事を辞めて家に戻って私はああ、人生って苦いもんなんだと知った。それまでは望めば、そしてそれなりに努力すれば、成果は必ず手に入ると思っていた。子供も仕事も地域活動も、望めばこなせると思っても豪語していた。まったく30も過ぎてたのにね。ミハーもんだね。だって戦争だつて地震だつて出たって世世代代の人、苦しいこと耐えられたら、ホームの食事では近かったが、ホームの食事では耐えられなくて孝吉さんは主張していた。

誇り高い2人は、ホームヘルパーに頼る生活、それもヘルパーさんのできる仕事はとも限られていくからサービスを受ける人は、人生を一つの角度からだけ見てる人だし（残念ながら、かつて「革新」と呼ばれた陣営の人はこのタイプが多い）どこまでがホントで、どこからがウソか分らない文を書く人は、多人数格のライフルスタイルのことが多い。多人数格というのは、悪い意味で言っているのではありません。世の中いろんな人がいるから、いろんな仮面を使い分ける方が実際、便利なのだ。ほかにしたって、職場にいる時の顔、ダンス習っている時の顔、講師に行く時の顔、それぞれ使い分けていて、どれがホントの顔かは、自分でも分らない。沢山のドラマ

ある人は、人生を一つの角度からだけ見てる人だし（残念ながら、かつて「革新」と呼ばれた陣営の人はこのタイプが多い）どこまでがホントで、どこからがウソか分らない文を書く人は、多人数格のライフルスタイルのことが多い。多人数格というのは、悪い意味で言っているのではありません。世の中いろんな人がいるから、いろんな仮面を使い分ける方が実際、便利なのだ。ほかにしたって、職場にいる時の顔、ダンス習っている時の顔、講師に行く時の顔、それぞれ使い分けていて、どれがホントの顔かは、自分でも分らない。沢山のドラマ

ある人は、人生を一つの角度からだけ見てる人だし（残念ながら、かつて「革新」と呼ばれた陣営の人はこのタイプが多い）どこまでがホントで、どこからがウソか分らない文を書く人は、多人数格のライフルスタイルのことが多い。多人数格というのは、悪い意味で言っているのではありません。世の中いろんな人がいるから、いろんな仮面を使い分ける方が実際、便利なのだ。ほかにしたって、職場にいる時の顔、ダンス習っている時の顔、講師に行く時の顔、それぞれ使い分けていて、どれがホントの顔かは、自分でも分らない。沢山のドラマ

気分はラブコール (36)

福島瑞穂



まで一度も「家事・育児と仕事を両立させています」ということをウリにしたことも言ったこともない。
「良く両立させていますね」と言われたり、「どうやって両立させていますか?」と質問を受けることがある。
答えはいつも「そんなもの両立できません」「両立なんかしてなくて、ドロドロドロコヤっています」というものだ。
私は、「重いものを軽く思おうとして、軽くやっていたのだから、良妻賢母も拒否してきただけで、母親らしさを装おうともしなかった。」

子どもがおたふくかせになっただ。簡単な風邪だと思っていたら、おたふくかせだったのだ。学校には行けないし、他の子にうつるので、保育をしてくれる人もいない(拒否された)。病院に行く、なおるのに一、二週間かかると言われる。なおったという医師の許可証がないと、学校にも行けない。
しばらく仕事をキャンセルして休んでいたが、もうこれ以上キャンセルはできない。
どうしようもできなくなつて宮崎に住む私の母に電話をして「来てくれないう」と頼んだ。母は、次の日の朝一番の飛行機で来てくれた。

母親に手伝いを頼んだのは、引越しのときと子どもが生まれた時だけだった。
双方の両親が遠くに住んでいるため、家事や育児は、なんとか二人でやりくりしてきた。といつてももちろん近所のいろんなうちに、彼女は、「学童クラブ」の後に行つて、七時か八時の間に彼か私が迎えに行くといったパターンだから、とにかくいろいろな人にお世話になつてきた。
しかし、基本的には、彼か私か、彼女と夕食を食べて、夜は一緒に過ごすというようにしてきた。家政婦さんやベビシッターさんはいなかったのだ。私と彼の会話の多くは、どうやってやりくりをしていくかという事になっていた。
たまたま二人とも朝早く出かねなければならぬときは、子どもが一人で朝起きて、自分でおにぎりを食べて、学校へ行くという事もあったし、病気のときは、一人で家で寝ていたり、

一人でおるす番をしているという事もあった。
そんななかで、母が手伝いに来てくれたのだ。
そして、つくづく感じたのは「楽」ということである。
朝早く出かけるときに、彼女の朝食の心配や起こす必要はない。クリーニングを出してもいい。母は、おふとんの打ち直しを頼み、破れた障子をしつかりはりかえてくれた。びっくりするくらい部屋が片づき、切れていた電球がはいり、ガタがきていた炊飯器や冷蔵庫をすぐ買いかえた。テキパキいろいろなものが進んだ。
子どもの夕食の心配もしなくていいし、頭の痛くなるスケジュールの調整もしなくてすむ。楽なんだよね。これが。
家に帰つてくるとお風呂がわいていて、子どもはお風呂にはいり、歯をみがき、宿題を終えている。
専業主婦をかかえている男はこんなに楽なんだ。
家にあるいは近所に「おばあちゃん」がいてくれるってこんなに楽なんだ。共働きの男だつて、妻が「主婦」もやってくれていたら、こんなに楽なんだ。
「手伝つてます」なんていうのは、こんなに楽なんだよね。自分が手をひけば、子どもが本当に困るというのではないのだも

なる。もともとと自由がなくなる覚悟をしていたので、それに比べれば、ずい分「お気楽、極楽」でやっていた。もちろんかなりセーブはしたが、仕事は好き放題やっていたし、結構外国へも行った。
子育ては、最大のレクレーションといつては、私にとつては、「愛情のはけ口」であり、彼女とのコミュニケーションは、私をいとも無邪気な楽しい気持ちにさせてくれた。
ヘラヘラやっていたことが、人知れず、疲れていたこともあったのだ。
彼は、私以上に子育てに関わつてきたし、子どもの健康も含めて正直言つて私は恵まれてきた。
そんな思いがあったので、グチグチも言わないし、グチグチも言わなかったら、何か好きなことをしようと思つてた。
私は、「不良ママ」だし、今

マネージャー日記

(24) 商業演劇



鎌田千賀子

「商業演劇は大変だぞ」と半年前に出演が決まった時から皆に言われていた。その意味がわかり始めたのはそのリハーサルが開始されたからだった。
東京宝塚劇場・山本富士子特別公演の仕事を決めてきたのは

うちの社長で、出演するのは名古屋でしか舞台経験のない24歳の女の子で、商業演劇のことなど全く知らない、ド素人同然の私のコンビが2ヶ月の舞台に挑むことになった。
ポスターやチラシに載る人のことを看板さんと言う。その大きさがどのくらいかということ、その人の扱いが決まるらしいのだが、例えばB5サイズのチラシで、3ミリのことを気にするらしい。他の誰より何ミリ大きいのだぞ、と、それや大変なことなのだぞ、だ(今回はどういふ交渉をしていないのでよくわからないのだが)看板さんの特権は、もちろんギランティがいいこと、一

と、一ヶ月三万五千円を御礼として渡すのが決まりだぞ、と。今回のように東宝の舞台だと東宝現代劇といつて、東宝の舞台のみで出演している団体があるのだ、ほとんど全てその人たちが何役もかかち出ている。これは衣裳さんと床山さん(かづら担当の人)には初日と中日に3、5千円ずつ渡すという暗黙の了解に近いものがある。
彼女のギラは一ヶ月百万円。10月は東京、11月は大阪での公演がある。11月は私も初日と中日と楽日の3回に渡って大阪へ行かなければならない。ここに書いたのはほんのさわり程度でこの他にも山のように気を使うことがある……でも私のように鈍感な人間はちつとも瘦せないのだ。

人部屋の楽屋がもらえること、皆が丁寧に扱ってくれることがある。そして基本的には着替えとかつらをつけるのは、自分の部屋で出来るはずなのだ。それが衣裳部から「衣裳部屋に着て来て頂戴い。」なんて言われたのだから、どうなつてんだと泣きながら本人から電話があり、一ヶ月一公演30万円くらいしかギランティが出ないらしい。なので、その人たちも小づかいを稼ぐ為にやるぞうだ。うちのよに役者が24才だとそのくらいの年齢の人が少ない。どうして30代、40代の人に頼むことになる。と、あまりにも年上なので使わなくなつてしまいかえって気を使うという悪循環。極めつけでビックリしたことは、初日の挨拶回りでのし紙付でハンドタオルを出演者・スタッフ全員に配つたにもかかわらず、それ以外にエレベーター係のおじさんやお給仕のおばさん

にまでお金を包まなければならぬということ。金額は2、3千円だが人数が多いのでかなりの金額になる。そして翌日からその人たちの態度はコロッと変わつたりするのだ。
これは衣裳さんと床山さん(かづら担当の人)には初日と中日に3、5千円ずつ渡すという暗黙の了解に近いものがある。
彼女のギラは一ヶ月百万円。10月は東京、11月は大阪での公演がある。11月は私も初日と中日と楽日の3回に渡って大阪へ行かなければならない。ここに書いたのはほんのさわり程度でこの他にも山のように気を使うことがある……でも私のように鈍感な人間はちつとも瘦せないのだ。

交流20周年パーティ

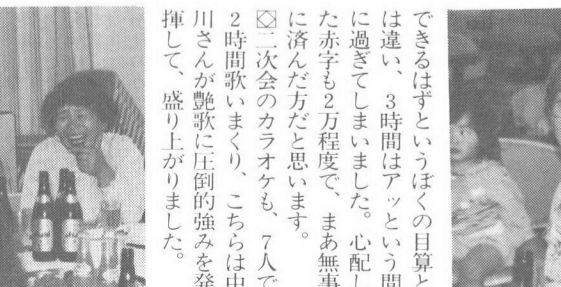


調べてみると、1周年記念シンポジウムが120人、10周年パーティが70人、200号記念が50人……と、参加者数はハッキリ下降線を通っているの、賢



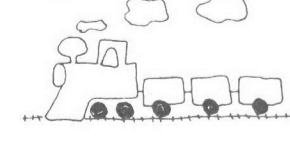
い人なら小規模の会場を用意するところなのに、百人収容の会場を借りてしまったノーテンキなほくでした。結局二〇人の参加で、お通夜みたくになるかなあ、と心配したけど、参加者の皆さんが盛り上げてくれて、和気あいあい、楽しい雰囲気になりました。はるばるの仙台や宝塚

市から来てくれた斎藤さん、中山さんはじめ、忙しい時間をやりくりして参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。今回は予告しましたように、「アトラクションは無かったかわり、全員で自己紹介しあっているよです。今回の特徴は女と男の比率が半分に近づいたことかな?時間もたっぷりあるから、いろんな人とおしゃべり



できるはずというほくの日算とは違い、3時間はアツという間に過ぎてしまいました。心配した赤字も2万程度で、まあ無事に済んだ方だと思えます。
二次会のカラオケも、7人で2時間歌いまくり、こちらは中川さんが艶歌に圧倒的強みを發揮して、盛り上がりました。

ひとこと通信



十月号の福島瑞穂さんのご意見をいただきました。私の職場でも最近、いわゆる差別語をめぐることがよく出されます。自治体の広報を出しているのですから、コトバに対しては敏感でなければいけないのですが、周囲の男性諸氏は例えば「嫁ぐ」は美しい言葉だという感性をしっかりと持っています。おまけに「問題にすべきは家制度です。言葉ではない」とまで言います。えーっ、それって本末転倒じゃないか?と思うのは私だけでしょうか? (習志野市 真理)

いつきオト』を抱いてきた。

(1)『いつきオト』の巻



宝塚市 久住夏子

(はじめに) 興味は尽きない「男と女」のことを、なるべく「交流」の品格を貶めないよう努力して書きますので、読んでください。乞ご批評……

今から25年前、私は真正正銘ハタチだった。美人には生まれつきなかつたから、ハタチの時も美人ではなかつたが、ジョン・ジョン跳ねて生きてたくらい若かつたから、たまに男から声かけられた。

勤めが東京で、自宅は横浜の片田舎にあつたので、夜遅くなつた時など、少しでも会社に近い友達の家で寝泊りしていた。

その日の寝ぐらは目蒲線の鶴木に住んでいるアケミちゃんちに決めて、終電車で降りた蒲田の駅前でタクシー待ちをしていました。

寒かつた。20人ほど並んでいる人の中には、足踏みする人や手をこすり合わせる人もいて、私も体が小刻みに震えていた。

タクシーは思い出した頃に来る程度で、これじゃ1時間は待たされるなあ、と泣きたいような思いで立っていた。

そこにスーと一台の個人タクシーが入ってきて、乗り場から少し離れた所に車を止め、プツと軽くクラクションを鳴らした。列の一番後に並んでいた私は勿論、ほとんどの人が一斉にそのタクシーに注目した。見ると、運転手が手招きをしている。ふり向いた人は一様にキョロキョロと右を見たり、左を見たり、それでも誰も動かない。運転手はまだ手招きをしている。皆、もうしらんぷり。すると、そのタクシーがスーと動いて私の横

ると、そこは見たこともない野原のまん中。

全身から血の気が引くという経験をした。その時初めて、言葉が出ないのだ。オツとも、ギャーとも言えない。でも、一応外に出た。

これからどんなことが起ころうとしているのかは、察しがついた。20歳の時、私はまだ処女だったけれど、キスくらいはしたことがあったし、おっぱいをさわられたこともあったから、予想くらいはできた。すごくこわかつたけれど、この人とても良さそうなのにな……という気持ちに、まだすがりたかつた。「させてくれよ」運ちゃんはいきなり震える声で言った。

「何をされるんですか？」と私。「あれだよ、あれ」

「私、したことがないから、どうしていいのかわからない」

「ジッと寝てればいいんだよ」

「でも、赤ちゃんなんか出来たら、私育てられないし、あなたのことまでよく知らないし、そんなことしたくない」

「妊娠しないように、別のところに入れるからさ、さつさとそこに寝ろよ」

もうダメだ、と思った。草むらに静かに横になり目をつぶっていた。運ちゃんは上に乗ってきて、唇を私の首筋にビタッとくっつけた。

「ちょっとタンマ」私は手を上げて言った。彼はギョツとして

たように動きを止め、なんだよと聞いた。「おしっこがしたくなつたやっ。ごめんね。ちょっとタンマね」すると、しよしがねえなあと言いつつ彼は起き上がり、あつちでしてこいよと端の方を指さした。野原の隅っこで放尿しつつ、このまま一目散に逃げようかどうしようかと迷った。開りに人家はなさそうだし、ここは高台になつていて、道に出るにはさつとこの所まで戻らなきゃいけない、ああ、もうどうにもなれとハラをくくり、また元の所に歩いていった。ところが運ちゃんがいらない。キョロキョロしているのを止ましている車の中から「乗れよ」と声がした。

私が車に乗るとすぐに動き出し、彼はしばらく無言で走っていたが、やがて静かにこう言った。

「あなたにや悪いことはできないよ。そんなに信じられちゃ参っちゃうよ。こわい目にあわせてゴメンな」

友人の前で私を降ろすと料金は受け取らずに走り去った。私はアケミちゃんの顔を見るなり涙があふれだし、オンオンと1時間余りしゃくりあげて泣いてしまった。

何も知らなかつたハタチの冬の、不思議な思い出。あれから25年、いまだにすぐ人を信じてしまう性格は治らない。

オワリ

「主編だつて好きなことができる。長繩幸子/自費出版/1000円」

十年くらい前、名古屋の中京TVの報道番組「家族って何だろう」でレポーターをしたことがあつた。なかなか良い企画だったので、そのビデオをほくの講座でも3回ほど使つたことがある。そこに登場する主婦の中で多分最もインパクトの強い人

が、この本の著者だ。結婚20年の記念に、これまで新聞雑誌などに書いたエッセイや賞を貰つた童話などをまとめたのが本書である。「一生懸命生きてる」という感じがもろに伝わってくる人だ。子どもを生んで以後も、大学で教員資格を取つた他、もうもろの免許を取り、就職にも就いた。それでいて、書いてる中身は、庶民感覚あふれるもので、親しみを感ずる申込み先「各務原市つじが丘四・一二九・五 長繩幸子/0583/84/9265 (M)

どっぴい 父子家庭 (8) 石井 文夫

前回、なにやら暗い調子になつてしまひ、自分でもイヤになつてしまひました。実は健康診断で尿蛋白が出てしまひ、精密検査の結果待ちとなつていた時期だったからです。腎炎となれば半年は入院、その後もしばらく安静、しかも自覚症状が無いという病氣。この疲れも夏バテだけでなく、なんて考えて暗い気持ちになつていたので、九月に入つて結果を見れば異常なし。まったく心配させて、さつさと結果をよこせよ、ということでした。

秋になり、ずいぶん暖かくなつて、元氣も出てきたのですが、子供たちはもとより元氣。

娘は部活のバスケットに加え、陸上の区大会(なんと国立競技場が会場)に八〇〇メートル走の選手で出場して優勝してしまふし、(おかげでL・L・ピンのパークを買わされてしまふし)都大会にも出場が決まり、区の駅伝大会の選手にもなりました。生徒会も前期は副会長をやつて、後期は会長に立候補「初の女子会長で〇中の歴史を変える」と張り切つたけれど、男子の候補に負けてしまふし、ガッカリ。しかし、その夜には友達から次々と電話が入り、お風呂の中にまで電話を持ちこんで喋っているのにはあきれた。

この姉の活躍ぶりに刺激されたのか、息子のほうも小学生のサッカーチームに入りました。Jリーグでサッカー人気は盛り上つていて、息子の小学校でも三つもクラブがあるということですが、仲の良い友達の入つてくる一番新しいクラブに入り、新しいボール、シューズ、ウェアも手に入れて、毎週三、四回の練習と、その他の日もボールを持って遊びまわっています。

と書いてきて、子供の自慢をしちゃって、と思つていて、まあ精密検査の結果待ちとなつていた時期だったからです。腎炎となれば半年は入院、その後もしばらく安静、しかも自覚症状が無いという病氣。この疲れも夏バテだけでなく、なんて考えて暗い気持ちになつていたので、九月に入つて結果を見れば異常なし。まったく心配させて、さつさと結果をよこせよ、ということでした。

秋になり、ずいぶん暖かくなつて、元氣も出てきたのですが、子供たちはもとより元氣。

娘は部活のバスケットに加え、陸上の区大会(なんと国立競技場が会場)に八〇〇メートル走の選手で出場して優勝してしまふし、(おかげでL・L・ピンのパークを買わされてしまふし)都大会にも出場が決まり、区の駅伝大会の選手にもなりました。生徒会も前期は副会長をやつて、後期は会長に立候補「初の女子会長で〇中の歴史を変える」と張り切つたけれど、男子の候補に負けてしまふし、ガッカリ。しかし、その夜には友達から次々と電話が入り、お風呂の中にまで電話を持ちこんで喋っているのにはあきれた。

でも、子供たちが頑張つてくれるのは、やはりうれしいものですね。

とは言ふものの、子供があれこれ活躍していると、子供のスケジュールが入りこんできて親もそれに合わせていそがしく、またお金もかかる。父子家庭だからということで、特別に家の仕事を分担させることはしたくないと思つていて、朝や休みの日など親のいない時は、それなりに自分たちでやってくれることにはありがたいのですが、手伝いができないどころか、親のほうの子供の生活にふりまわされるのはまじりません。子供が小さいころは子供は自分のことのできなくて、生活は親のペースでできるのですが、

それでも、私は家の中で子供たちをサポートしているだけで、サッカーの部活も、小学生のクラブも、試合のつきそい、応援、さし入れ、練習のお茶出しとか、合宿をやられば親がすべてをサポートしたりと、世の女親たちは子供のことで献身しているのです。

と私は思つていて、娘のバスケット部の男子チームが区大会で準優勝したのでパーティーをやるという誘いに、いつも世話になってることに感謝を言わなくてはと思ひ、娘のケケンな表情にもかかわらず出かけて行きました。

さて、時間をだいぶ遅れて着いてみると、子供たちはとても盛り上つていて、女親たちはは控への部屋にかたまつて、いそいそと給仕をしたりして、いそいそと帰るのんびりとした。会場に座ると大人(男の大人はどにもいない)は私だけ。子供たちの楽しそうな様子を見ているのはおもしろいけれど、娘の表情は不気嫌で完全に無視されてしまひました。私もまた、

いったいどうなるんだろうと思つていたら、明日も試合だからということで、子供たちのパーティーは七時ごろにお開きとなることに、顧問の教師が登場して子供たちに明日は頑張れ、などとカツを入れ、子供がいなくなると机の上にビールや料理があらためて並び、大人の宴会がはじまりました。今までのいそいそと子供たちの世話をしていたお母さんたちは、すっかりリラックスして、ビールを注ぎながら、乾杯。話題は、合宿の「夜」や、試合の応援の「後」のこと。試合で勝ち進んだら、ファミリーストラットのテーブルには

娘が二年生になった時に、世話人から電話で「試合の時のつきそいや、先生がたの弁当用意も交替してもらわなくて」などと言われ、顧問がたまに担任だったので「私は父子家庭なので、子供の弁当だけでもいいんで」などと、おどおどしながら言つたのは何だったのでしょうか。

そとと家へ帰ってきて、娘に「パーティーといつても、ああいうことは知らなくてわかつた。」とあやまりましたが、行かなくては、わからないことはいろいろあるものですね。

共同保育に子供がいついてたころも、行事といつては親が酒を飲んで盛り上つていたし、子供が大きくなつても親が集まつては、飲んでいる私たちが同じですが、女の人は子供を夕食にしなげに家にあけられないこと、出た夜のあの盛りあがり(私が水をさしていたのでしょ)の落差は、いささか私のカルチャー・ショックでした。

で、今チレンゲという街にいます。湖(Mweru湖)のほとり、いいところですが、あ・あ・あついでに屋根裏では夜コウモリが運動会ヨ：ただ、ここはザイルとの国境沿いなので湖のクルーズで国境まで行けるそうです。これから余裕ができたら行くつもりです。では皆さんにヨロシクノ！」

先月号の向井さんの本の紹介につき読者からクレームがありました。要するに「他人からとやかく言われることではない。まことにごもつとも。平身低頭反省陳謝しておきます。(M)



編 集 後 記

12月号 (No. 242)

1993年12月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)

〒165 電話・FAX (03) 3385-2293

郵便振替 東京 4-51709



「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして...

原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

今日の七人七色

倉田の記念撮影のシーンもいい。一つだけは無理だなあ。 横浜市 松本光世

ボーランド映画の鉄道 桑名市 加藤正広

「結婚してくれ」 女(手を休めずに) 「無理よ、二人とも貧乏なのに」...

好きなんだけれど、「近代日本なんて、ヒテエもんだ」としみじみ思い、ひたすら泣ける映画なんです。 鹿兒島県 内山聖子

中野区 ますのきよし

京都府 小川まりこ

高校時代迄映画へも行かせてもらえなかった反動で、大学時代は映画に属して食費を削って洋画、邦画と週二回観た。

五人は同時進行している女の子がいました。あ、高校生の頃の話です。気が多いのです。

最初は頭に浮かんだのは「風と共に去りぬ」で、ビビアン・リー扮するスカレットが、い...

私は、実は暗い日本映画が好きなんです。70年代に結構あったよね。ATG系とかで。

藤沢市 三尾キリコ

「交流」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

藤沢市 名取弘文

一番好きなのは厚子ちゃんでしたが、厚子ちゃんだけがという訳ではなくて、他にも四人か...

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

藤沢市 名取弘文

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

藤沢市 名取弘文

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

藤沢市 名取弘文

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

藤沢市 名取弘文

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。

「交際」っていいな。名もななく、貧しく、フツウの人も映画位好きだらうなって原稿依頼が来る。



リレーエッセイ 不安な医療 ⑤

精神病棟体験記(下)

猫山たま

〔七人七色タバコ番外編〕
先月号の「七人七色」のテーマはタバコだったが、一人、欠けて増野さんが埋め草を書いていた。だったら私に振ってくれば良かったのに。前回、書院生活は、外科の入院を想像していただければ、大体、よろしいのではないが、違うのは怪我をしていないから、朝、ラジオ体操で始まって、食事も自分で食卓へ行って食べる位位である。

ワイークリースケジュールは、スタッフと患者のミーティングが週一。ここで病院側からの連絡、棟内での問題の調整、月レクの子定などが話し合われる。やはり週一、余暇の時間として習字(他にも何かあった気がするが憶えていない)。一回、参加してみたが、えらくヘタッソな先生だったし、書く前に詩吟をやって、これを十二月の月レクのクリスマスパーティーの時にみんなの前で発表すると言うので、ゲートとなってしまった。

あと風呂が週二か三。順番は、後になるほど汚れるので、部屋毎に一回ずつ、ずれて行って公平になるようにミーティングで決まっている。だが、何しろ「自主管理」看護婦が少ななくて風呂の順番まで気遣えない。なので、うかうかすると割り込まれて、なかなか入れなくなる。作業療法

ところで、後で入院した共済組合の病院の方だが、こちらはO.T.(occupational therapist)の略作業療法士)が二人、スポーティで、土木関係風のおじさんが見え、屋内作業はO.T.、屋外はI氏が担当している。毎朝、看護婦・師が患者一人一人を「屋

内?屋外?」とチェックする。屋内はO.T.のうちの一人が「歩くカルチャーセンター」と呼ばれる、陶芸、編み物、籐細工、七宝焼、彫刻等々何でも教えてくれる。屋外はI氏のコーチでテニス。午前中はこうして好きなことをして過ごす。どこにもバスしてベッドの中というのもありだ。午後は曜日によって、散歩、ソフトボール、お茶会(茶道ではない。O.T.と一緒に好きなおやつを作って、時にはドクターも混じってみんなでお茶するのだ)、園芸(病院の庭をI師匠について手入れする)から。抗うつ剤を飲むと口渇と便秘の副作用が出るので、就寝して初めての体験をした。入浴も部屋順なのはF病院と

同じだが、自分の部屋の番の時に戻すと、看護婦がそれを飲んで、ストレス溜って便秘なんだろうなと思った。たまに精神科医は「医者だから患者だから分らない人がいる」と言われるが不思議な技師がいた。心電図を取りに検査室へ行くとき、彼は鼻歌ながらに現われてカルテを見て「猫山たま(本名はこれじゃないが)ちゃん、芸能人みたいな名前ね。フフフ」この裸にならなくていいからね。すく終るよ。フフフ」「ちょうど見舞いに来て付き添ってくれた友人と顔を見合わせてしまった。初めて精神病棟を訪ねてこれが一番ショックだった」と彼女の後日談である。

ふっせオトコを抱いてきた (2) ファーストキスはO君と



宝塚市 久住夏子

ファーストキスはO君と、ファーストセックスはM君としよう、と決めたのは中学3年の時だった。

O君とは話もしたことがなかったけれど、さわやかな笑顔、育の教師などちょっといい男に一目惚れして、彼とキスするシーンに空想しているうちに、いつか必ずや、と思うに至った。M君とはクラスが同じで、いっつもふざけあっていたのが、ある日突然、といった具合に恋心が芽生え、よし私のページンはこの人に、と決心した次第。OもMも、私のことをどう思っているか、それはわからなかった。

男の子が困りにいっばい毎日楽しくてたまらなかつた。中学時代とうってかわって、高校生活は、文字通り砂をかむように味気ない日々だった。

女子校というの、と言おうか、私にとって男の子が困りにいっばい、OとMへのひたすらな思いがあったからだ。信じている。ひとりぼっちでも、彼らのことを考えたら寂しさがまぎれた。勢い、空想は過激の一途をたどったが、現実を移すには、その頃の私にはエネルギーがなかつた。恋は始めるにも終わるにもかなりのエネルギーが要る。

暇があればボーと窓の外を眺め、Oとキスする瞬間や、Mと裸で抱きあう場面などを想像してニマリしている私は、今で言う「キショ」的ふんいきに包まれていたのだと思う。皆、あんまり近づいてこなかった。這うようにして通った日々がやっとなり、晴れて短大生になった。女子校というのはおかしなもので高専まではがらんじがらめの校則で(ネクタイの結び方やスカート丈は言うに及ばずストッキングの色の濃さからソックスの折り方まで決められもろろん男女交際は厳禁、縛りつけているのせいで短大などは自由なものだった。

身も心も解放されて、再び私に笑顔が戻った。笑顔が戻ればこっちはものだ。

「あなたはすましていたら魅力ないけど、笑うといい顔になるねえ。天真らんまんさんと、その笑顔が武器だね」と友人たちが

つれづれの花

入沢愛子

この詩を読むと、ふしぎと、自分の感覚や感性までが、今の刃にあるのか揺さぶられる。

《未来》
たった今死んでもいいと思うのに、また未来がある。あなたが問いつめ私が絶句する未来
原っぱでおむすびばくつく未来
大声で笑いあったことを思い出さず未来
もう何も欲しいとは思わないのに
まだあなたが欲しい

これは、谷川俊太郎の「女に」(マガジンハウス発行)という詩集の中の一つである。ここに全部を紹介したいくらいステキな詩集である。あの「マザーグースのうた」を訳し「二十億光年の孤独」の作者が書いたものである。恋に落ち入った人ならば誰でも感じるあのときめきや、飲むが全篇を渡っている。

女に：こんなに透明に、みずが

は言っていた。この武器にモノをいわせて、そろそろOとのことを決行せねば、とバイト先のパン屋の店先であれやこれやと思案していた。あれは18才の春のこと。そんなある日、学校の裏のパスの窓から、なんとOの姿が見えた。3年前と変わらないうさわやかな笑顔で友だちとしてやっていた。

家に帰るやいなや、とっておきの便箋を取り出し手紙を書いた。

夢見心地で二週間が過ぎた頃私たちは自然に唇を合わせた。嬉しかったけれど、「ああ、とうとうしちゃった」と力が抜けたようでもあった。それから毎日キス。あの頃のキスは、アイブではなかつたような気がするが、ただくっつけるだけでよかったし、どんなキスをしてたのか、思い出せない。

しかし、下から上へいく愛撫もあるけれど、上から下に行くの必定期。日を追うに促し、背中に回った手が胸の方にのびてきたり、お尻に動いていたり、オッパイもみもみくらしいけれど、ページンにはMに置いておきたいから、お尻から前の方向に手がくるとイヤイヤをしてい

た。どうしてOはキスでMがセックスと決めたのか定かたではないけれど、大きな楽しみはMにとっておきたかった。やはりMへの思慕が強かったのだから。Oのことはすく好きだったけれど、一つしかないページンはMに、と15の時から決めていた。この類いの決意にはけっこう意志を強く持てるタイプなのだ。私は。

Oの焦りはだんだんこちらにも伝わってきた。このままだとセックスまでしてしまうかなあと思いはじめた夏の終り、八丈に夕イビングに出かけた彼はそこで恋をし、セックスまでしてしま

い、私には見事に振られてしまった。さすがにショックだった。一週間食べ物が喉を通らずキロやせた。試験はボロボロ。あの時、近くの丘の上から泣きながら夕陽を見た。スパイダースの「夕陽が泣いている」が巷に流れていた。今でもあの歌を聞く

と泣く。

でもまあ、ファーストキスはOとしつかりしたわけ、次なる目標はMとのファーストセックス。さてどうなることやら。

老い方いろいろ

(32)



川崎弘子

山田サキさん(64才)は、をしいた。

私の大好きなヘルパーさんの一

人でした。

夫は、一人息子が3才の時に

亡くなり、それから右手一つで

大学まで卒業させたという。

準者の資格を持っていたのだ

が夜勤をする事ができなかった

ので町工場に油にまみれて働い

たという。

彼女はいつもエプロンやオ

ールの入った大きなバックを昔の

バスの車しようさんのように、

肩から斜めにかけて、ストラク

スとスニーカーをはいて、ピン

と背筋を伸ばして待ち合せの場

所に立っていた。

雨の日も雪の日も、いつも5

分前には、待ち合せ場所に来て

いてニコニコとむかえてくれた。

私達はいつも彼女と会ったの

ととも楽しんでいて、難

しい問題があっても気が軽く

なるねと同僚とよく話をしてい

た。

会うと深々とおじぎをして、

私のような若者にも、と

ても丁寧な話をしてくれる。

「私ね、今働いていられるの

をとっても嬉しく思っているん

ですよ。いつもいい方なので、

仕事させてもらっていて、働い

て帰ってくるおなかも減るし

よく寝られる。体を動かすのは本

当にありがたいなあと思ってる

んです。」

私はいつも、ああこない人

を安くこき使ってるんだなあ

と胸をいためつつ、つい対応が

大変なケースには、サキを頼

いしていた。

彼女の仕事のやり方をみてい

ると、仕事先では、ほとんど私

語をせずに黙々と働いていた。

めつたな事では休みをとらずに

遅刻をしない。相手の要求をま

ず、時間をおかず満たす努力

紙に書いてしまおうとあたり前

の事なのだけど、この信頼され

るのって本当に難しい。

まったくの他人が週に何日か

でも家に入ってきて、台所や寝

室に入り、触わり、かきまわす

のだ。体が不自由ならば不自由

なだけ、体を触れたりおムツを

かえたりする程度は大きくなる

れるにしろ、私だっておしりを

ふいてもらったり陰部に触れる

のは嫌だ。

友人には、嫌いな人にさわる

られただけでもジンマシンが出る

人もいる。

だから、人の手をかりなけれ

ば清潔を保てない人の心中は、

とてもデリケートなものだと思

う。

彼女は、月並みというと苦勞

人だった。そのせいでかと思う

のだが、さりげなく相手の気持ちを

汲みとるのが、抜群にうまい人

だった。

彼女と訪問先に行くまでの道

のりで、いろんな話話した。

子供の事、育った街の事、季

節の話、30以上も年が違いうけ

母とも姉とも違う仕事を通じて

知り合った友達みだりだった。

彼女と出会って、誠実にまじ

めに働くのってすがすがしいな

と思えた。目立たないけど、人

の気持ちの中にスッと染み込ん

でゆく彼女の気持、私にはと

ってもマネできるものじゃなか

った。

「私ね、息子が結婚した時に

ひにと同居を勧めてくれたので

いっしょに住んだんです。そ

して、お嫁さんが家事を全部や

つてくれたの。私は、自分の下

着を洗うくらいしか動かなくて

そうしたら2階から降りるのも

不自由になって、2週間くらい

寝たきりになったんですよ。こ

れじゃない、動かさなきゃ動

いてなくちゃ本当に寝たきりに

なると思う、一人でアパート

を借りて住んでますよ。

息子達は反対したんだけど、

近くには越すという事だんとか

了解してもらったから、大丈夫

かわいさかりなんです。でも

月に一回くらいしかしねえ。た

まに会ったのがお互いのために

なんです。私は、ヘルパーの事

をいただいて、いろんなお家へ

行けるし、知らない場所は地図

をみて、なるべく歩いてゆいま

す。よく歩くと思われ、食

事もおいしいです。働くのが、

私の健康法ですかね。」

と明るいサキさんの話をいつ

もすこいなあという顔をして私

は聞いていた。

一人で淋しくないですかと聞

くと、

「毎日、せいっぱい動いてい

るうたばつてバタンキューと

なってます。淋しがっている事

はないです。ずつと体が動く

です。」とサキさんは言っていた。

横濱市ホームヘルプ協会は68

才が定年だから彼女はまだ4年

働ける。

先に辞めた私は、ときどき彼

女の事を思い出しては懐しくな

る。

私もサキさんみたいにかなりた

いなあと、晩秋の空にほんやり

と思っっている。

マネージャー日記

(25) 下心

鎌田千賀子

人間の欲望なんて、本当につ

きないもので、次から次へと欲

しい物があり、親しくなりた

い人にもたくさんいる。それが利害

関係なく進んでいこうとばかり

のだが、仕事で親しくなるとお

きたいと思うようになるとワイ

ロも発生すれば肉體も提供しな

ければならぬ……?

2年前マネージャーになって

初めての作品がある有名なお正

月映画だった。マネージャーの

仕事ってこんなに楽しいんだ、

と思ったし、そのスタッフから

は頑張ってマネージャー続けれ

よと励まされた。その作品に出

会ったから、私は今でもこの仕

「先生たちはあまり反心せず

中には私の話が子守り歌のよう

に聞えるのか、コックリ、いね

むりしている先生もいる。

こんな先生たちの様子を見て

私の一方的な話だけで終ってし

まったら研修にならないと判断

した。

私の時間はまだまだあるので

すが、先生との討論の時間を多

く取りたいので、とりあえずこ

こで終わりにします。私の話を

聞いて、納得できなかったこと

あるいはもって聞きたいこと、

どんな意見を聞いていただけ

れば幸いです。

保健体育科の先生の発言をや

つと研修会らしくなってきた。養

護の先生は、性教育、エイズ教

育にもっと力を入れたらと思っ

ているようだが、他の教師が消

極的でうまく進まない様子がわ

かった。

「エイズ教育は養護や保健体

育科の先生二人は、自分の専門分

野をつつかれるのを警戒して

いる感じ。教頭は頭をかしげな

がら、考え込んでいる様子。他

「環八へ行つて下さい」などと

言い出す始末。その度にガバッ

と起き上がりつて否定し続けて

いたのだが、たまプラーザの住宅

街をぐるぐる30分は走つたらろ

う。こちらが道を指示しない限

り運転手さんだつてわからない

もの。ようやく家の前に着いた

時は一時半だった。そこで彼は

三万円で出し出した。これで帰

ろささい」と言つてタクシーを降

ろした。

渋谷も環八もラブホテルがい

っぱいある所。連れてかれなく

て良かった、とホッとしながら

私はどうしてはつきりと思つた

言葉なかつたのだらうと思つた

それは映画監督という肩書きを

もつた彼を失いたくなかつたか

らだし、監督と仲がいいとい

うことで逆に回りが私を認めて

くれることも無くしたくないな

からだ。

私が今後も彼とつき合ってい

くならば、今度は環八までお供

しなればならないのだから、

それが出来るかどうかはまだわ

からないけれど。

現場教師にはエイズを

子ども達に語りかける必要性が

わかつていないのが一番の原因

だと思ふ。

エイズについて語る時、性を

避けることはできない。性につ

いて子ども達に語るには教師自

身の性の価値観やあり様が問

われてしまう。それが、そうい

たしんどさを乗り越えて、子ど

も達と性を語り合つた時に、人

間としての深い絆が結ばれるの

だと思ふ。まして、人間との関

係をうまくつくれる今の子ども

も達にとつて、エイズはまさに

人間がどういう関わり方で生き

ていくかを考える格好のテーマ

である。

研修会が終わつた後、申し訳

なさそうな表情で挨拶する養護の

先生に私は言った。

「まず、先生ひとりからでも

実践しましょう。自分の実践に

自信が持てれば仲間が増えてい

くはずですから」

「私の時分はまだあるので

すが、先生との討論の時間を多

く取りたいので、とりあえずこ

こで終わりにします。私の話を

聞いて、納得できなかったこと

あるいはもって聞きたいこと、

どんな意見を聞いていただけ

れば幸いです。

保健体育科の先生の発言をや

つと研修会らしくなってきた。養

護の先生は、性教育、エイズ教

育にもっと力を入れたらと思っ

ているようだが、他の教師が消

極的でうまく進まない様子がわ

かった。

「エイズ教育は養護や保健体

育科の先生二人は、自分の専門分

野をつつかれるのを警戒して

いる感じ。教頭は頭をかしげな

がら、考え込んでいる様子。他

「環八へ行つて下さい」などと

言い出す始末。その度にガバッ

と起き上がりつて否定し続けて

いたのだが、たまプラーザの住宅

街をぐるぐる30分は走つたらろ

う。こちらが道を指示しない限

り運転手さんだつてわからない

もの。ようやく家の前に着いた

時は一時半だった。そこで彼は

三万円で出し出した。これで帰

ろささい」と言つてタクシーを降

ろした。

渋谷も環八もラブホテルがい

っぱいある所。連れてかれなく

て良かった、とホッとしながら

私はどうしてはつきりと思つた

言葉なかつたのだらうと思つた

それは映画監督という肩書きを

もつた彼を失いたくなかつたか

らだし、監督と仲がいいとい

うことで逆に回りが私を認めて

くれることも無くしたくないな

からだ。

私が今後も彼とつき合ってい

くならば、今度は環八までお供

しなればならないのだから、

それが出来るかどうかはまだわ

からないけれど。

現場教師にはエイズを

子ども達に語りかける必要性が

わかつていないのが一番の原因

だと思ふ。

エイズについて語る時、性を

避けることはできない。性につ

いて子ども達に語るには教師自

身の性の価値観やあり様が問

われてしまう。それが、そうい

たしんどさを乗り越えて、子ど

も達と性を語り合つた時に、人

間としての深い絆が結ばれるの

だと思ふ。まして、人間との関

係をうまくつくれる今の子ども

も達にとつて、エイズはまさに

人間がどういう関わり方で生き

ていくかを考える格好のテーマ

である。

センスは原田瑠美子



原田瑠美子

先日、ある公立中学校から、

教員研修会を依頼された。私立

学校でエイズ教育を実践する

には、というテーマで、一時間

半ほど話をしたいとのこと

だった。

私自身はエイズについて関心

があるので、本を読んだり、講

習会に参加したり、自分の授業

やH・Rで実践をしているが、

学校全体で組織的にエイズ教育

に取り組んでいるわけではない。

だから、学校ぐるみの実践を

どう進めていくかという話をす

るには適切かもしれないと断

つたが、私の個人的な実践にも

く話で良いということ引き受

けることになった。

数日前から、何冊も本を読み

私としてはいつもより丹念に準

備をし、前日の晩は好きな酒も

がまんし、いくぶん緊張気味で

研修会に臨んだ。学校へ着くと

「私の時分はまだあるので

すが、先生との討論の時間を多

く取りたいので、とりあえずこ

こで終わりにします。私の話を

聞いて、納得できなかったこと

あるいはもって聞きたいこと、

どんな意見を聞いていただけ

れば幸いです。

保健体育科の先生の発言をや

つと研修会らしくなってきた。養

護の先生は、性教育、エイズ教

育にもっと力を入れたらと思っ

ているようだが、他の教師が消

極的でうまく進まない様子がわ

かった。

「エイズ教育は養護や保健体

育科の先生二人は、自分の専門分

野をつつかれるのを警戒して

いる感じ。教頭は頭をかしげな

がら、考え込んでいる様子。他

「環八へ行つて下さい」などと

言い出す始末。その度にガバッ

と起き上がりつて否定し続けて

いたのだが、たまプラーザの住宅

街をぐるぐる30分は走つたらろ

う。こちらが道を指示しない限

り運転手さんだつてわからない

もの。ようやく家の前に着いた

時は一時半だった。そこで彼は

三万円で出し出した。これで帰

ろささい」と言つてタクシーを降

ろした。

渋谷も環八もラブホテルがい

っぱいある所。連れてかれなく

て良かった、とホッとしながら

私はどうしてはつきりと思つた

言葉なかつたのだらうと思つた

それは映画監督という肩書きを

もつた彼を失いたくなかつたか

らだし、監督と仲がいいとい

うことで逆に回りが私を認めて

くれることも無くしたくないな

からだ。

私が今後も彼とつき合ってい

くならば、今度は環八までお供

しなればならないのだから、

それが出来るかどうかはまだわ

からないけれど。

現場教師にはエイズを

子ども達に語りかける必要性が

わかつていないのが一番の原因

だと思ふ。

気分はラフゴール (37)

福島瑞穂



「おれもやりたい老年非行」...

前回、筒井康隆さんの断筆宣言について、彼に大変「同情」するような文を書いたような気がする。

「おれもやりたい老年非行」... 筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

「これだ」といって、このままだいのかという、このままだいのかという。このままだいのかという。このままだいのかという。

「おれもやりたい老年非行」... 筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

「おれもやりたい老年非行」... 筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

「おれもやりたい老年非行」... 筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

筒井さんがプツンするのは嫌だったし、気持ちも良くわかって、ただ「ええ、弱い者」には聞く耳を持たない。

BOOK 紹介

黒岩鉄子編著「未来をほぐす...」

清水英夫編著「一葉社/三千九百円」

「大地」が発行され、三年の間に40号に達した...

「全検証ピンクチラシ裁判」...

「全検証ピンクチラシ裁判」...

「全検証ピンクチラシ裁判」...

ザンビア便り (3)

ザンビアに来て、早や三ヶ月が過ぎた...

ザンビアに来て、早や三ヶ月が過ぎた...

ザンビアに来て、早や三ヶ月が過ぎた...

ザンビアに来て、早や三ヶ月が過ぎた...

ザンビアに来て、早や三ヶ月が過ぎた...

ザンビアに来て、早や三ヶ月が過ぎた...

編集後記

新年号の原稿締め切りは、都合により通常より1週間早い十二月十三日とします...

新年号の原稿締め切りは、都合により通常より1週間早い十二月十三日とします...

新年号の原稿締め切りは、都合により通常より1週間早い十二月十三日とします...

新年号の原稿締め切りは、都合により通常より1週間早い十二月十三日とします...

新年号の原稿締め切りは、都合により通常より1週間早い十二月十三日とします...

新年号の原稿締め切りは、都合により通常より1週間早い十二月十三日とします...